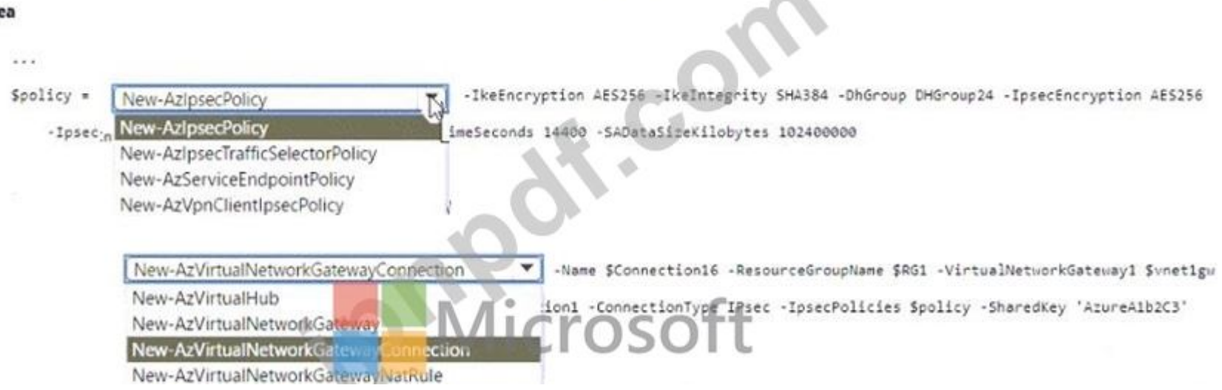
Microsoft.AZ-700.v2026-07-15.q137

試験コード:	AZ-700
試験名称:	Designing and Implementing Microsoft Azure Networking Solutions
認定資格:	Microsoft
無料問題数:	137
バージョン:	v2026-07-15
アクセス数:	105
ページビュー数:	1370
https://www.jpnpdf.com/Microsoft.AZ-700.v2026-07-15.q137-mondaishu.html	

最新問題: **1**
お客様のオンプレミスネットワークにはVPNデバイスが含まれています。
仮想ネットワークと仮想ネットワークゲートウェイを含むAzureサブスクリプションをお持ちです。
カスタム暗号化ポリシーを持つサイト間VPN接続を作成する必要があります。
PowerShellスクリプトをどのように完成させるべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area



Answer:

Answer Area

Explanation:

Answer Area

最新問題: **2**

AGW1 という名前の Azure アプリケーション ゲートウェイがあり、Rule1 という名前のルーティング ルールが設定されています。Rule 1 は、http://www.contoso.com へのトラフィックを Pool1 という名前のバックエンド プールにルーティングします。Pool1 は VMSS1 という名前の Azure 仮想マシン スケール セットを対象としています。

VMSS2という名前の別の仮想マシン スケール セットをデプロイします。

AGW1を設定して、http://www.adatum.com宛てのすべてのトラフィックをVMSS2に転送する必要があります。

このソリューションは、http://www.contoso.com へのリクエストが引き続き Pool1 に転送されることを保証する必要があります。

実行すべき3つの行動はどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

A. バックエンドプールを追加します。

B. HTTP設定を変更します。

C. HTTP設定を追加します。

D. リスナーを追加します。

E. ルールを追加します。

Answer: A,D,E (メーッセージを残す**)**

参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/application-gateway/configuration-overview

最新問題: **3**
お客様は、以下の表に示すリソース グループを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Location
RG1	East US
RG2	UK West

以下の表に示す仮想ネットワークが利用可能です。
Vnet1にはVM1とVM2という名前の2つの仮想マシンが含まれています。Vnet2にはVM3とVM4という名前の2つの仮想マシンが含まれています。以下の表に示すネットワークセキュリティグループ (NSG)には、デフォルトルールのみが含まれています。

Name	Associated to
Nsg1	Sb1
Nsg2	Network interface of VM2
Nsg3	Network interface of VM3
Nsg4	Sb4

以下の表に示すAzureロードバランサーが利用可能です。

Name	Resource group	Location	Type	Backend pool	Virtual machine	Rule
Lb1	RG1	East US	Public	Vnet1	VM1	Protocol: TCP Port: 80 Backend port: 80
Lb2	RG2	West US	Internal	Vnet2	VM3	Protocol: TCP Port: 1433 Backend port: 1433

For each of the following statements, select Yes if the statement is true. Otherwise, select No.

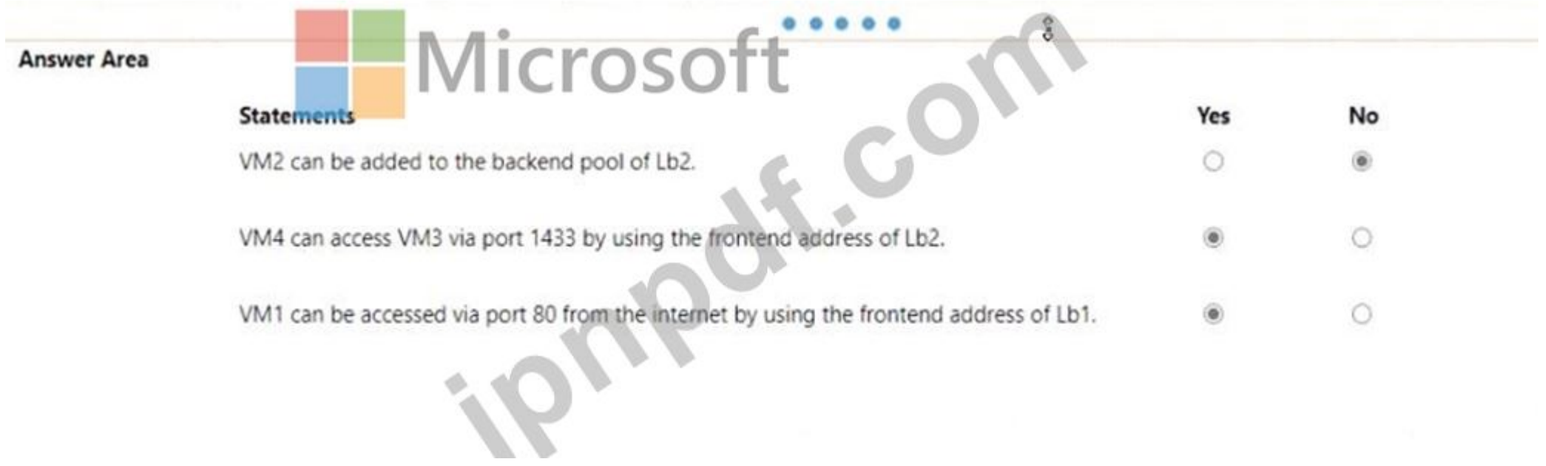
NOTE: Each correct selection is worth one point.

Answer Area

Statements	Yes	No
VM2 can be added to the backend pool of Lb2.		
VM4 can access VM3 via port 1433 by using the frontend address of Lb2.		
VM1 can be accessed via port 80 from the internet by using the frontend address of Lb1.		

Answer:

Explanation:



最新問題: **4**

お客様は、サードパーティ製のソフトウェア定義型広域ネットワーク（SD-WAN）ソリューションを使用して接続された10個のオンプレミスネットワークを所有しています。また、5つの仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションを所有しています。

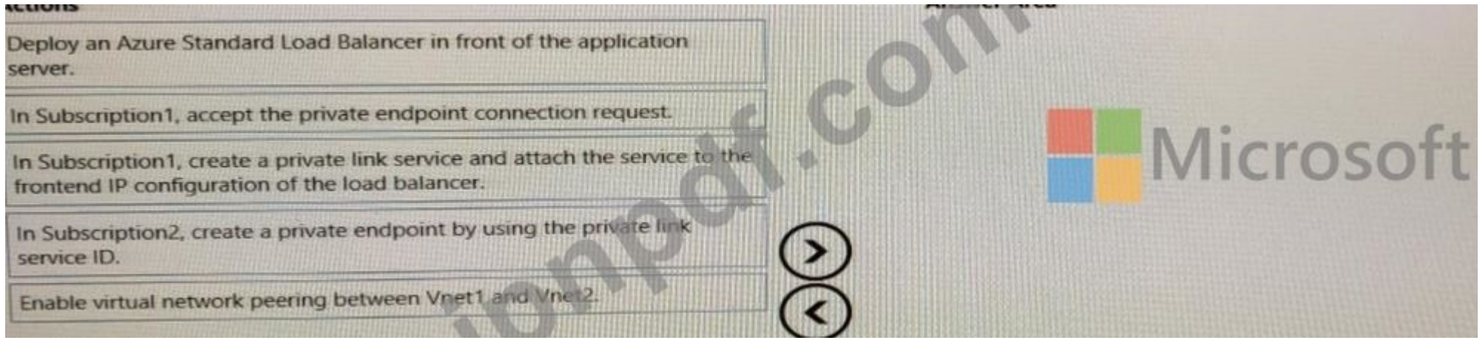
Azure仮想ネットワークとオンプレミスネットワークを、単一の仮想WANハブを備えたAzure仮想WANを使用して接続する予定です。

Azure Virtual WANがサードパーティ製のSD-WANソリューションのノードとして機能できることを確認する必要があります。

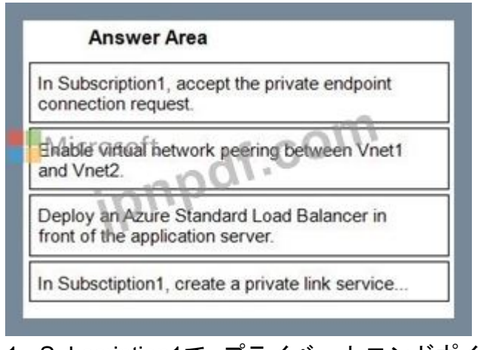
解決策には何を含めるべきですか？

A. Azure Virtual WAN ExpressRouteゲートウェイ
B. ネットワーク仮想アプライアンス（NVA）
C. サイト間ゲートウェイ（VPNゲートウェイ）
D. ポイントツーサイトゲートウェイ（ユーザーVPNゲートウェイ）
Answer: B (メーッセージを残す)
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/sd-wan-connectivity-architecture#direct-nva

最新問題**: 5**
Subscnption1 と Subscription2 という名前の 2 つの Azure サブスクリプションがあります。Subscription1 には Vnet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。Vnet1 にはアプリケーション サーバーが含まれています。Subscription2 には Vnet2 という名前の仮想ネットワークが含まれています。
Vnet2内の仮想マシンがVnet1内のアプリケーションサーバーにアクセスできるようにするには、プライベートエンドポイントを使用する必要があります。
どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



1 - Subscription1で、プライベートエンドポイント接続要求を承認します。
2 - Vnet1とVnet2間の仮想ネットワークピアリングを有効にします。
3 - アプリケーションサーバーの前にAzure Standard Load Balancerをデプロイします。
4 - サブスクリプション1で、プライベートリンクサービスを作成します...

最新問題**: 6**
次の表に示すサブネットを含むAzure仮想ネットワークがあります。

Name	IP address space
AzureFirewallSubnet	192.168.1.0/24
Subnet2	192.168.2.0/24

AzureファイアウォールをAzureFirewallSubnetにデプロイします。
サブネット2からのすべてのトラフィックをファイアウォール経由でルーティングします。
Subnet2 上のすべてのホストが、次の場所に位置する外部サイトにアクセスできることを確認する必要があります。
https://*.contoso.com
あなたはどうすべきでしょうか？
A. ネットワークセキュリティグループ（NSG）を作成し、NSGをサブネット2に関連付けます。
B. ファイアウォールポリシーで、アプリケーションルールを作成します。
C. ファイアウォールポリシーで、DNATルールを作成します。
D. ファイアウォールポリシーで、ネットワークルールを作成します。
Answer: B (メーッセージを残す**)**
サブネットからアクセス可能な完全修飾ドメイン名（FQDN）を定義するアプリケーションルール。
送信元アドレス、プロトコル、宛先ポート、および宛先アドレスを定義するネットワークルール。

最新問題**: 7**
ネットワーク図の図に示されているようなハイブリッドネットワークがあります。

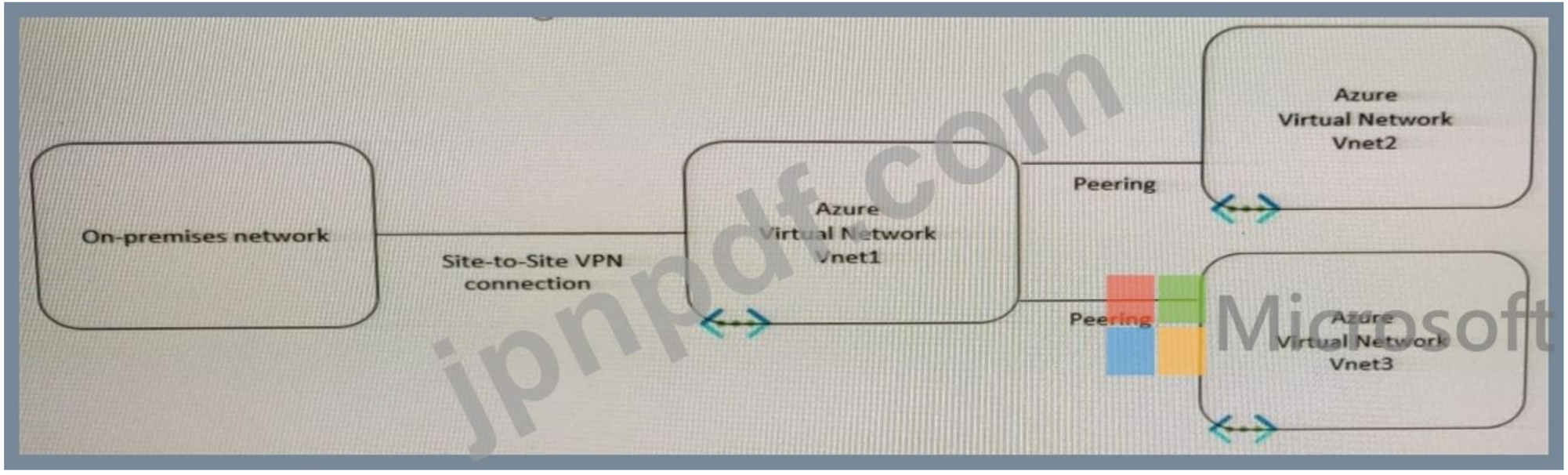


図 Peering-Vnet1-Vnet2」に示すように、Vnet1とVnet2の間にはピアリング接続が確立されています。

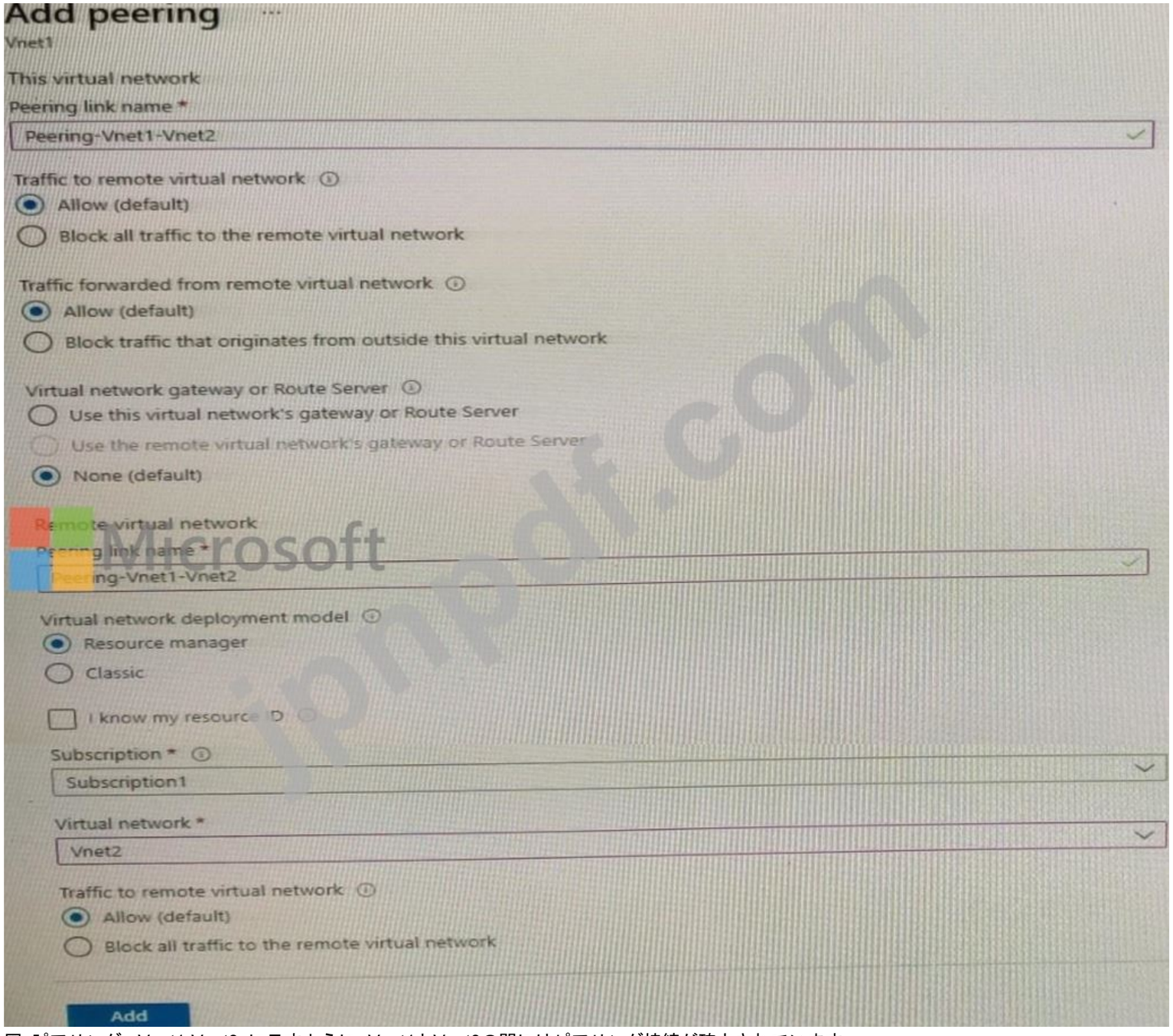


図 ピアリング - Vnet1-Vnet3」に示すように、Vnet1とVnet3の間にはピアリング接続が確立されています。

Add peering

Vnet3

This virtual network

Peering link name *

Peering-Vnet1-Vnet3

Traffic to remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

Traffic forwarded from remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

Virtual network gateway or Route Server

- ( ) Use this virtual network's gateway or Route Server
- ( ) Use the remote virtual network's gateway or Route Server
- (•) None (default)

Remote virtual network

Peering link name *

Peering-Vnet1-Vnet3

Virtual network deployment model

- (•) Resource manager
- ( ) Classic

[ ] I know my resource ID

Subscription *

Subscription1

Virtual network *

Vnet1

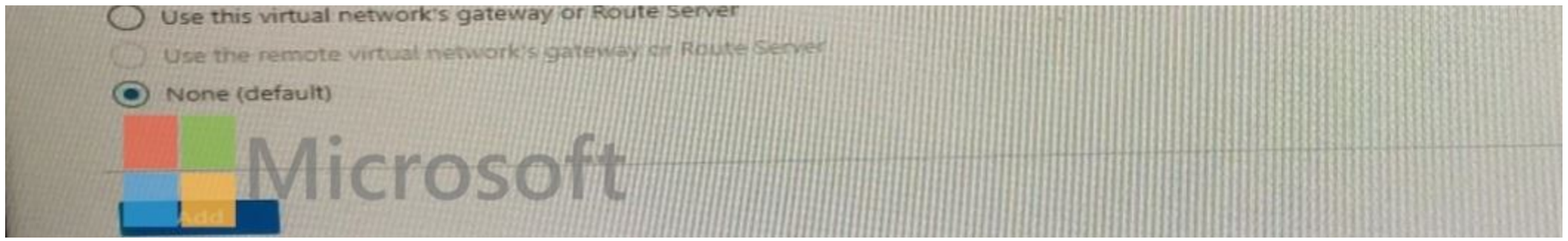
Traffic to remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

Traffic forwarded from remote virtual network

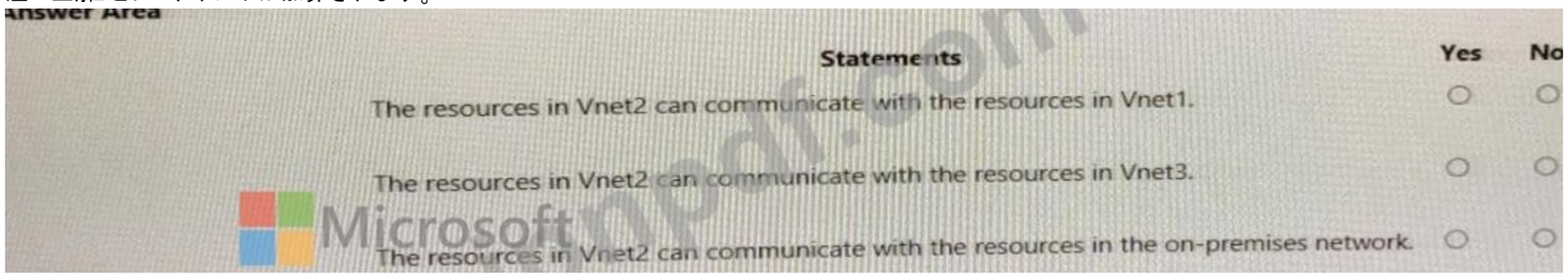
- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

Virtual network gateway or Route Server

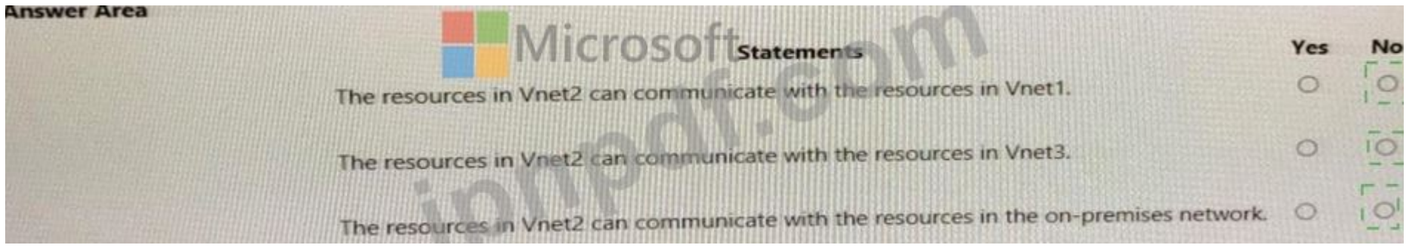


以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



Explanation:

最新問題**: 8**

ホットスポットに関する質問

お客様は、米国東部Azureリージョンにst1という名前のストレージアカウントを含むAzureサブスクリプションをお持ちです。

以下の表に示す仮想ネットワークが利用可能です。

Name	Location	IP address space
Vnet1	UK West	10.1.0.0/16
Vnet2	East US	10.2.0.0/16
Vnet3	West US	10.3.0.0/16

以下の表に示すサブネットがあります。

Name	Virtual network	IP address range	Subnet resources
Subnet1-1	Vnet1	10.1.1.0/24	Five virtual machines that each has one private IP address
Subnet2-1	Vnet2	10.2.1.0/25	Five virtual machines that each has one private IP address
Subnet3-1	Vnet3	10.3.1.0/26	Five virtual machines that each has one private IP address

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
You can deploy Azure Bastion to Subnet1-1.	○	○
You can deploy 100 additional virtual machines to Subnet2-1.	○	○
You can change the IP address range of Subnet3-1 to 10.3.1.0/16.	○	○

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
You can deploy Azure Bastion to Subnet1-1.	○	○
You can deploy 100 additional virtual machines to Subnet2-1.	○	○
You can change the IP address range of Subnet3-1 to 10.3.1.0/16.	○	○

Explanation:
ボックス1 :いいえ
Azure Bastion には専用のサブネット AzureBastionSubnet が必要です。
このサブネットは、Azure Bastionをデプロイする仮想ネットワークと同じネットワーク内に作成する必要があります。
サブネットは以下の構成でなければなりません。
サブネット名はAzureBastionSubnetである必要があります。
サブネットサイズは/26以上である必要があります。
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/bastion/configuration-settings#subnet ボックス 2: はい /25 を使用すると、100 個以上の IP アドレスが残ります。
1つのIPアドレスで100台の仮想マシンを追加展開することは問題ないはずです。
ボックス3 :いいえ
サブネット3-1のIPアドレス範囲を10.3.1.0/16に変更することはできません。
Azure は、VNet の IP アドレス空間である 10.3.0.0/16 よりも大きいため、「10.3.1.0/16 は有効な CIDR ブロックではありません」というエラーを返します。

最新問題**: 9**
あなたは、www.contoso.com という FQDN を使用する Web サイトを公開する予定です。この Web サイトは、次の表に示す Azure App Service アプリを使用してホストされます。

Name	FQDN	Location	Public IP address
AS1	As1.contoso.com	East US	131.107.100.1
AS2	As2.contoso.com	West US	131.107.200.1

あなたは、Azure Traffic Managerを使用して、www.contoso.comのトラフィックをAS1とAS2間でルーティングすることを計画しています。
Traffic Managerがwww.contoso.comへのトラフィックを正しくルーティングするように設定する必要があります。
どのDNSレコードを作成すべきですか？
A. wmv.contoso.com を 131 107 100 1 と 131 107 200 1 にマッピングする 2 つの A レコード
B. www.contoso.comをTMprofile1.azurefd.netにマッピングするCNAMEレコード
C. www.contoso.com を TMprofile1.trafficmanager.net にマッピングする CNAME レコード
D. 詳細にas1.contoso.comとas2.contoso.comという文字列を含むTXTレコード
Answer: C (メーッセージを残す**)**
参照 :

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/traffic-manager/quickstart-create-traffic-manager-profile
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/configure-domain-traffic-manager

最新問題**: 10**
お客様は、以下の表に示す仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Subnet	Peered with
VNet1	Subnet11, Subnet12	VNet2
VNet2	Subnet21	VNet1

このサブスクリプションには、以下の表に示す仮想マシンが含まれています。

Name	Connected to	Availability set
VM1	Subnet11	AS1
VM2	Subnet11	AS1
VM3	Subnet12	*None*
VM4	Subnet21	*None*

LB1という名前のロードバランサーを作成し、以下の設定を行います。
* SKU: ベーシック
* タイプ: 内部
* サブネット: サブネット12
* 仮想ネットワーク VNet1

以下の各設問について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1点が加算されます。

Answer Area

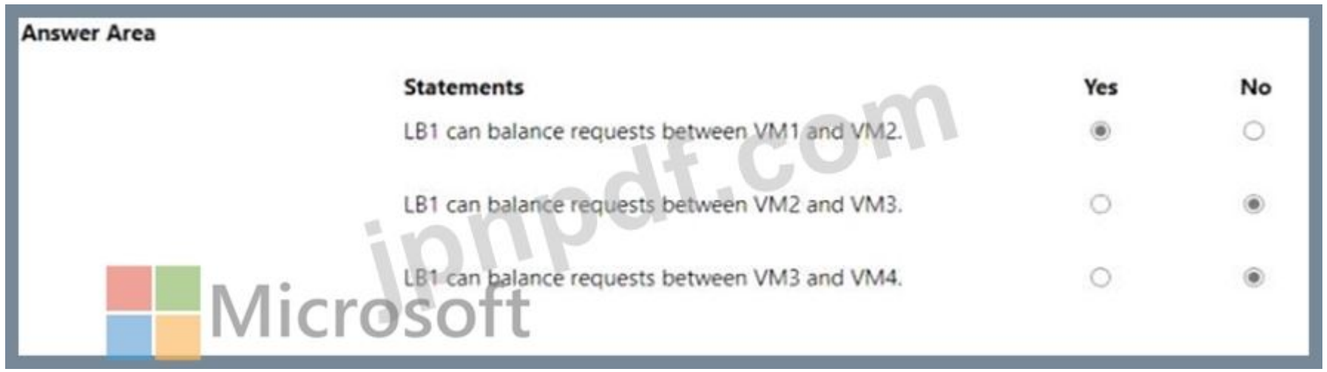
Statements	Yes	No
LB1 can balance requests between VM1 and VM2.	○	○
LB1 can balance requests between VM2 and VM3.	○	○
LB1 can balance requests between VM3 and VM4.	○	○

Answer:

Answer Area

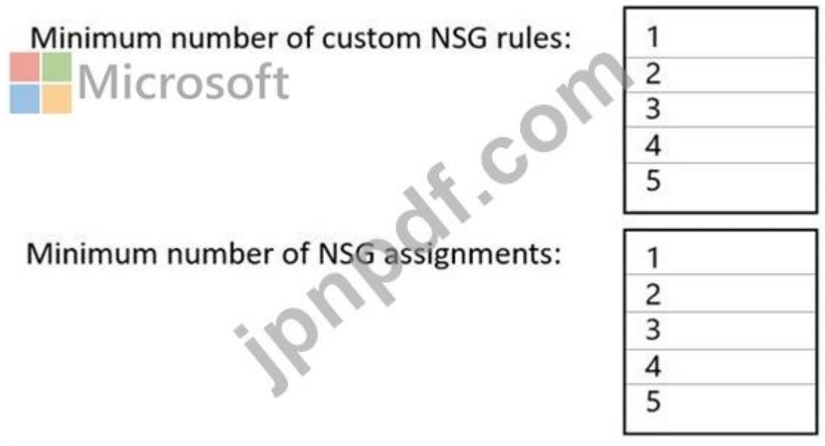
Statements	Yes	No
LB1 can balance requests between VM1 and VM2.	○	○
LB1 can balance requests between VM2 and VM3.	○	○
LB1 can balance requests between VM3 and VM4.	○	○

Explanation:

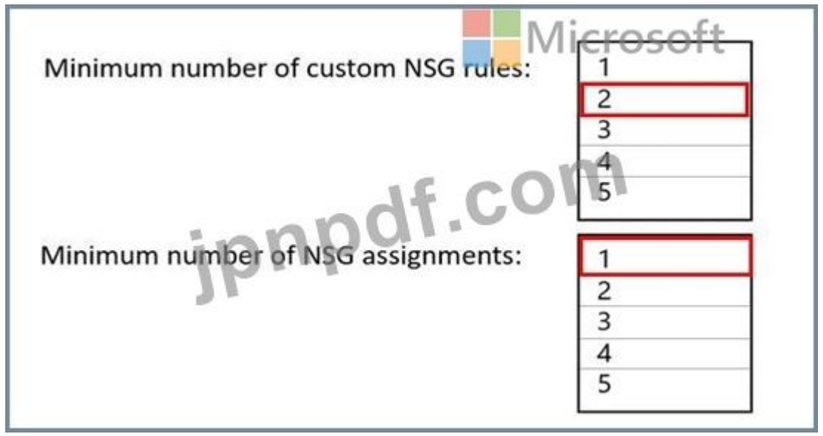


最新問題: **11**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。また、ExpressRoute サービス プロバイダーもご利用いただけます。
ExpressRoute回線を使用して、Azure仮想ネットワークとオンプレミスネットワークを接続する予定です。
ExpressRoute回線を新規作成します。この新規回線をプロビジョニングする必要があります。サービスプロバイダにはどのような情報を提供する必要がありますか？
A. 証明書
B. 公開IPアドレス
C. IKEv2共有鍵
D. サービスキー
Answer: D (メーッセージを残す)

最新問題: **12**
VMScaleSet1からVMScaleSet2へのトラフィックを制限する必要があります。このソリューションは、仮想ネットワークの要件を満たしている必要があります。
必要なカスタムNSGルールとNSG割り当ての最小数はいくつですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



トピック1、Litware. Inc.

既存環境：

ハイブリッド環境

オンプレミスネットワークには、litwareinc.com という名前の Active Directory フォレストがあり、Azure AD Connect を使用して litwareinc.com という名前の Azure Active Directory (Azure AD) テナントと同期します。

すべてのオフィスは、サイト間VPN接続を使用して、Vnet1という仮想ネットワークに接続します。

Azure環境

Litwareは、litwareinc.comのAzure ADテナントにリンクされたSub1という名前のAzureサブスクリプションを所有しています。Sub1には、次の表に示すように、米国東部Azureリージョン内のリソースが含まれています。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.0.0/20
GatewaySubnet	Virtual network subnet	Located in Vnet1 and uses an IP address space of 192.168.15.128/29
VPNGW1	VPN gateway	Deployed to Vnet1
Vnet2	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.16.0/20
SubnetA	Virtual network subnet	Located in Vnet2 and uses an IP address space of 192.168.16.0/24
Vnet3	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.32.0/20
cloud.litwareinc.com	Private DNS zone	**None**
VMScaleSet1	Virtual machine scale set	Contains four virtual machines deployed to SubnetA
VMScaleSet2	Virtual machine scale set	Contains two virtual machines deployed to SubnetA
storage1	Storage account	Has the public endpoint blocked
storage2	Storage account	Has the public endpoint blocked

Vnet1とVnet2の間には双方向ピアリングが確立されています。Vnet1とVnet3の間にも双方向ピアリングが確立されています。現在、Vnet2とVnet3は直接通信できません。

要件：

ビジネス要件

Litwareは、他のすべての要件が満たされている限り、可能な限りコストを最小限に抑えたいと考えています。

仮想ネットワークの要件

Litwareは、以下の仮想ネットワーク要件を特定しています。

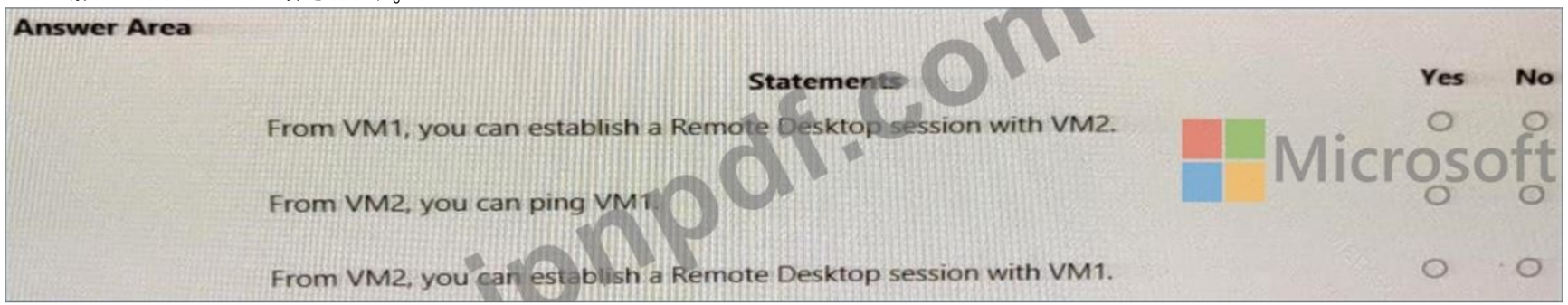
* Vnet2 および Vnet3 上の 0.0.0.0/0 のデフォルトルートを ExpressRoute 回線経由でボストンのデータセンターにルーティングします。
* cloud.litwareinc.com ゾーン内のレコードがオンプレミスの場所から解決できることを確認してください。
* Azure仮想マシンのDNS名をcloud.litwareinc.comゾーンに自動的に登録します。

プラットフォーム管理サービスに割り当てられるサブネットのサイズを最小限に抑える。
* VMScaleSet1からVMScaleSet2へのトラフィックは、TCPポート443のみで許可します。
ハイブリッドネットワークの要件
Litwareは、以下のハイブリッドネットワーク要件を特定しています。
リモートワークを行う際は、ユーザーはポイントツーサイト（P2S）VPNを使用してVnet1に接続できる必要があります。接続はAzure ADによって認証される必要があります。
ボストンのデータセンターとすべての仮想ネットワーク間のトラフィックの遅延を最小限に抑える必要がある。
* ボストンのデータセンターは、ExpressRoute FastPath接続を使用してAzure仮想ネットワークに接続する必要があります。
* Vnet2とVnet3間のトラフィックは、Vnet1を経由してルーティングされなければなりません。
PaaSネットワーク要件
Litwareは、プラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）に必要なネットワーク要件として、以下の項目を挙げています。
* storage1アカウントは、storage1のパブリックエンドポイントを公開することなく、オンプレミスのすべての場所からアクセスできる必要があります。
* storage2アカウントは、storage2のパブリックエンドポイントを公開することなく、Vnet2およびVnet3からアクセス可能である必要があります。

最新問題: **13**
シミュレーション
タスク10
VNET1 を構成して、すべてのイベントとメトリックをログに記録する必要があります。ソリューションでは、Azure ポータルから KQL を使用してイベントとメトリックを直接クエリできることを保証しなければなりません。
Answer:
手順の詳細については、以下の説明をご覧ください。
Explanation:
VNET1 を設定してすべてのイベントとメトリックをログに記録し、KQL を使用してそれらをクエリするための手順と説明を以下に示します。
VNET1 のログ記録を有効にするには、仮想ネットワークからプラットフォームのメトリックとログを収集し、1 つ以上の宛先にルーティングする診断設定を作成する必要があります。データの送信先として、Log Analytics ワークスペース、ストレージ アカウント、イベント ハブ、またはパートナー ソリューション 1 を選択できます。
診断設定を作成するには、Azure ポータルにアクセスして仮想ネットワークを選択します。次に、[監視] の下の [診断設定] を選択し、[+ 診断設定の追加] を選択します。
診断設定の追加ページで、以下の情報を入力または選択します。
診断設定名：診断設定に固有の名前を入力してください。
送信先の詳細 :データの送信先を選択してください。たとえば、「Log Analyticsワークスペースに送信」を選択し、リストからワークスペースを選択できます。
ログ: 収集するログのカテゴリを選択します。VNET1 の場合、ログカテゴリとして NetworkSecurityGroupEvent と NetworkSecurityGroupRuleCounter を選択できます。
メトリック: VNET12 のすべてのプラットフォームメトリックを収集するには、[AllMetrics] を選択します。
診断設定を作成するには、「保存」を選択してください。
Azure ポータルから KQL を使用してイベントとメトリックをクエリするには、宛先として選択した Log Analytics ワークスペースに移動する必要があります。次に、[全般] の下の [ログ] を選択し、クエリ エディターに KQL クエリを入力します。
例えば、以下のKQLクエリを使用すると、過去24時間におけるVNET1のネットワークセキュリティグループイベントの上位10件を取得できます。
ネットワークセキュリティグループイベント
| TimeGenerated > ago(24h) の場合
| ResourceId に「VNET1」が含まれる場合
| イベントID による count() の集計
| カウント順トップ10_
コピー

クエリを実行して結果を表またはグラフで表示するには、実行」を選択します3。

最新問題: **14**
ネットワークセキュリティ要件を満たすために、NSG10とNSG11を作成します。
以下の各記述について、正しい場合は はい」を選択してください。そうでない場合は いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

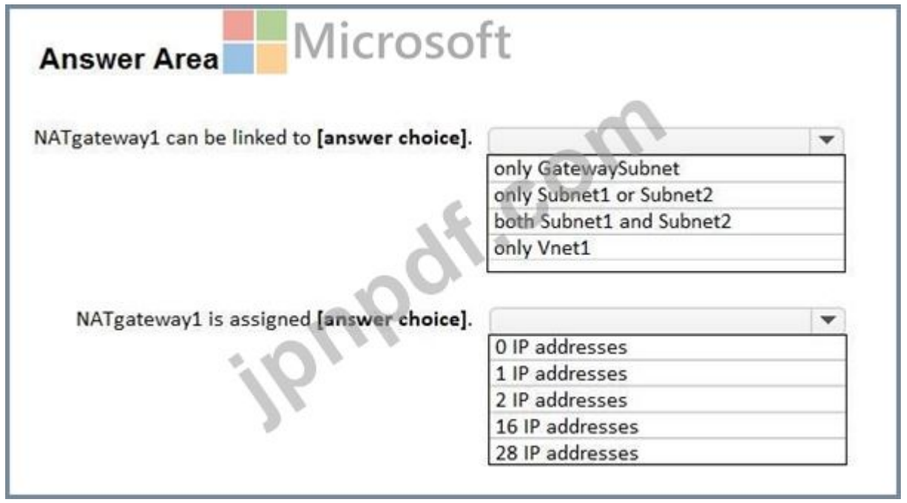


Answer:

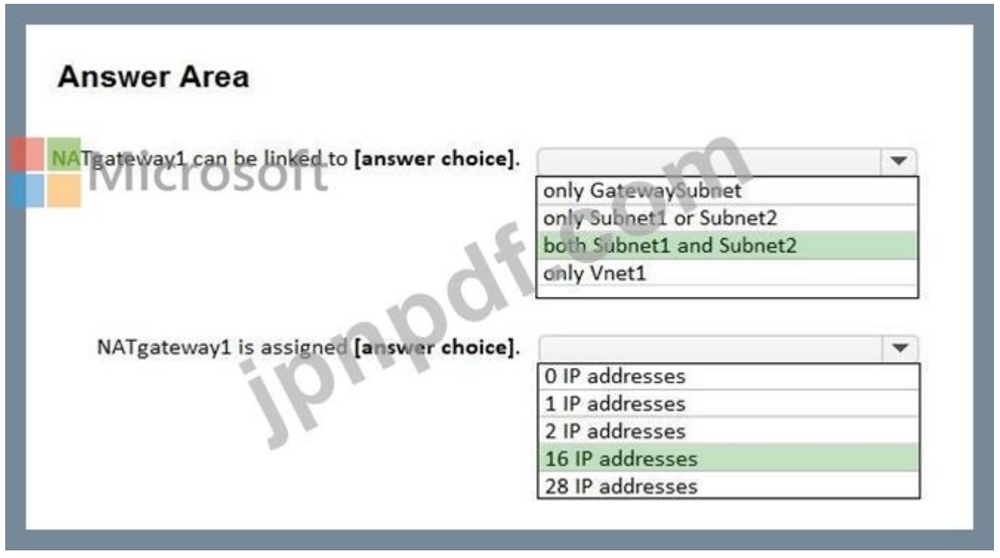
説明
はい
サブネット1(WM1->NSG1 アウトバウンド->NSG10 アウトバウンド)->サブネット2(NSG1 インバウンド->NSG11 インバウンド->VM2) はい、NSG10 は VNet4 (送信元 10.10.0.0/16) からの ICMP をブロックしますが、VM2 のサブネット (VNet1/Subnet2) からはブロックされません。
いいえ
NSG11は、「VirtualNetwork」宛てのRDP（TCPポート3389）をブロックします。VirtualNetworkはサービスタグであり、仮想ネットワーク（VNet1）のアドレス空間を意味します。この場合、アドレス空間は10.1.0.0/16です。したがって、subnet2からVNet1内の他の場所へのRDPトラフィックはブロックされます。

最新問題: **15**
ホットスポットに関する質問
Vnet1という名前のAzure仮想ネットワークがあり、その中にSubnet1とSubnet2という2つのサブネットが含まれています。どちらのサブネットにも仮想マシンが含まれています。
次の図に示すように、NATgateway1という名前のNATゲートウェイを作成します。

図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューを使用して選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

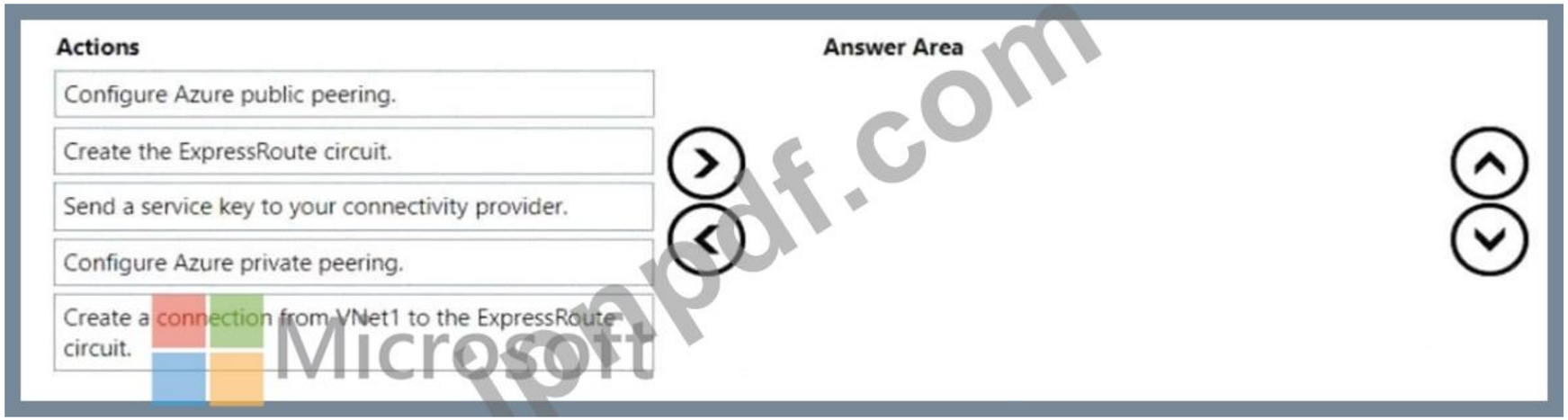


Answer:

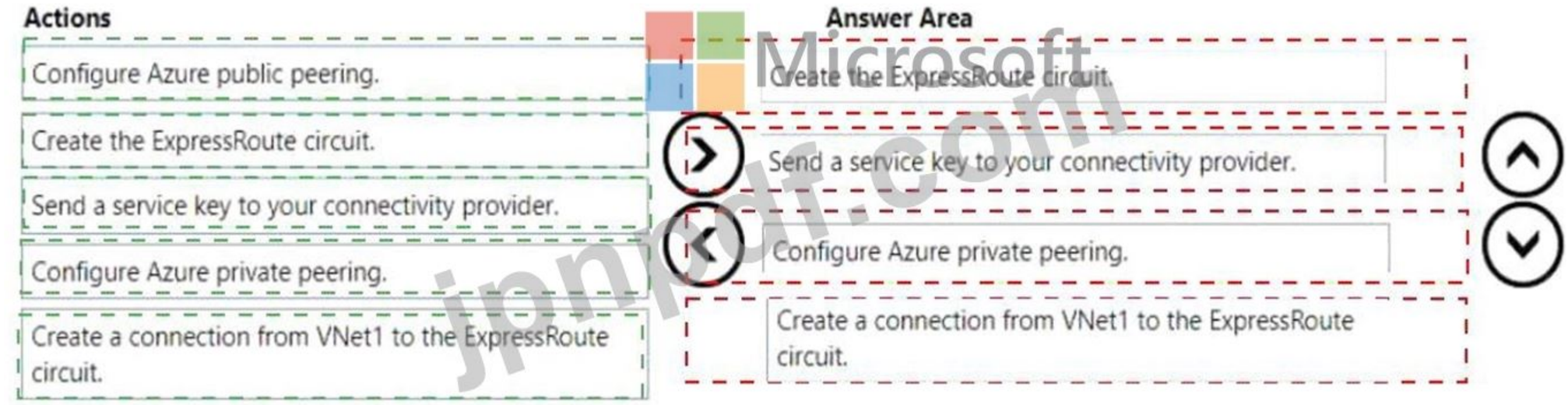


Explanation:
NATゲートウェイは、同じVNET内にある限り、複数のサブネットに関連付けることができます。
(28)は、パブリックIPプレフィックスが/28であることを示しており、16個のIPアドレスを許可します。
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/nat-gateway/faq#can-nat-gateway-be-attached-to-multiple-subnets

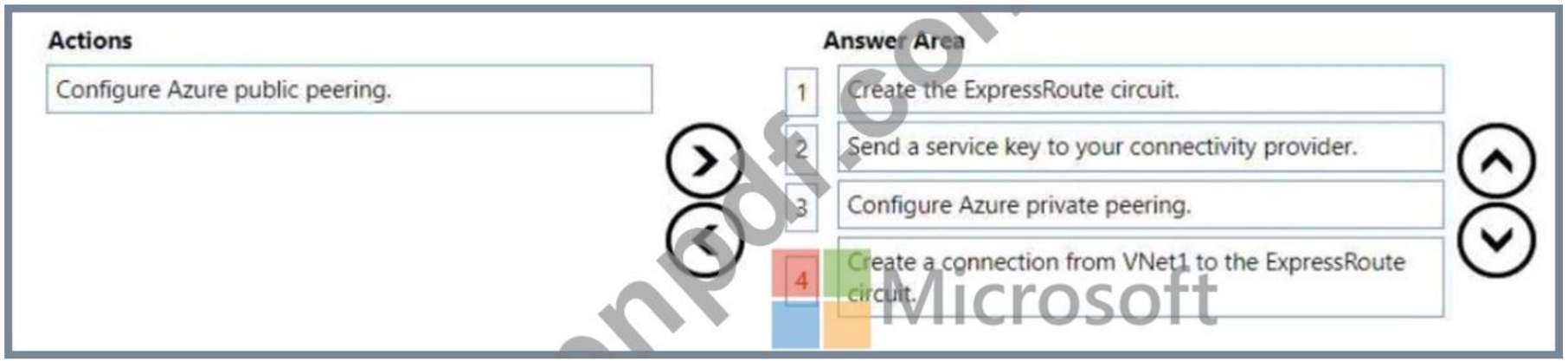
最新問題: **16**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
Azure サブスクリプションには、VNet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。VNet1 には ExpressRoute ゲートウェイが含まれています。
ExpressRoute回線を使用して、VNet1をオンプレミスネットワークに接続する必要があります。
どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: 17

次の表に示すネットワークセキュリティグループ（NSG）があります。

Name	Resource	Prefix
NSG1	Subnet1	10.10.0.0/24
NSG2	Subnet2	10.10.1.0/24

NSG1では、次の表に示すように受信ルールを作成します。

Source	Priority	Port	Action
*	101	80	Allow
*	150	443	Allow
Virtual network	200	*	Deny

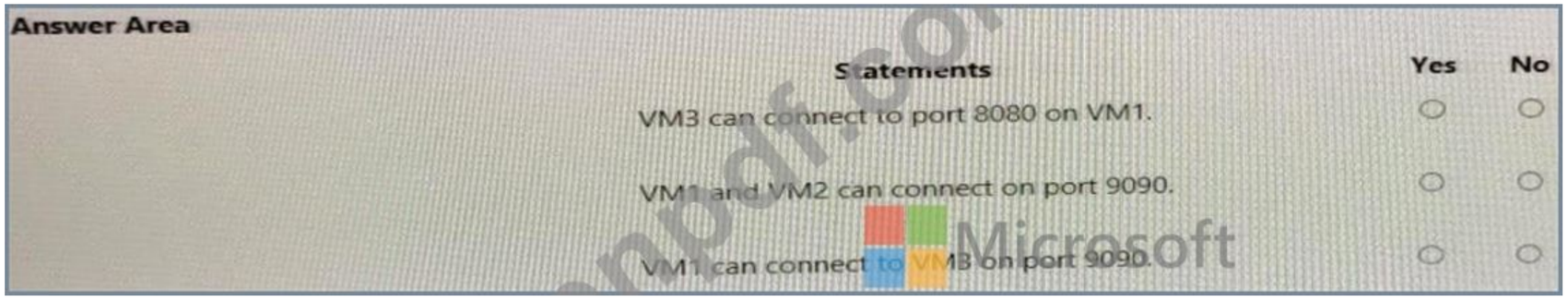
以下の表に示すAzure仮想マシンが利用可能です。

Name	Subnet
VM1	Subnet1
VM2	Subnet1
VM3	Subnet2

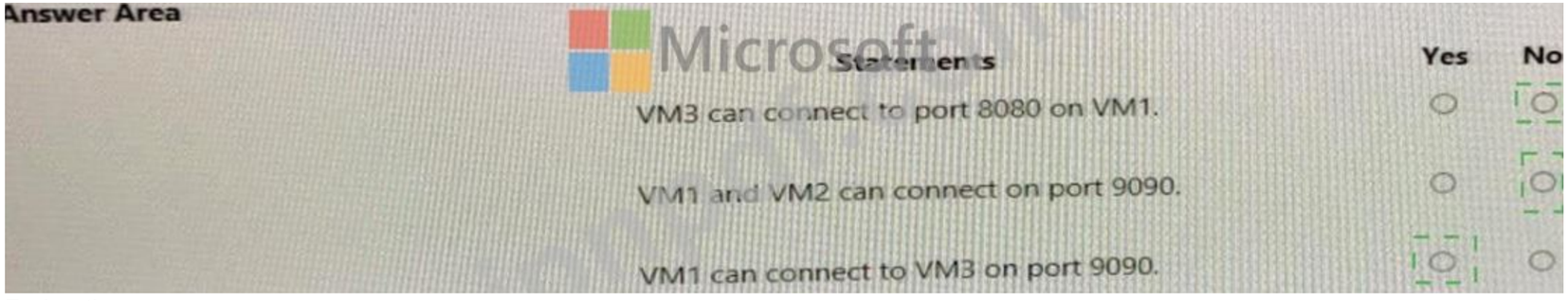
NSG2にはデフォルトのルールのみが設定されています。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



Explanation:

いいえ、いいえ、はい

1. VM3 は VM1 のポート 8080 に接続できます: false、UserRule_DenyVirtualNetworkInbound
2. VM1とVM2はポート9090で接続できます: false、UserRule_DenyVirtualNetworkInbound
3. VM1はポート9090でVM3に接続できます: true

最新問題**: 18**

お客様のAzureサブスクリプションには、以下の表に示すルートテーブルとルートが含まれています。

Route table name	Route name	Prefix	Destination
RT1	Default Route	0.0.0.0/0	VirtualNetworkGateway
RT2	Default Route	0.0.0.0/0	Internet

このサブスクリプションには、次の表に示すサブネットが含まれています。

Name	Prefix	Route table	Virtual network
Subnet1	10.10.1.0/24	RT1	Vnet1
Subnet2	10.10.2.0/24	RT2	Vnet1
GatewaySubnet	10.10.3.0/24	**None**	Vnet1

このサブスクリプションには、以下の表に示す仮想マシンが含まれています。

Name	IP address
VM1	10.10.1.5
VM2	10.10.2.5

各ローカルネットワークゲートウェイとの間に、サイト間VPN接続が確立されています。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
Traffic from VM2 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○
Traffic from VM1 to VM2 is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○
Traffic from VM1 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○

Answer:

Statements	Yes	No
Traffic from VM2 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	●
Traffic from VM1 to VM2 is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	●
Traffic from VM1 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	●	○

参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-networks-udr-overview

最新問題: **19**
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
Currently, VM5 can resolve names in zone2.contoso.com.	○	○
VM4 has an automatic registration in zone1.contoso.com.	○	○
You can link zone2.contoso.com to Vnet3 and enable auto registration.	○	○

Answer:

Statements	Yes	No
Currently, VM5 can resolve names in zone2.contoso.com.	○	●
VM4 has an automatic registration in zone1.contoso.com.	●	○
You can link zone2.contoso.com to Vnet3 and enable auto registration.	○	●

最新問題: 20

ネットワーク図の図に示されているようなハイブリッドネットワークがあります。

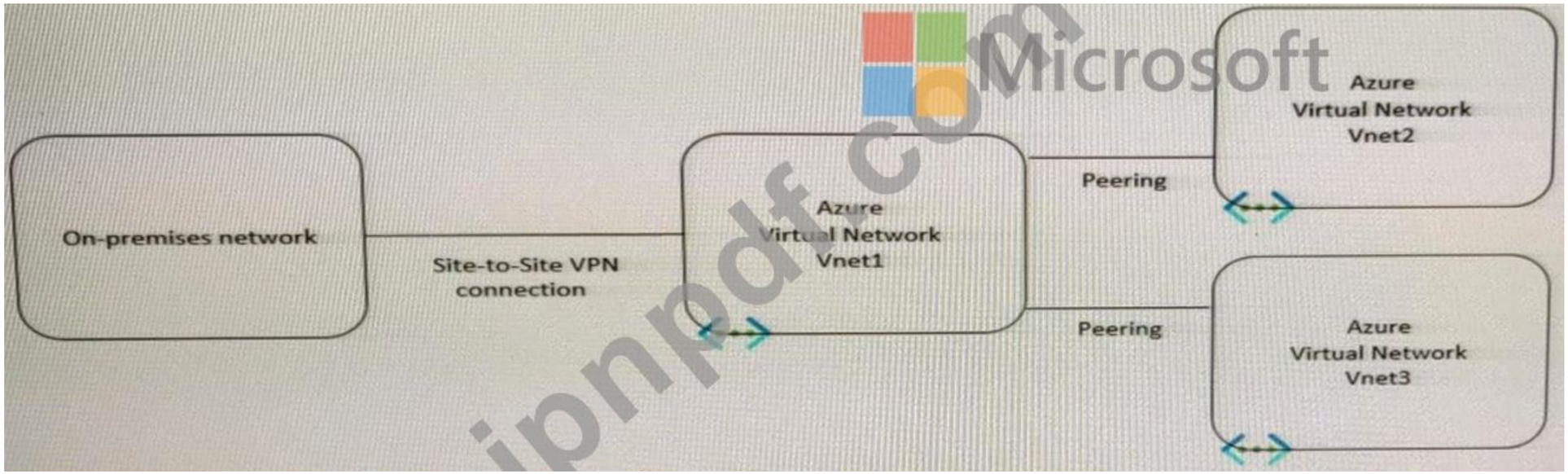


図 「Peering-Vnet1-Vnet2」に示すように、Vnet1とVnet2の間にはピアリング接続が確立されています。

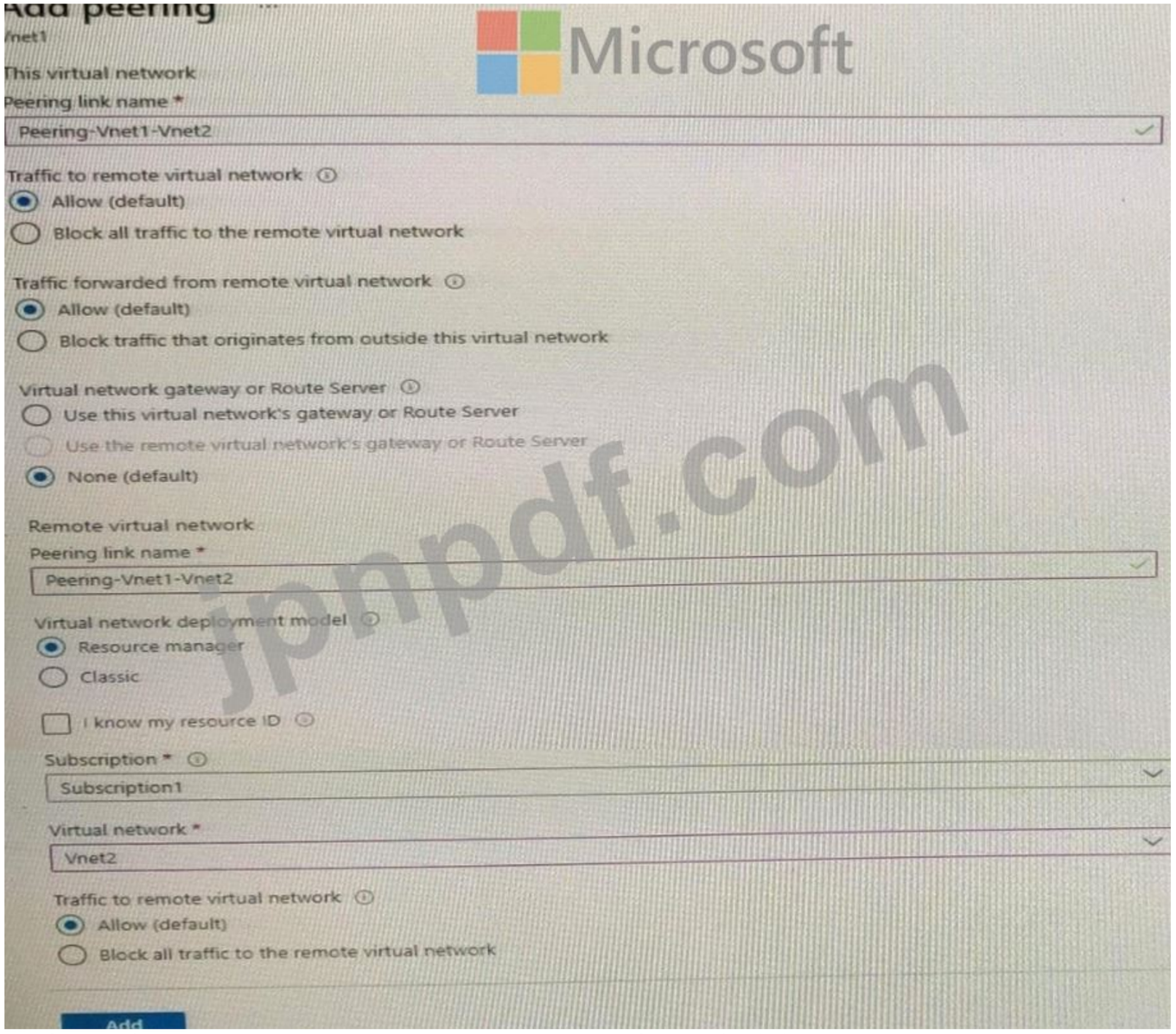
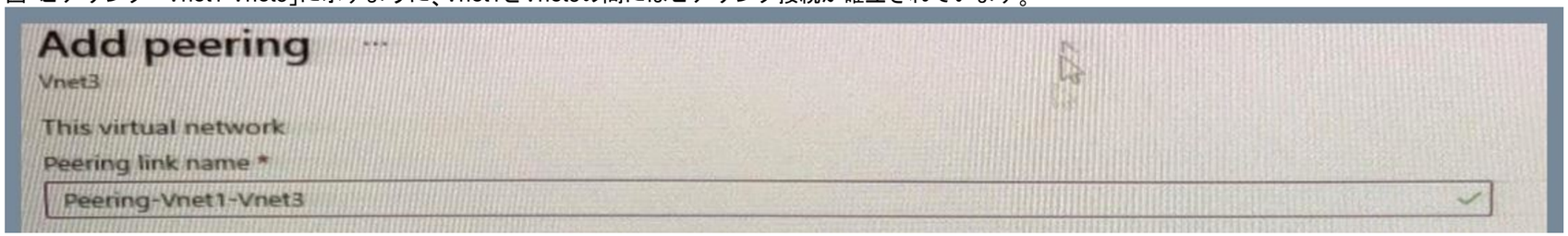


図 ピアリング - Vnet1-Vnet3」に示すように、Vnet1とVnet3の間にはピアリング接続が確立されています。



Traffic to remote virtual network
- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

Traffic forwarded from remote virtual network
- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

Virtual network gateway or Route Server
- ( ) Use this virtual network's gateway or Route Server
- ( ) Use the remote virtual network's gateway or Route Server
- (•) None (default)

Remote virtual network

Peering link name *

Peering-Vnet1-Vnet3

Virtual network deployment model
- (•) Resource manager
- ( ) Classic

[ ] I know my resource ID

Subscription *

Subscription1

Virtual network *

Vnet1

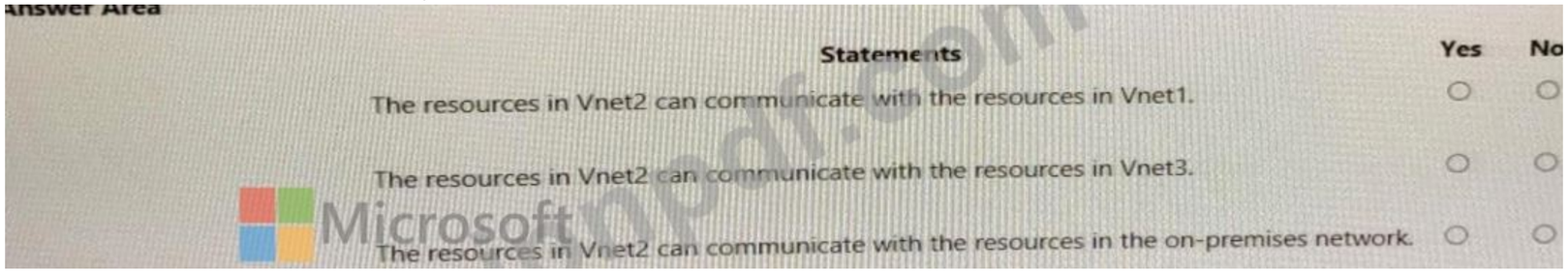
Traffic to remote virtual network
- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

Traffic forwarded from remote virtual network
- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

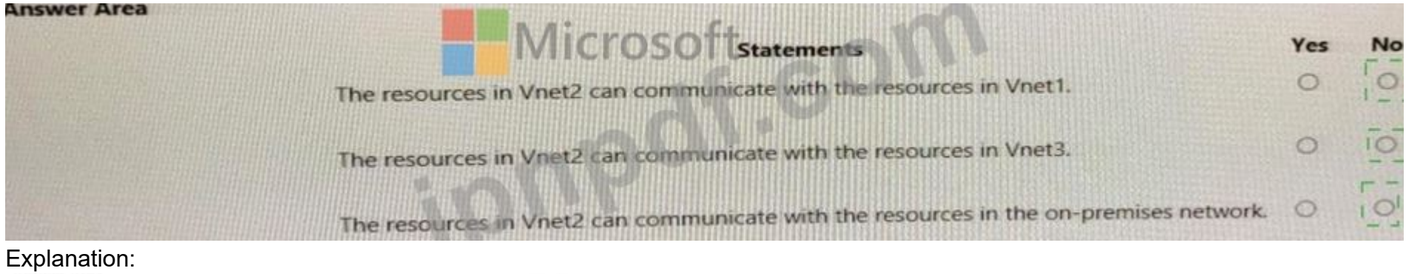
Virtual network gateway or Route Server
- ( ) Use this virtual network's gateway or Route Server
- ( ) Use the remote virtual network's gateway or Route Server
- (•) None (default)

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



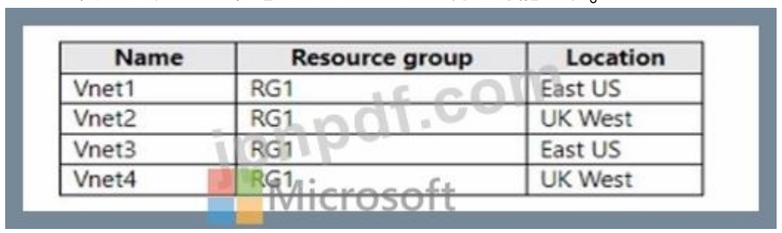
Answer:



Explanation:

最新問題**: 21**

以下の表に示すAzure仮想ネットワークが利用可能です。



Name	Resource group	Location
Vnet1	RG1	East US
Vnet2	RG1	UK West
Vnet3	RG1	East US
Vnet4	RG1	UK West

以下の表に示すAzureリソースが利用可能です。

Name	Type	Virtual network	Resource group	Location
VM1	Virtual machine	Vnet1	RG1	East US
VM2	Virtual machine	Vnet2	RG2	UK West
VM3	Virtual machine	Vnet3	RG3	East US
App1	App Service	Vnet1	RG4	East US
st1	Storage account	*Not applicable*	RG5	UK West

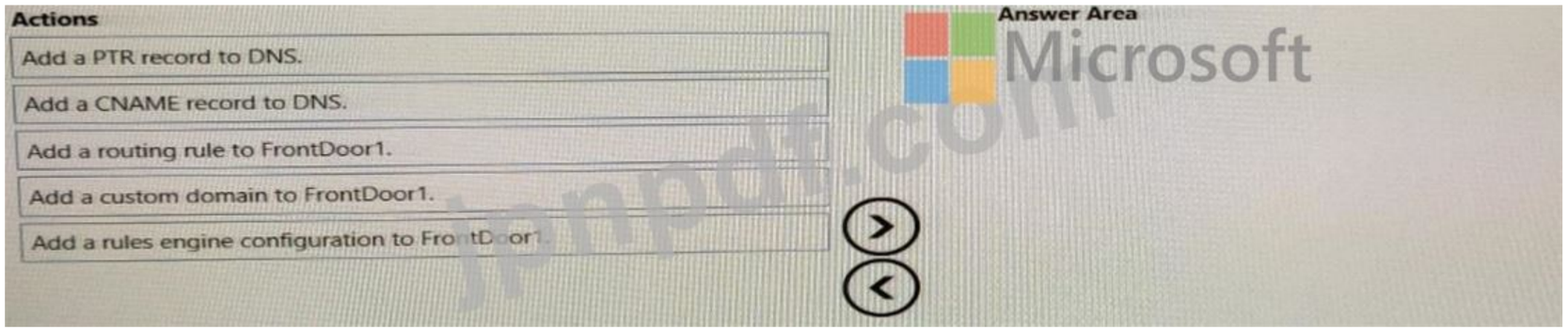
Azure Network Watcher の接続モニターを使用して、リソース間の遅延を確認する必要があります。
作成する必要のある接続モニターの最小数はいくつですか？
A. 1
B. 2
C. 3
D. 4
E. 5
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 22**
次の表に示すように、米国東部Azureリージョンに3つの仮想ネットワークを含むAzureデプロイメントを計画しています。

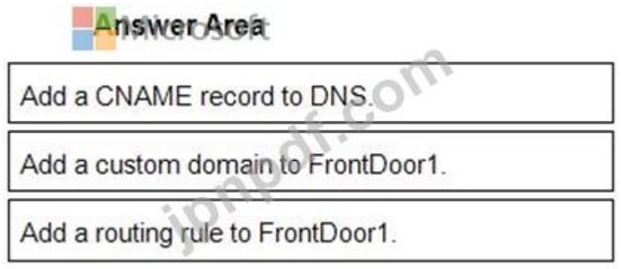
Name	Description
Vnet1	Hub virtual network for shared services
Vnet2	Virtual machines for the IT department
Vnet3	Virtual machines for the research department

サイト間VPNは、Vnet1を貴社のオンプレミスネットワークに接続します。
すべての仮想ネットワーク上の仮想マシンがオンプレミスネットワークと通信できることを保証するソリューションを提案する必要があります。そのソリューションはコストを最小限に抑えるものでなければなりません。
Vnet2とVnet3にはどのような設定を推奨すべきでしょうか？
A. ルートテーブル
B. VNet 間の VPN 接続
C. サービスエンドポイント
D. ピアリング
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 23**
FrontDoor1という名前のAzure Front Doorインスタンスがあります。
Azure Webアプリのインスタンスを2つ、異なるAzureリージョンにデプロイします。
あなたは、app1.contoso.comという名前を使用して、FrontDoor1経由でウェブアプリへのアクセスを提供する予定です。
app1.contoso.comを使用するリクエストのエントリポイントがFrontDoor1であることを確認する必要があります。
どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



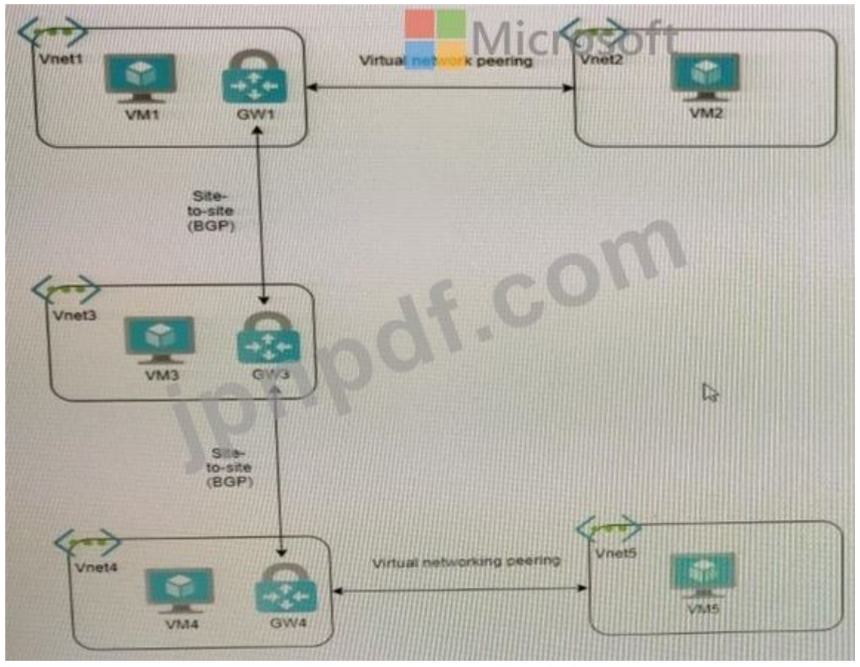
1 - DNSにCNAMEレコードを追加します。
2 - FrontDoor1にカスタムドメインを追加します。
3 - FrontDoor1にルーティングルールを追加します。

最新問題**: 24**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションをお持ちです。
お客様はExpressRouteのサービスプロバイダーをご利用されています。
ExpressRoute回線を使用して、Azure仮想ネットワークとオンプレミスネットワークを接続する予定です。
新しいExpressRoute回線を作成します。
新しい回線をプロビジョニングする必要があります。
サービス提供者に提供すべき情報はどれですか？
A. IKEv2共有鍵
B. 証明書
C. パブリックIPアドレス
D. サービスキー
Answer: D (メーッセージを残す**)**
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/expressroute/expressroute-circuit-peerings#circuits

最新問題**: 25**
Azure仮想ネットワーク内に2つのネットワーク仮想アプライアンス（NVA）を構成しています。これらのNVAは、仮想ネットワーク内のすべてのトラフィックを検査するために使用されます。
NVA（ネットワーク仮想アクセス）に対して高い可用性を提供する必要があります。ソリューションは管理作業を最小限に抑える必要があります。どのようなトラフィックをソリューションに含めるべきでしょうか？

A. Azure Standard Load Balancer
B. Azure Traffic Manager
C. Azure Application Gateway
D. 青い玄関
Answer: A (メーッセージを残す**)**
参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/architecture/reference-architectures/dmz/nva-ha?tabs=cli

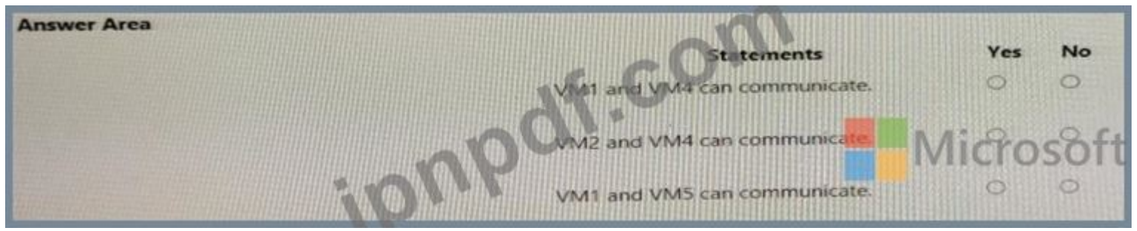
最新問題**: 26**
図に示されているAzure環境が利用可能です。



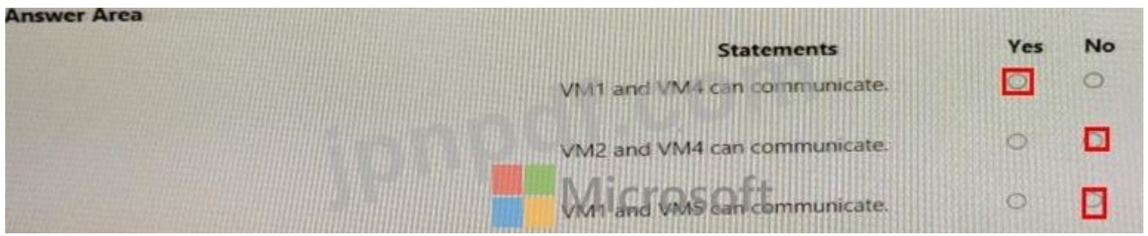
Vnet1とVnet2の間、およびVnet4とVnet5の間には、仮想ネットワークピアリングが設定されています。仮想ネットワークピアリングの設定は、以下の表に示すとおりです。

Virtual network	Traffic to remote virtual network	Use remote gateway	Allow gateway transit
Vnet1	Allow	**None**	Enabled
Vnet2	Allow	Enabled	**None**
Vnet4	Allow	**None**	Enabled
Vnet5	Block	Enabled	**None**

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



最新問題**: 27**

10.1.1.0/24 の範囲の IP アドレスと storage34280945.pnvatelinlcblob.core.windows.net という名前を使用して、storage34280945 ストレージ アカウントへの接続が可能であることを確認する必要があります。

Answer:

詳しい手順については、下記の解説をご覧ください。

説明

10.1.1.0/24 の範囲の IP アドレスと stor-age34280945.pnvatelinlcblob.core.windows.net という名前を使用して、ストレージ アカウント storage34280945 への接続を確実に行うための手順と説明を以下に示します。

* 特定の IP アドレス範囲からのアクセスを許可するには、ストレージ アカウントの Azure Storage ファイアウォールと仮想ネットワーク設定を構成する必要があります。これは、Azure ポータルでストレージ アカウントを選択し、[設定] の [ネットワーク] を選択することで実行できます。

* ネットワークページで、[ファイアウォールと仮想ネットワーク] を選択し、[アクセスを許可する元] の下にある [選択したネットワーク] を選択します。これにより、指定したネットワークまたはリソース以外からのストレージアカウントへのアクセスがすべてブロックされます。

* ファイアウォールで 『ルールの追加』を選択し、IP アドレスまたは範囲として 10.1.1.0/24 を入力します。オプションでルール名と説明を入力することもできます。これにより、IP アドレスの範囲内の任意の IP アドレスからのアクセスが許可されます。

10.1.1.0/24 の範囲。

* 変更を適用するには、[保存]を選択してください。

* カスタムドメイン名をストレージアカウントにマッピングするには、ドメインプロバイダでストレージアカウントのエンドポイントを指すCNAMEレコードを作成する必要があります2。CNAMEレコードは、送信元ドメイン名を宛先ドメイン名にマッピングするタイプのDNSレコードです。

* ドメイン登録業者のウェブサイトにログインし、DNS設定の管理ページに移動します。

* 次の情報でCNAMEレコードを作成します2:

* ソースドメイン名: stor-age34280945.pnvatelinlcblob.core.windows.net

* 宛先ドメイン名: stor-age34280945.pnvatelinlcblob.core.windows.net

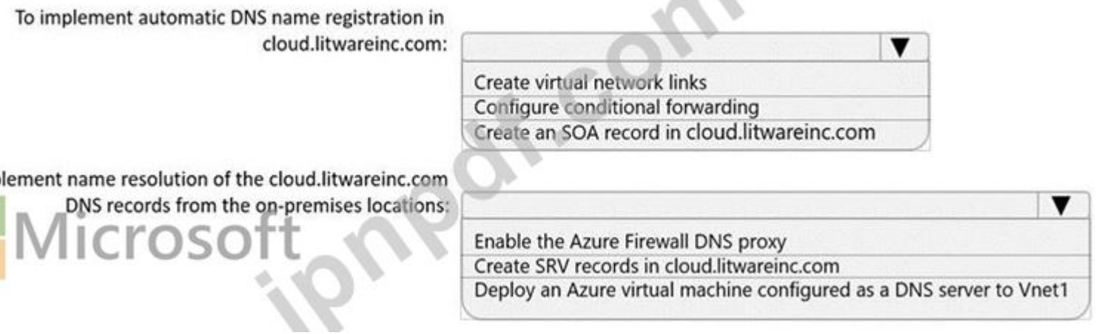
* 変更を保存し、DNS の伝播が有効になるまで待ちます。2.

* Azure にカスタムドメイン名を登録するには、Azure ポータルに戻り、ストレージ アカウントを選択する必要があります。次に、Blob サービス 2 の下にあるカスタム ドメインを選択します。

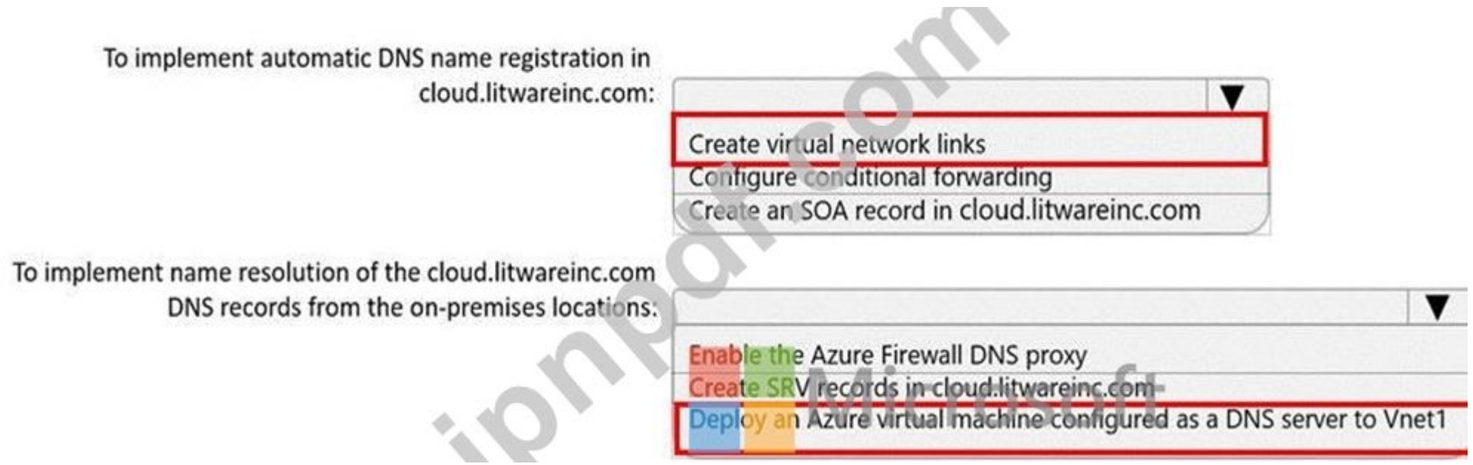
* カスタムドメインページで、カスタムドメイン名として stor-age34280945.pnvatelinlcblob.core.windows.net を入力し、[保存2] を選択します。

最新問題**: 28**

cloud.liwareinc.com の名前解決を実装する必要があります。ソリューションはネットワーク要件を満たさなければなりません。
どうすればよいですか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dns/private-dns-autoregistration
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-networks-name-resolution-for-vms-and-role-instances

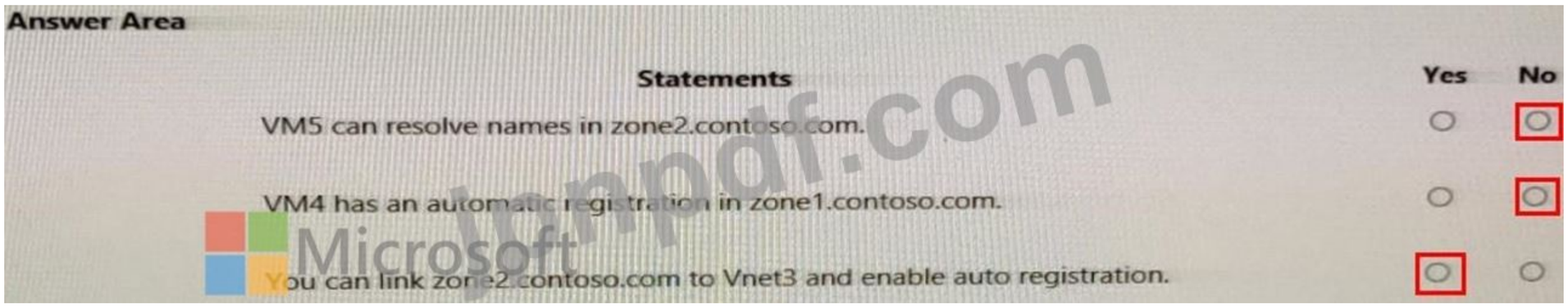
最新問題**: 29**
あなたはAzureサブスクリプションをお持ちです。
Azureアプリケーションゲートウェイを使用するApp1という名前のApp Service Webアプリをデプロイする必要があります。App1の推定使用量は、25万の永続接続です。
設定すべきアプリインスタンスの最小数はいくつですか？
A. 1000
B. 1
C. 100
D. 10
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題: **30**

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

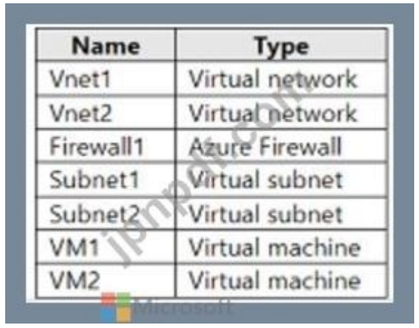
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:



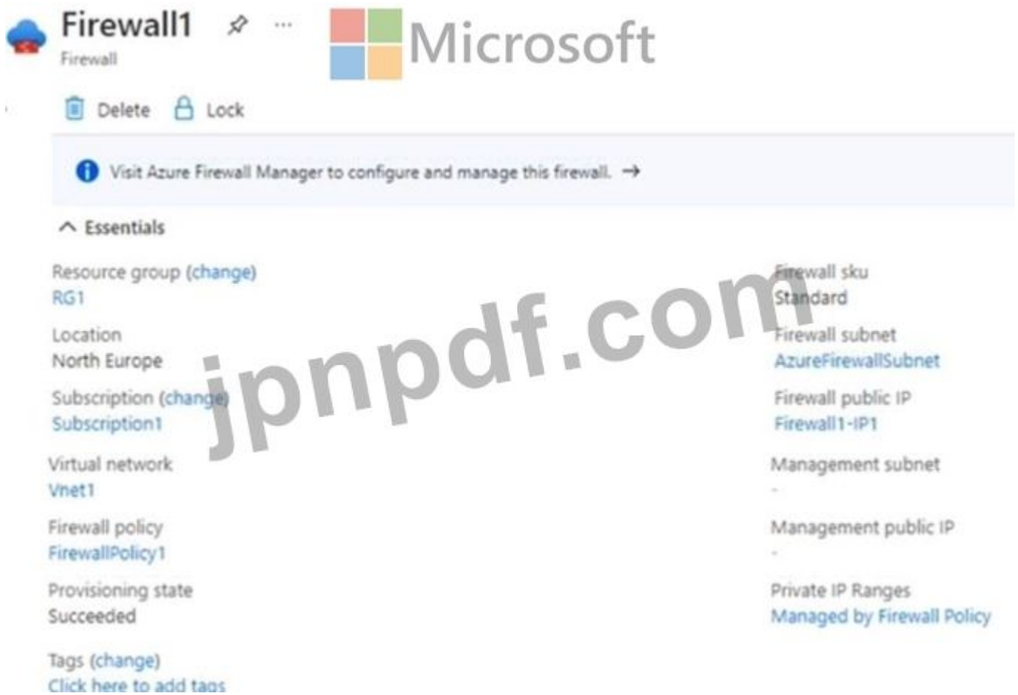
最新問題: **31**

お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。



Name	Type
Vnet1	Virtual network
Vnet2	Virtual network
Firewall1	Azure Firewall
Subnet1	Virtual subnet
Subnet2	Virtual subnet
VM1	Virtual machine
VM2	Virtual machine

ファイアウォール1は、以下の図に示すように設定されています。



FirewallPolicy1には以下のルールが含まれています。

* Vnet1およびVnet2からインターネットへの送信トラフィックを許可する。
* Vnet1とVnet2間のあらゆるトラフィックを許可する。

カスタムプライベートエンドポイント、サービスエンドポイント、ルーティングテーブル、ネットワークセキュリティグループ (NSG)は作成されていません。以下の各記述について、該当する場合は 「はい」を選択してください。そうでない場合は 「いいえ」を選択してください。注 :

正解ごとに1ポイント獲得できます。

Answer Area

Statements	Yes	No
A routing table must be associated with Subnet1 and Subnet2 to ensure that all internet traffic for VM1 and VM2 is sent via Firewall1.	○	○
The enable remote gateway setting must be enabled on the virtual net peering to provide VM2 Internet access by using Firewall1.	○	○
Firewall1 can be configured to limit access to websites by categories.	○	○

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
A routing table must be associated with Subnet1 and Subnet2 to ensure that all internet traffic for VM1 and VM2 is sent via Firewall1.	○	○
The enable remote gateway setting must be enabled on the virtual net peering to provide VM2 Internet access by using Firewall1.	○	○
Firewall1 can be configured to limit access to websites by categories.	○	○

最新問題: **32**
シミュレーション
タスク1
サブネットI-2にファイアウォールを導入する予定です。ファイアウォールのIPアドレスは10.1.2.4です。
サブネットI-1からIPアドレス範囲192.168.10.0/24へのトラフィックが、サブネットI-2に展開されるファイアウォールを経由してルーティングされるようにする必要があります。このソリューションは、動的ルーティングプロトコルを使用せずに実現しなければなりません。
Answer:
手順の詳細については、以下の説明をご覧ください。
Explanation:
サブネットI-2にファイアウォールをデプロイするには、サブネットI-2と同じ仮想ネットワーク内にネットワーク仮想アプライアンス（NVA）を作成する必要があります。NVAは、ファイアウォール、ルーティング、ロードバランシングなどのネットワーク機能を実行する仮想マシンです1。
NVAを作成するには、Azureポータルで仮想マシンを作成し、ファイアウォールソフトウェアがインストールされているイメージを選択する必要があります。Azure Marketplaceから選択するか、独自のイメージをアップロードすることができます。
NVAにIPアドレス10.1.2.4を割り当てるには、仮想マシンのネットワークインターフェイスに静的プライベートIPアドレスを作成する必要があります。これは、ネットワークインターフェイスのIP構成設定で行うことができま

す3。
サブネット I-1 から IP アドレス範囲 192.168.10.0/24 へのトラフィックが NVA を経由してルーティングされるようにするには、ユーザー定義ルート (UDR) テーブルを作成し、それをサブネット I-1 に関連付ける必要があります。UDR テーブルを使用すると、Azure のデフォルトのルーティング動作をオーバーライドして、サブネットのカスタム ルートを指定できます。
UDR テーブルを作成するには、Azure ポータルのルート テーブル サービスに移動し、[+ 作成] を選択します。ルート テーブルに名前とリソース グループを指定できます。
カスタムルートを作成するには、ルートテーブルで 〝ルート」を選択し、〝 追加」を選択します。ルート5には、以下の情報を入力できます。
宛先: 192.168.10.0/24
ネクストホップタイプ：仮想アプライアンス
次のホップアドレス: 10.1.2.4
ルーティングテーブルをサブネットI-1に関連付けるには、ルーティングテーブルでサブネットを選択し、[+関連付け]を選択します。ルーティングテーブルに関連付ける仮想ネットワークとサブネットを選択できます。

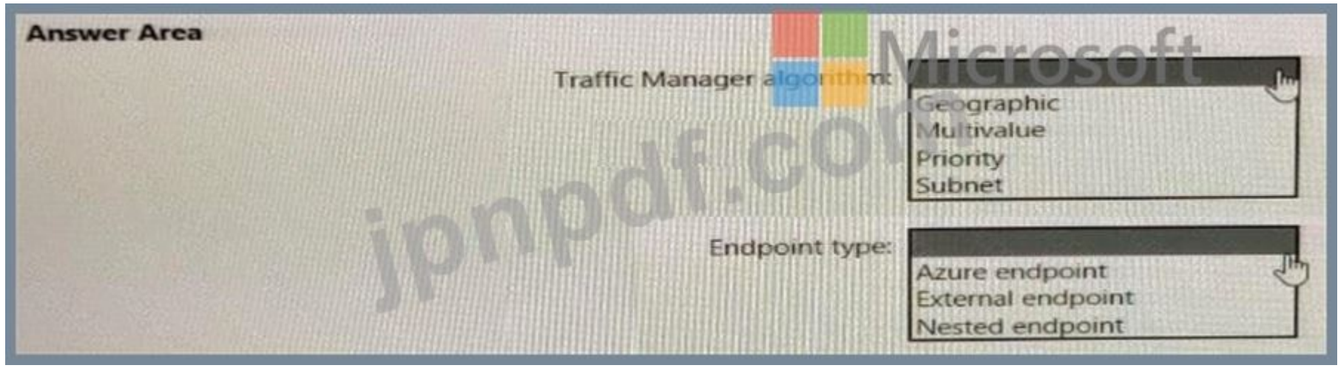
最新問題**: 33**
Subscnption1 と Subscription2 という名前の 2 つの Azure サブスクリプションがあります。Subscription1 には Vnet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。Vnet1 にはアプリケーション サーバーが含まれています。Subscription2 には Vnet2 という名前の仮想ネットワークが含まれています。
Vnet2内の仮想マシンがVnet1内のアプリケーションサーバーにアクセスできるようにするには、プライベートエンドポイントを使用する必要があります。
どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。

Answer:

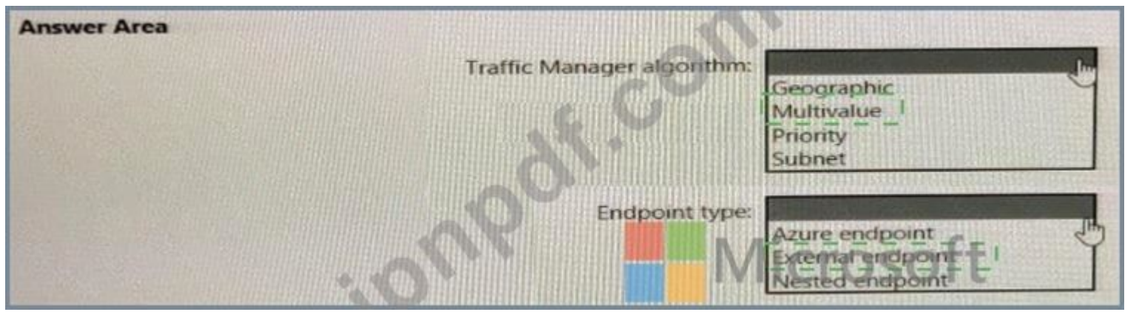
1 - Subscription1で、プライベートエンドポイント接続要求を承認します。
2 - Vnet1とVnet2間の仮想ネットワークピアリングを有効にします。

3 - アプリケーションサーバーの前にAzure Standard Load Balancerをデプロイします。
4 - Subscription1でプライベートリンクを作成します。

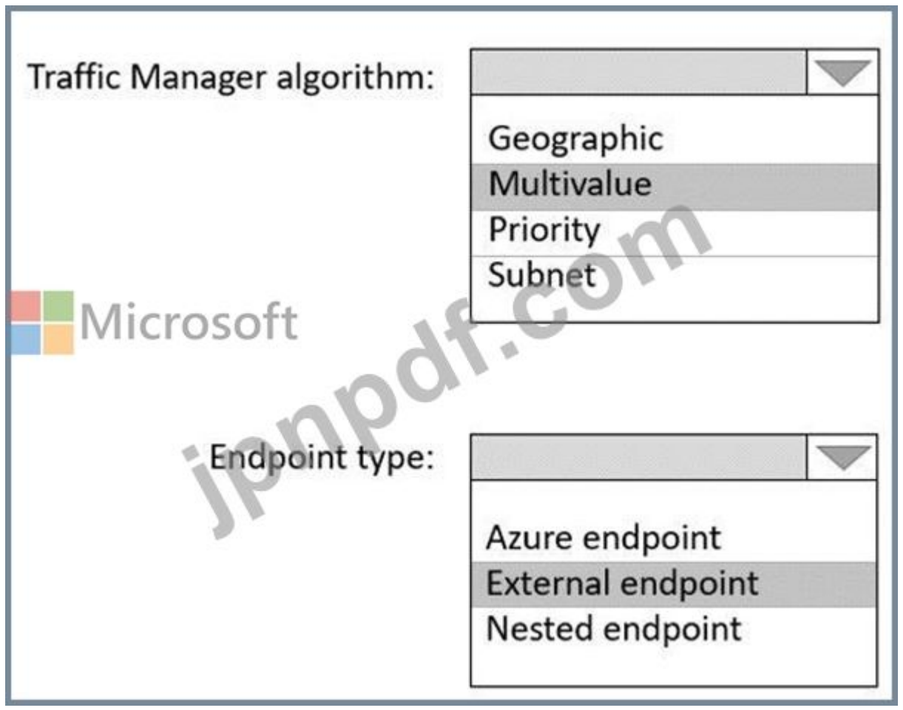
最新問題: **34**
貴社は10個のWebサービスインスタンスを運用しています。各インスタンスは異なるAzureリージョンにホストされており、パブリックエンドポイント経由でアクセス可能です。
同社の開発部門は、App1という名前のアプリケーションを作成しています。App1は10分ごとにエンドポイントのリストを使用し、最初に利用可能なエンドポイントに接続します。
エンドポイントのリストを管理するために、Azure Traffic Managerを使用する予定です。
DNSキャッシュの影響を最小限に抑えるように、トラフィックマネージャーのプロファイルを設定する必要があります。
何を設定すればよいですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



Explanation:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/traffic-manager/traffic-manager-routing-methods
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/traffic-manager/traffic-manager-endpoint-types

最新問題: **35**
注 :この問題は、同じシナリオを提示する一連の問題の一部です。このシリーズの各問題には、提示された目標を満たす可能性のある独自の解答が含まれています。問題セットによっては、複数の正解がある場合もあれば、正解がない場合もあります。
このセクションの質問に回答すると、後から戻って回答することはできません。そのため、これらの質問は復習画面には表示されません。
Azure Web Application Firewall (WAF) が有効になっている Azure アプリケーション ゲートウェイがあります。
アプリケーションゲートウェイを設定して、トラフィックをアプリケーションゲートウェイのURLに転送するようにします。
指定されたURLにアクセスしようとすると、HTTP 403エラーが発生します。診断ログを確認すると、以下のエラーが見つかります。

アプリケーションゲートウェイ経由でそのURLにアクセスできることを確認する必要があります。
解決策 :リクエストヘッダーに137.135.10.24が含まれる場合、WAFポリシーの除外設定を作成します。
これは目標を達成していると言えるでしょうか？
A. はい
B. いいえ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
説明
ここで指定するパラメータはリクエストヘッダーではなく、RemoteAddrであるべきです。
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/web-application-firewall/ag/custom-waf-rules-overview#match-variable-

最新問題**: 36**
貴社の本社とAzure仮想ネットワーク間のサイト間VPN接続を確立できませんでした。IPsecトンネルの確立を妨げている原因をトラブルシューティングする必要があります。
どの診断ログを確認すべきですか？
A. トンネル診断ログ
B. RouteDiagnosticLog
C. GatewayDiagnosticLog
D. IKE診断ログ
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 37**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

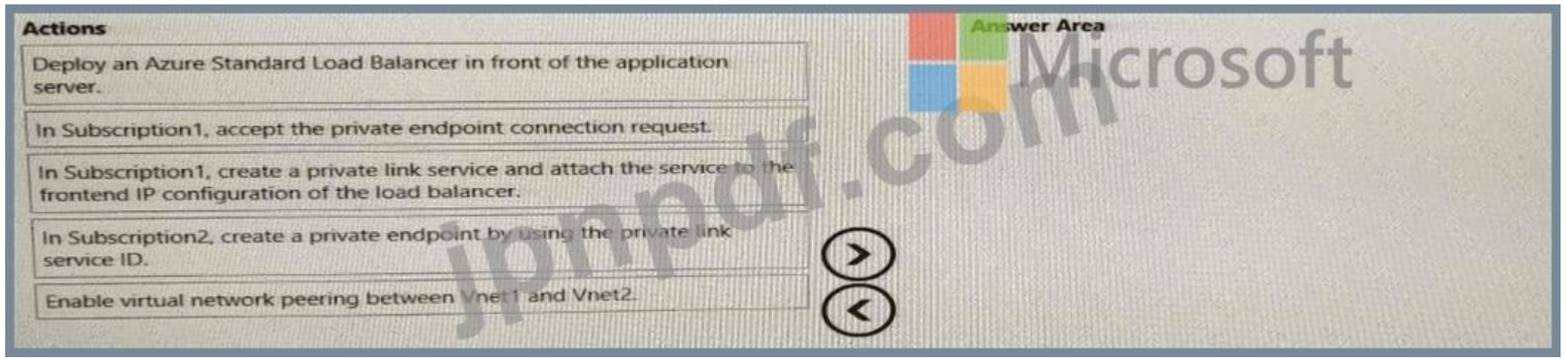
Name	Type	Description
VNet1	Virtual network	Contains a subnet named Subnet1
Subnet1	Virtual subnet	Part of VNet1
NSG1	Network security group (NSG)	Linked to Subnet1
ASG1	Application security group	Not linked

サブシェルには、App1という名前のアプリケーションをホストする3つの仮想マシンが含まれています。App1にはSFTPプロトコルを使用してアクセスします。
NSG1 から、ASG1 への受信 SFTP 接続を許可する Rule2 という名前の受信セキュリティ ルールを設定します。
受信SFTP接続はASG1を使用して管理する必要があります。ソリューションは管理作業を最小限に抑えるものでなければなりません。
あなたはどうすべきでしょうか？
A. NSG1 から Rule2 の優先順位を変更します。
B. サブネット1からサブネット委任を作成します。
C. ASG1から役割割り当てを変更します。
D. 各仮想マシンから、ネットワークインターフェイスをASG1に関連付けます。
Answer: D (メーッセージを残す**)**

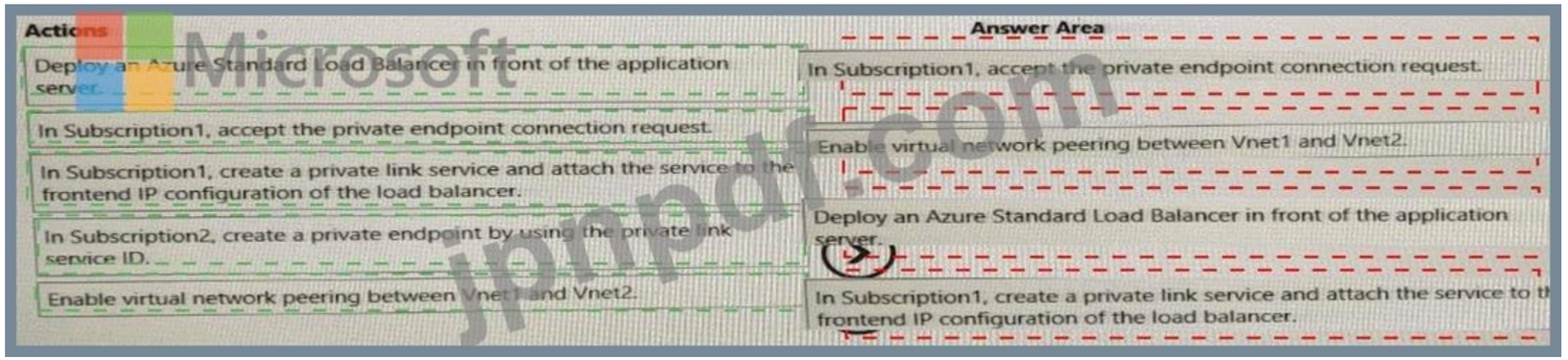
最新問題**: 38**
Azure ファイアウォールを使用して Azure 仮想ネットワーク リソースを保護することにしました。しかし、ファイアウォールにはさまざまな問題が発生する可能性があります。
脅威インテリジェンスのアラートが隠蔽される可能性がある」という問題が発生した場合、どのように対処すればよいでしょうか？
2つ選択）

A. ポート:プロトコル値としてhttpsを使用する
B. アプリケーションルールを使用して、80/443 のアウトバウンドフィルタリングを作成します。
C. 脅威インテリジェンスモードをアラートと拒否に変更します。
D. 認証済みSMTPリレーサービスを使用する
E. IPv4アドレスのみを使用してください。
Answer: B,C (メーッセージを残す)
脅威インテリジェンスのアラートが隠蔽される可能性がある」という問題に対する緩和策は、アプリケーションルールを通じて80/443番ポートのアウトバウンドフィルタリングを作成するか、脅威インテリジェンスモードをアラートと拒否に変更することです。
オプションAは誤りです。ポート:プロトコル値としてhttpsを使用することが、この問題の緩和策です。
FQDNタグにはプロトコル :ポート番号の設定が必要です。」
選択肢Bが正解です。この問題は、アプリケーションルールを使用して80/443番ポートのアウトバウンドフィルタリングを作成することで軽減できます。
選択肢Cが正解です。この問題は、脅威インテリジェンスモードを 警告と拒否」に変更することで軽減できます。
選択肢Dは誤りです。認証付きSMTPリレーサービスを使用することは、適切な対策ではありません。
選択肢Eは誤りです。 IPv6は現在サポートされていません」という問題に対する対策は、IPv4アドレスのみを使用することです。
参照 :
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/firewall/overview?WT.mc_id=modinfra-33046-thmaure

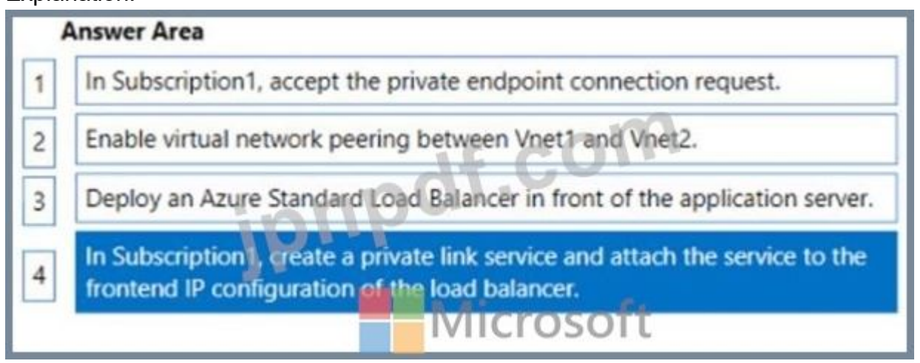
最新問題**: 39**
Subscnption1 と Subscription2 という名前の 2 つの Azure サブスクリプションがあります。Subscription1 には Vnet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。Vnet1 にはアプリケーション サーバーが含まれています。Subscription2 には Vnet2 という名前の仮想ネットワークが含まれています。
Vnet2内の仮想マシンがVnet1内のアプリケーションサーバーにアクセスできるようにするには、プライベートエンドポイントを使用する必要があります。
どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: 40

お客様のオンプレミスネットワークは、10.0.0.0/20のIPアドレス空間を使用しています。

お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
RT1	Route table	*None*
HubVNet	Virtual network	Uses an IP address space of 172.16.0.0/20 Peered to SpokeVNet
SpokeVNet	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.0.0/20

オンプレミスネットワークは、サイト間VPN（S2S VPN）を使用してHubVnetに接続されています。

HubVNetにAZFW1という名前のAzureファイアウォールをデプロイします。

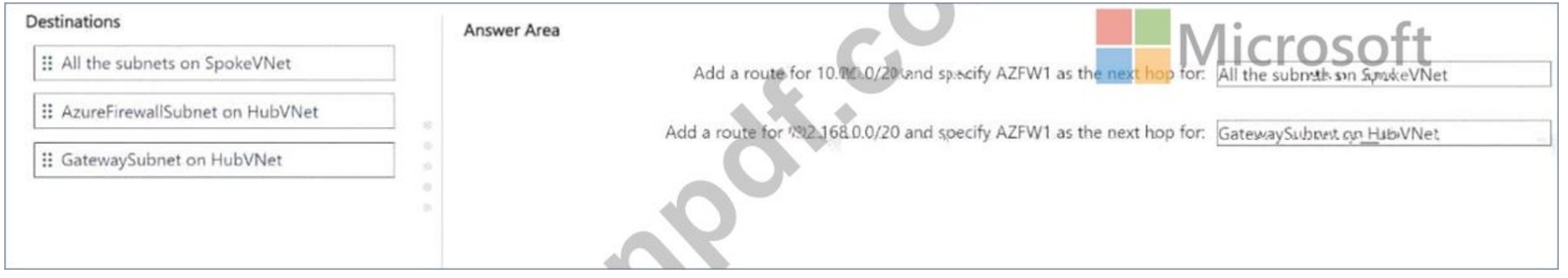
AZFW1がオンプレミスネットワークとSpokeVNet間のすべてのトラフィックを検査できることを確認する必要があります。

RT1では何をすべきでしょうか？答えるには、適切な目的地を正しいルートにドラッグしてください。各リソースは、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

Explanation:

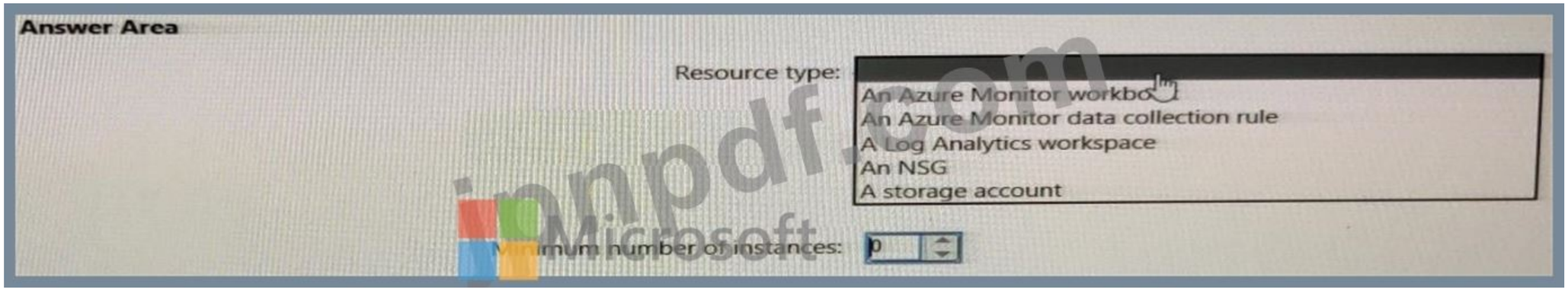


最新問題**: 41**

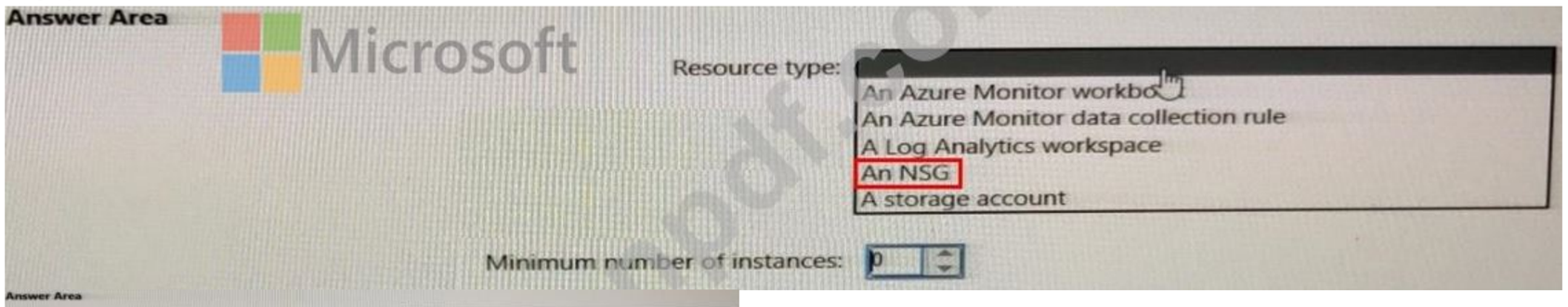
NSGフローログには、ネットワークセキュリティ要件を満たす必要があります。

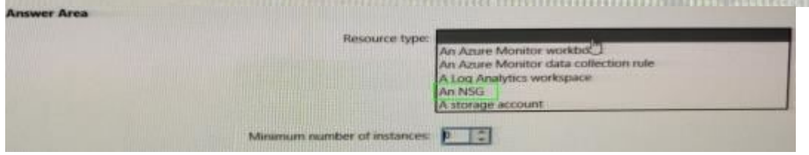
必要なリソースの種類と、作成すべきインスタンスの数を教えてください。回答欄で適切なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



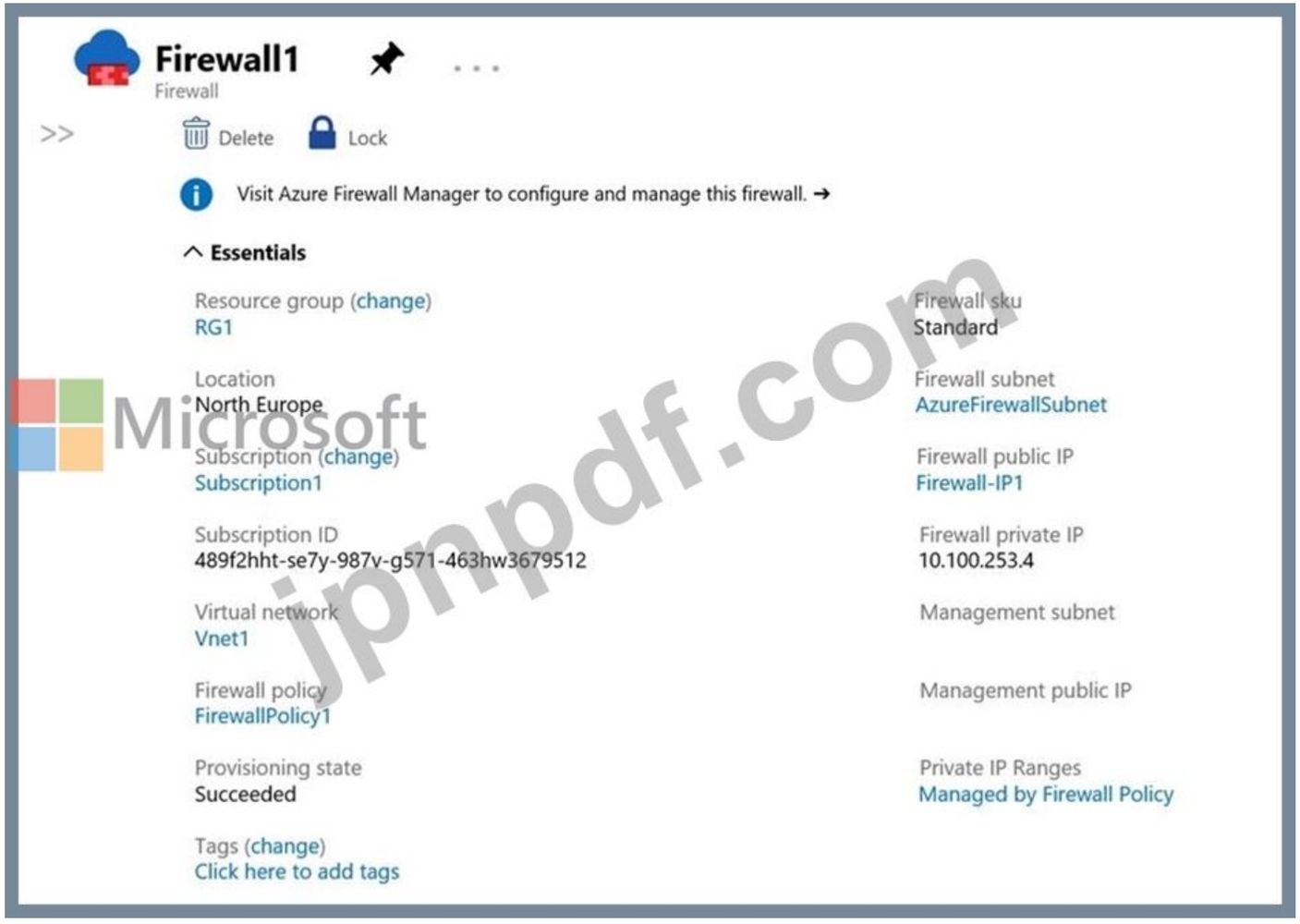
Answer:



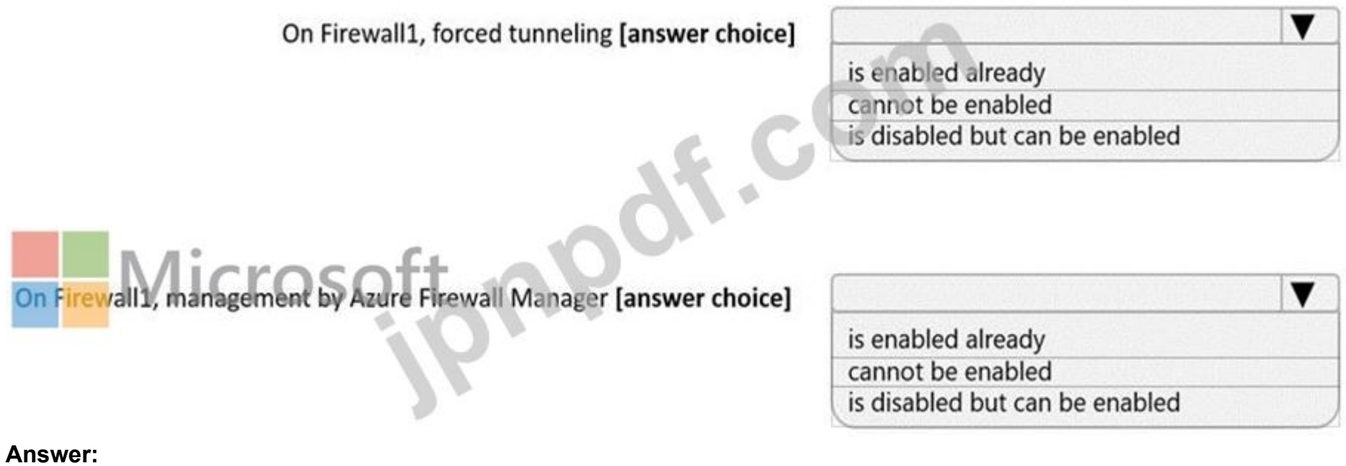


最新問題: **42**

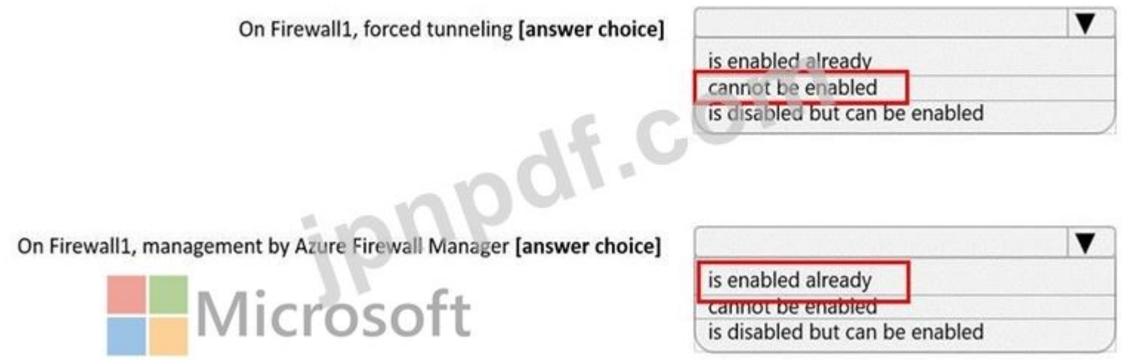
次の図に示すように、Azureファイアウォールがあります。



図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューを使用して選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



最新問題: **43**

お客様のオンプレミスネットワークには、Server 1 という名前の DNS サーバーが含まれています。

お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
VNet1	Virtual network	*None*
VM1	Virtual machine	Connected to VNet1 Connected to storage1 by using a private endpoint
storage1	Storage account	*None*

オンプレミスネットワークは、サイト間VPN （S2S VPN）を使用してVNet1に接続されています。

Server1がstorage1のDNS名を解決できることを確認する必要があります。解決策は、コストと管理の手間を最小限に抑えるものでなければなりません。

何を使うべきでしょうか？

A. Azure DNS プライベート リゾルバー

B. AzureパブリックDNSゾーン

C. DNSサービスをホストするAzure仮想マシン

D. AzureプライベートDNSゾーン
Answer: A (メーッセージを残す)

最新問題: **44**
Azure サブスクリプションを購入します。次の表に示すリソースをそのサブスクリプションにデプロイする予定です。

Name	Description
Vnet1	A virtual network
Subnet1	A subnet on Vnet1
App1	A multitier application that consists of frontend web servers, backend application servers, database servers, and search servers that all connect to Subnet1
NSG1	A network security group (NSG) associated to Subnet1

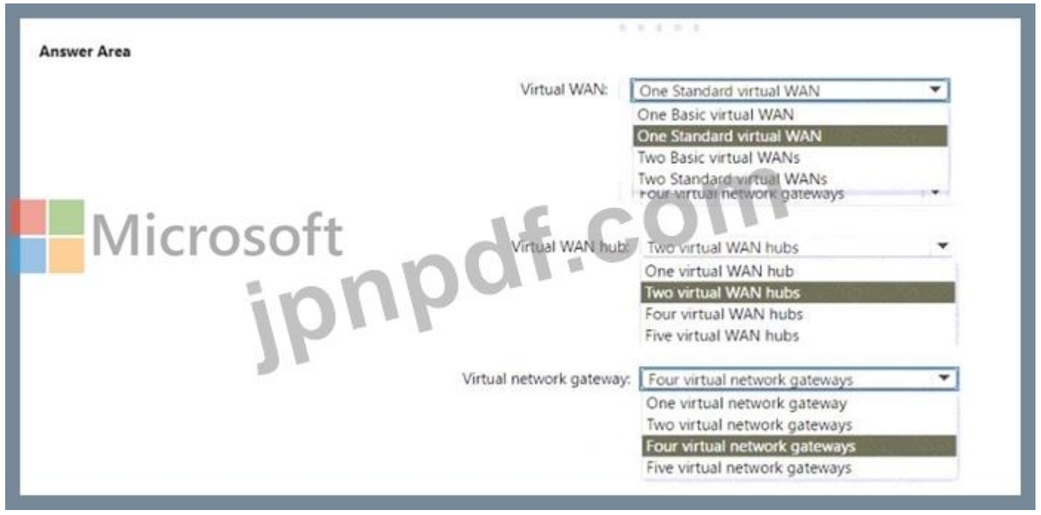
以下の要件を満たすために、Rule1という名前のNSG1ルールを作成する必要があります。
* App1の検索サーバーがインターネットサービスへのHTTPアウトバウンド接続を確立できるようにします。
* 新しい検索サーバーを導入する際の管理作業を最小限に抑える。
最小権限の原則を適用する。
ルール1のソースとして何を選択すべきですか？
A. アプリケーションセキュリティグループ
B. 任意の
C. 仮想ネットワーク
D. IPアドレス
Answer: D (メーッセージを残す)

最新問題: **45**
以下の表に示すようなオンプレミスネットワークがあります。

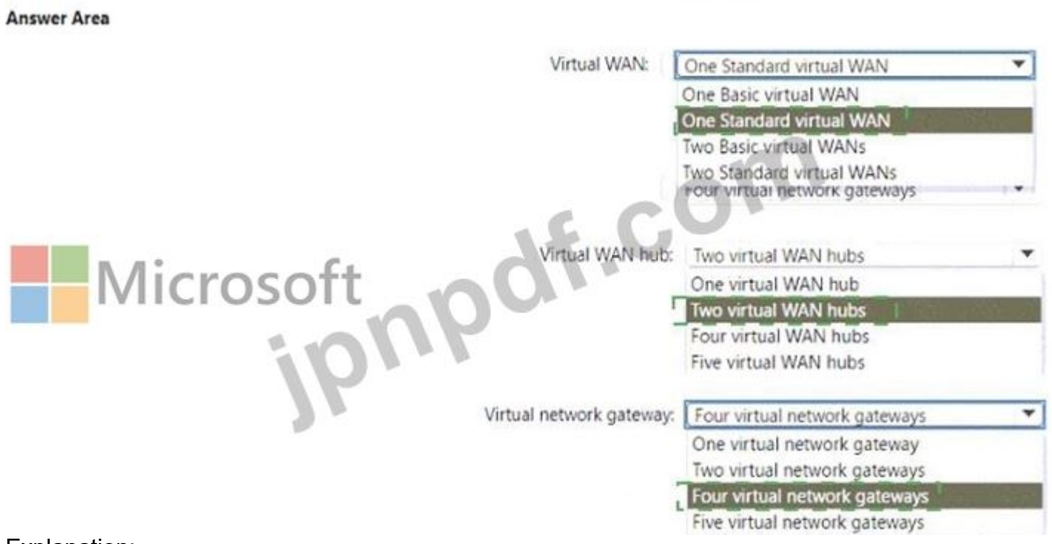
Name	ASN	IP address space	Connection type	Description
Branch1	64551	10.50.0.0/24,10.61.0.0/16	VPN	Is an on-premises datacenter
Branch2	64551	10.50.0.0/16,10.61.0.0/16	VPN and ExpressRoute	AS Path has a prefix of 64551,64551,64551
Branch3	64551	10.50.2.0/24,10.61.0.0/16	ExpressRoute	*None*

Azure サブスクリプションには、VWAN1 という名前の Azure 仮想 WAN と VNet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。VWAN は、オンプレミス ネットワークと VNet1 にフルメッシュ トポロジで接続されています。VWAN1 の仮想ハブ ルーティングの優先順位は AS パスです。
VNet1から10.61.1.5へトラフィックをルーティングする必要があります。
どの経路が使用されますか？
A. 第2支線へのエクスプレスルート接続
B. Branch2へのVPN接続
C. ブランチ3へのエクスプレスルート接続
D. ブランチ1へのVPN接続
Answer: C (メーッセージを残す)
最新問題: **46**

貴社は北米とヨーロッパに40の支店を有しています。貴社は、以下の仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションを所有しています。
* 米国東部Azureリージョンにある2つのネットワーク
* 西ヨーロッパAzureリージョンにある3つのネットワーク
Azure Virtual WANを実装する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。
北米の各支店は、ExpressRoute回線と、米国東部地域に接続するサイト間VPNを備えている必要があります。
* ヨーロッパにある各支店は、ExpressRoute回線と、西ヨーロッパ地域に接続するサイト間VPNを備えている必要があります。
* すべての支店とすべての仮想ネットワーク間で推移的な接続がサポートされている必要があります。
コストは最小限に抑えなければならない。
仮想WANリソースの最小必要数はいくつですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

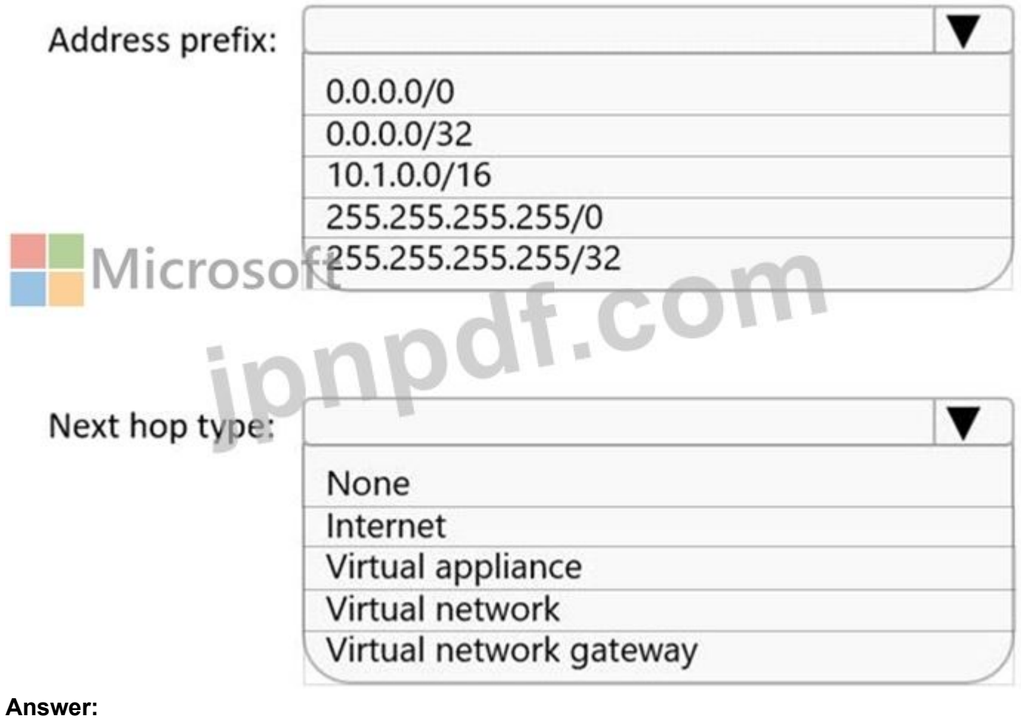


Answer:

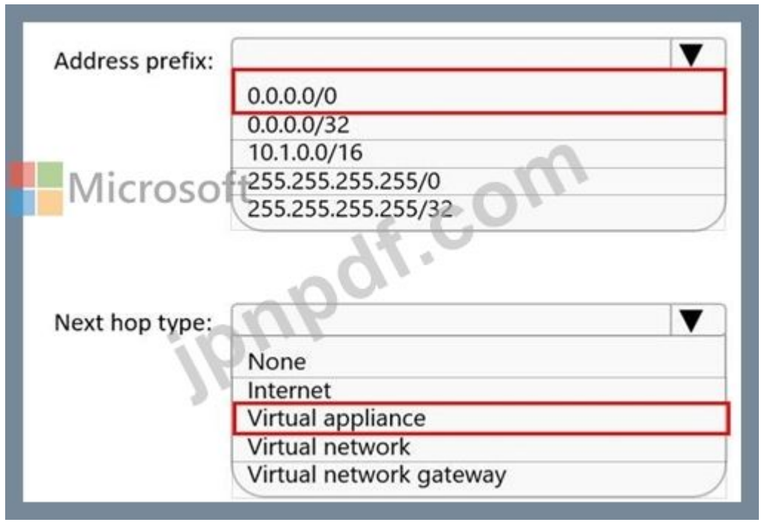


Explanation:

最新問題: **47**
VM Analyzeの仮想ネットワーク要件を実装しています。
Subnet2にリンクされたカスタムルートには何を含めるべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

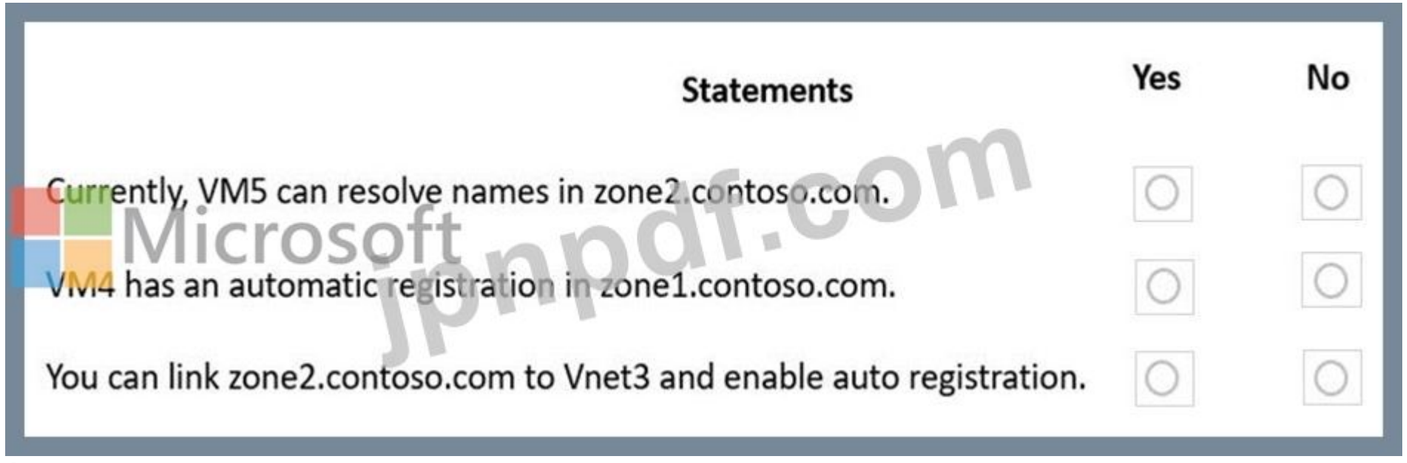


Answer:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-networks-udr-overview

最新問題: 48
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:

Statements	Yes	No
Currently, VM5 can resolve names in zone2.contoso.com.	○	◉
VM4 has an automatic registration in zone1.contoso.com.	◉	○
You can link zone2.contoso.com to Vnet3 and enable auto registration.	○	◉

最新問題: **49**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	*None*
VM1	Virtual machine	Connected to Vnet1
VM2	Virtual machine	Connected to Vnet1
SQL1	Azure SQL Database	Internet accessible

サブスクリプション内のリソースにアクセスするには、ExpressRoute サーキットを実装する必要があります。ソリューションは、オンプレミスネットワークが ExpressRoute サーキットを使用して Azure リソースに接続できるようにする必要があります。
各接続にはどのタイプのピアリングを使用すべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
Answer Area

Connection to Vnet1: Private peering
- Microsoft peering
- **Private peering**
- Public peering
- Virtual network peering

Connection to SQL1: Microsoft peering
- **Microsoft peering**
- Private peering
- Public peering
- Virtual network peering

Answer:

Answer Area

Explanation:

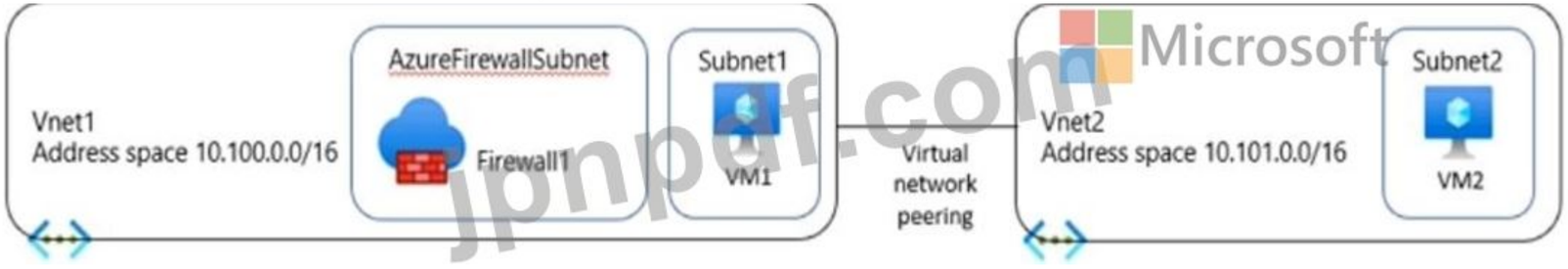
Answer Area

最新問題: **50**

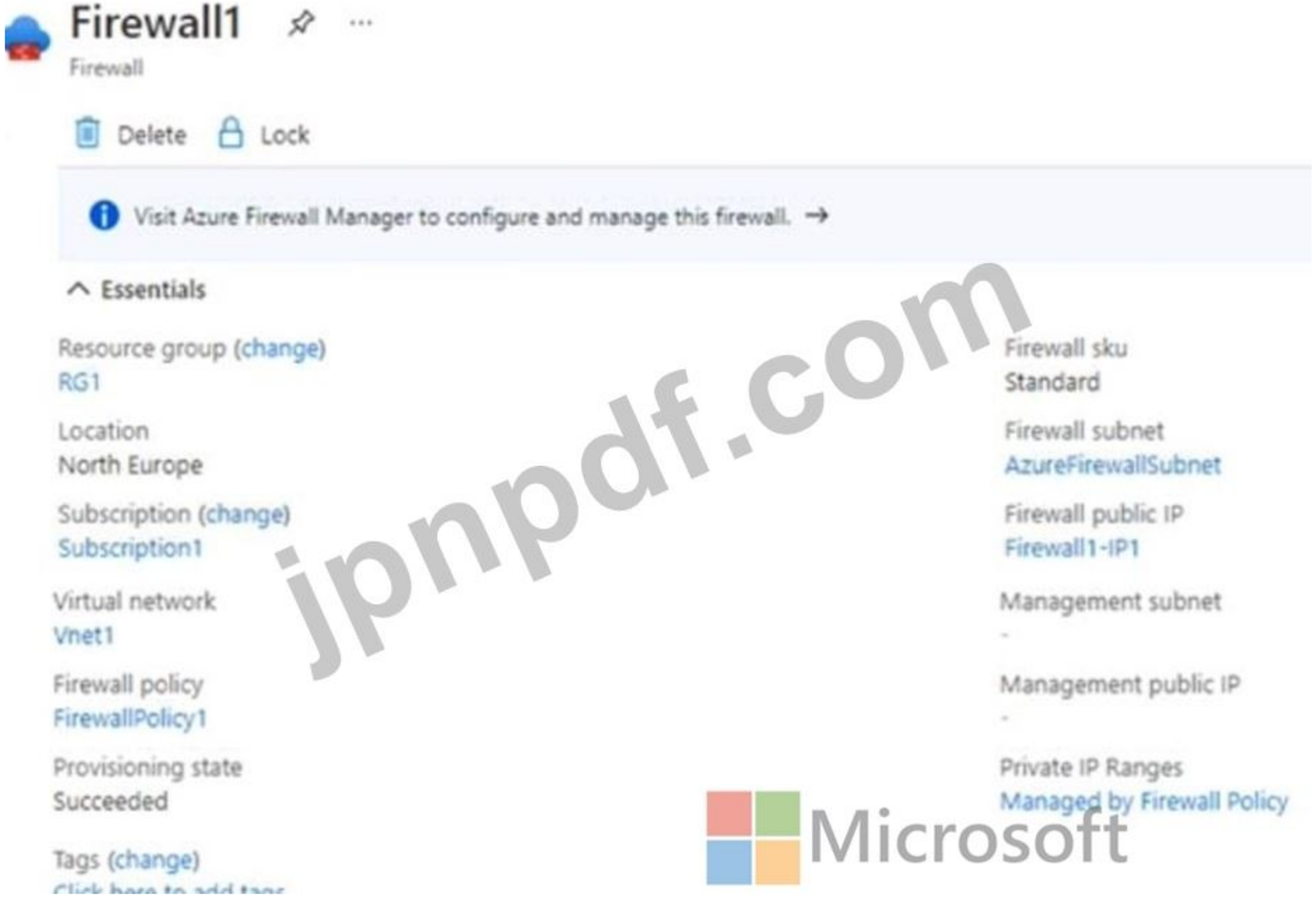
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type
Vnet1	Virtual network
Vnet2	Virtual network
Firewall1	Azure Firewall
Subnet1	Virtual subnet
Subnet2	Virtual subnet
VM1	Virtual machine
VM2	Virtual machine

仮想ネットワークのトポロジーを以下の図に示します。



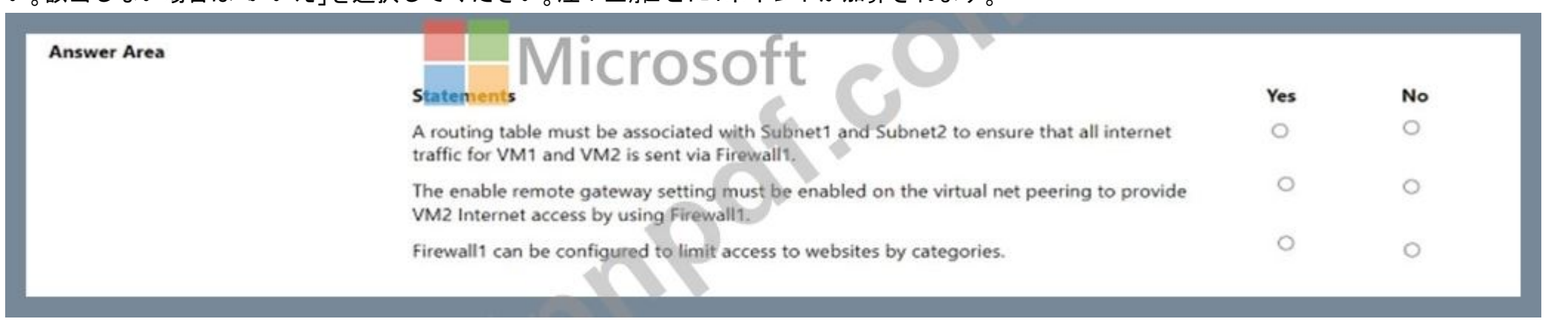
ファイアウォール1は、以下の図に示すように設定されています。



FirewallPolicy1には以下のルールが含まれています。

* Vnet1およびVnet2からインターネットへの送信トラフィックを許可する。
* Vnet1とVnet2間のあらゆるトラフィックを許可する。

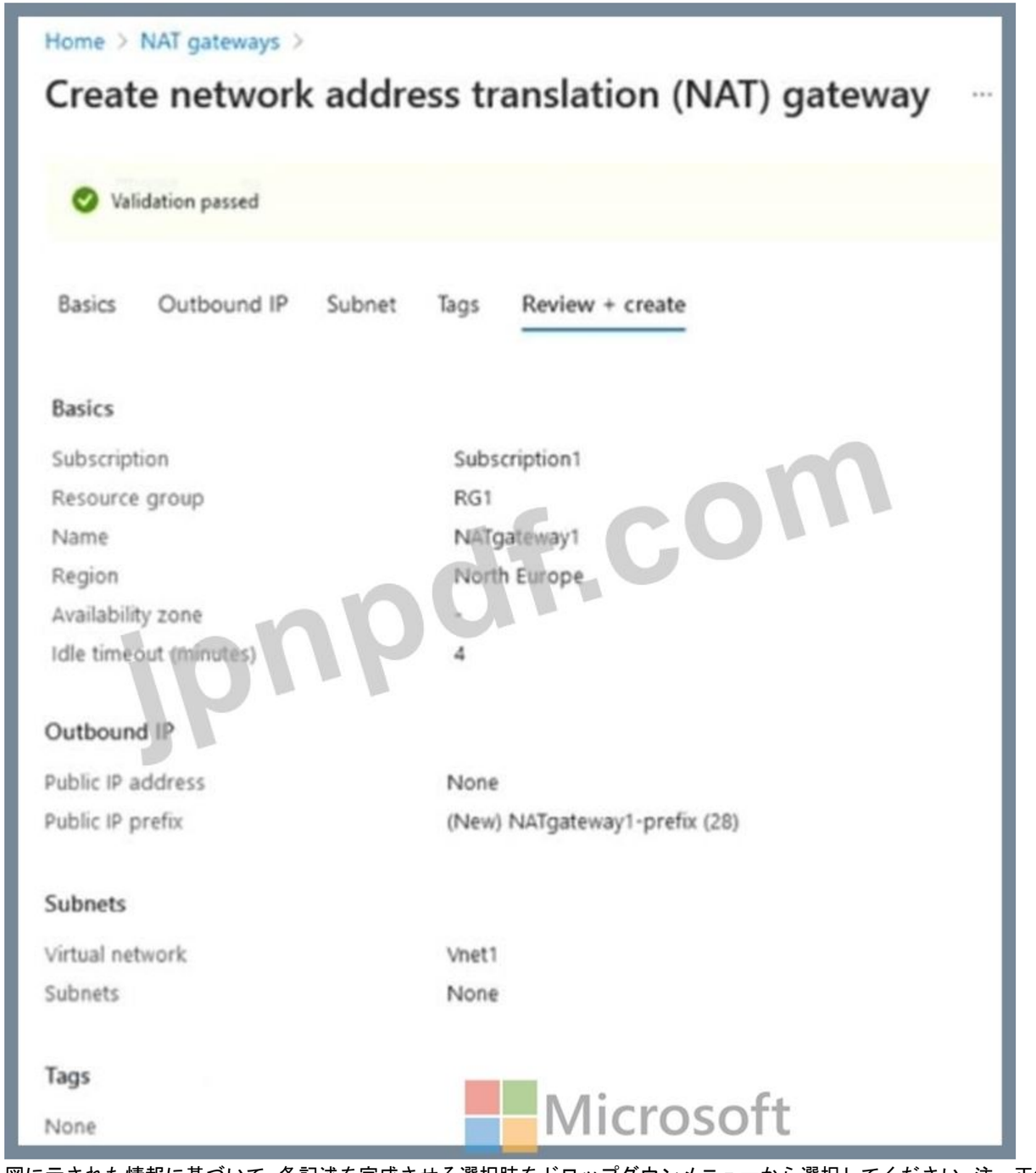
カスタムプライベートエンドポイント、サービスエンドポイント、ルーティングテーブル、ネットワークセキュリティグループ（NSG）は作成されていません。以下の各記述について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:

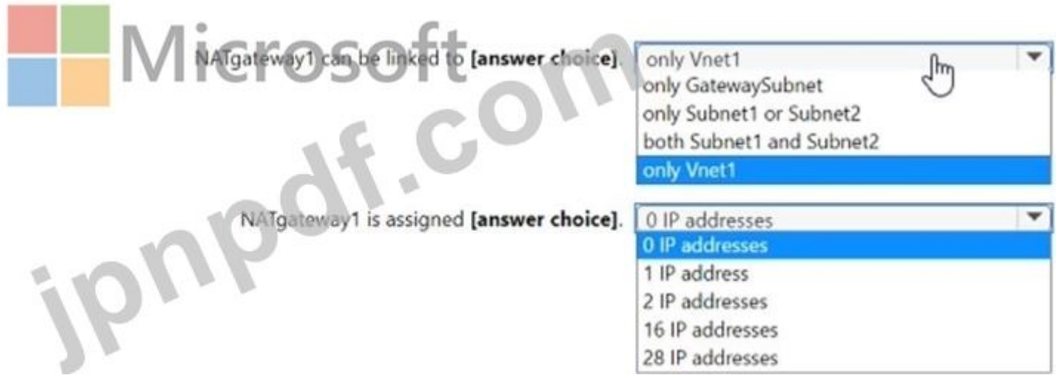
最新問題**: 51**

Vnet1 という名前の Azure 仮想ネットワークがあり、その中に Subnet1 と Subnet2 という名前の 2 つのサブネットがあります。どちらのサブネットにも仮想マシンが含まれています。次の図に示すように、NATgateway1 という名前の NAT ゲートウェイを作成します。



図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューから選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area



Answer:

最新問題: **52**

貴社は北米とヨーロッパに40の支店を有しています。貴社は、以下の仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションを所有しています。

* 米国東部Azureリージョンにある2つのネットワーク
* 西ヨーロッパAzureリージョンにある3つのネットワーク

Azure Virtual WANを実装する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

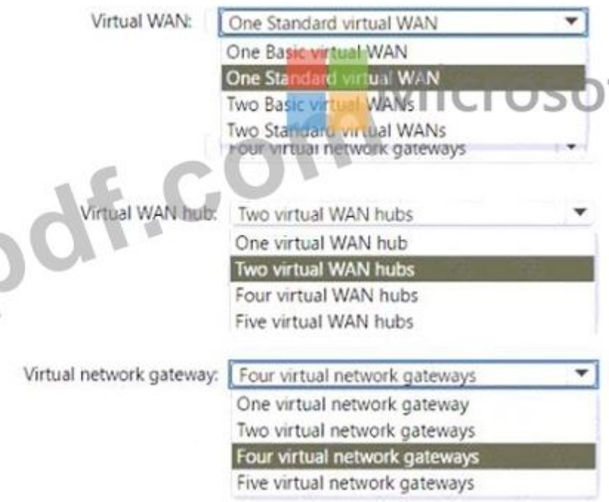
北米の各支店は、ExpressRoute回線と、米国東部地域に接続するサイト間VPNを備えている必要があります。

* ヨーロッパにある各支店は、ExpressRoute回線と、西ヨーロッパ地域に接続するサイト間VPNを備えている必要があります。
* すべての支店とすべての仮想ネットワーク間で推移的な接続がサポートされている必要があります。

コストは最小限に抑えなければならない。

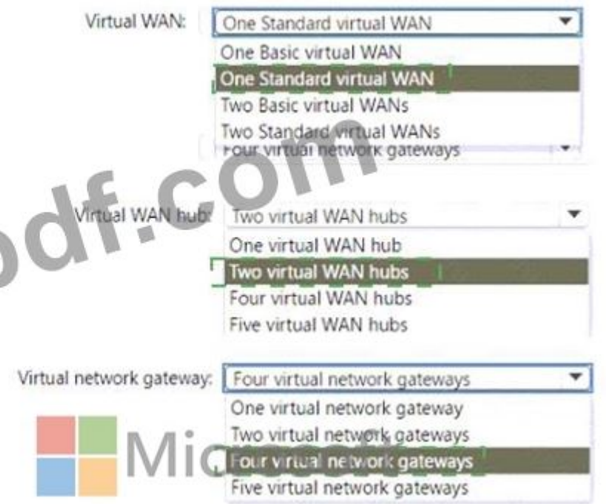
仮想WANリソースの最小必要数はいくつですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area



Answer:

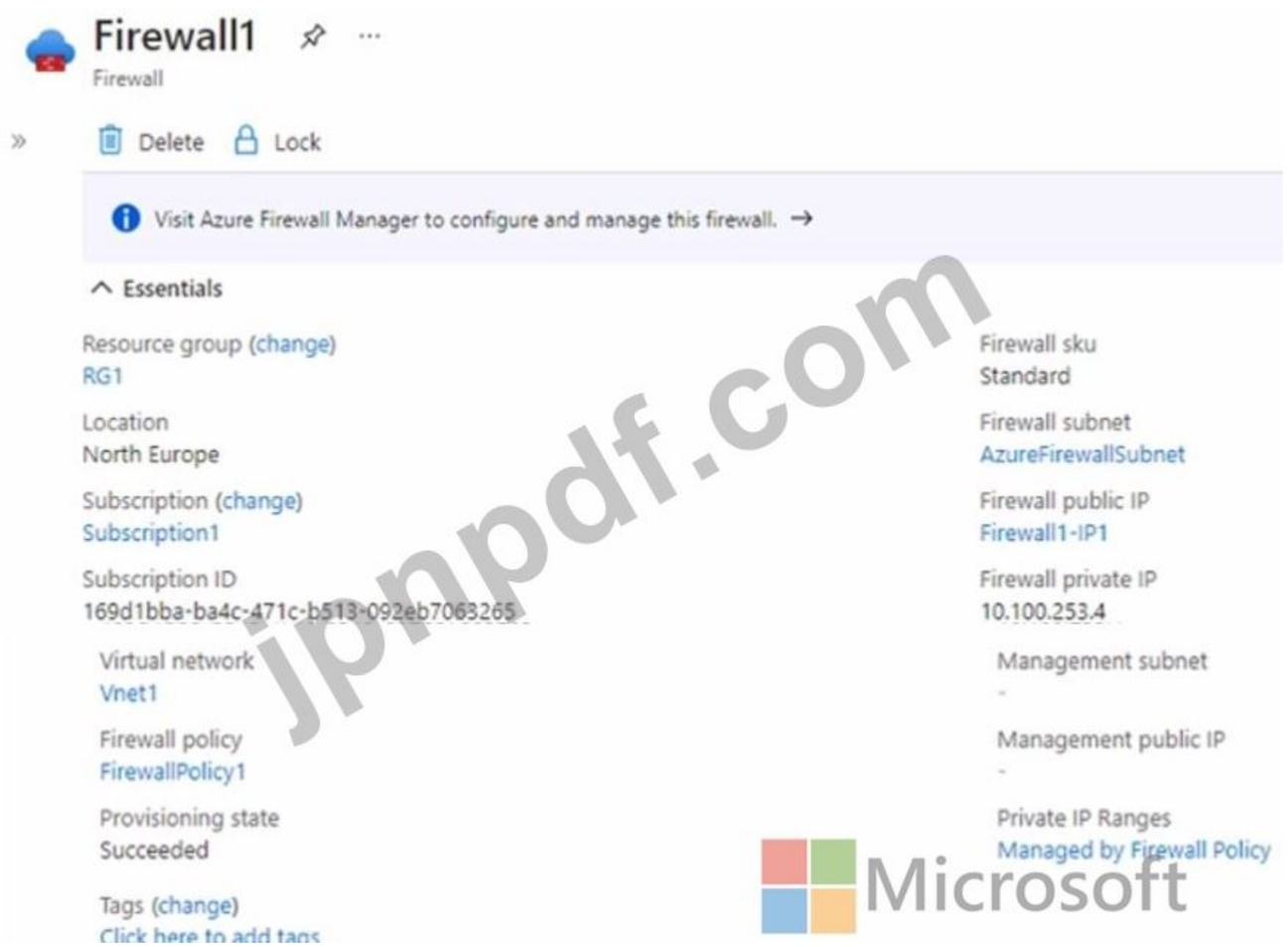
Answer Area



Explanation:

最新問題: **53**
Azure仮想ネットワークには、Subnet1とSubnet2という名前の2つのサブネットが含まれています。
サブネット1にはVM1という名前の仮想マシンが含まれています。サブネット2にはVM2という名前の仮想マシンが含まれています。
NSG1とNSG2という2つのネットワークセキュリティグループ（NSG）があります。NSG1には100個の受信セキュリティルールがあり、VM1に関連付けられています。NSG2には200個の受信セキュリティルールがあり、Subnet1に関連付けられています。
VM2はVM1に接続できません。
NSGルールが接続をブロックしている疑いがある。
接続をブロックしているルールを特定する必要があります。この問題はできるだけ早く解決しなければなりません。
Azure Network Watcherのどの機能を使用すべきでしょうか？
A. NSGフローログ
B. 接続トラブルシューティング
C. 効果的なセキュリティルール
D. NSG診断
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **54**
次の図に示すように、Azureファイアウォールが設定されています。



図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューを使用して選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

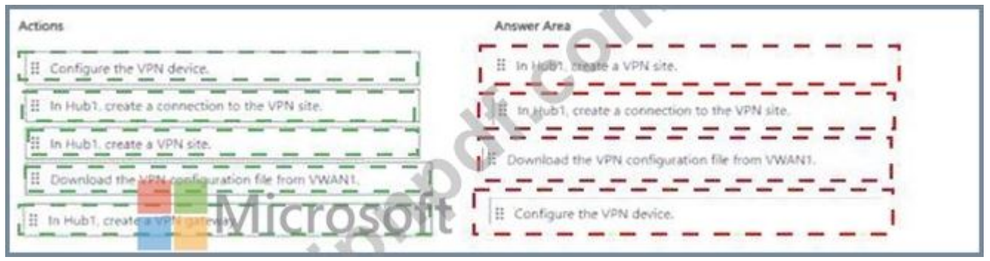
Answer:

最新問題: **55**
シミュレーション
タスク11
VNET1上のホストのみがslcnage42150372ストレージアカウントにアクセスできるようにする必要があります。このソリューションでは、アクセスがAzureバックボーンネットワーク経由で行われることを保証しなければなりません。
Answer:
手順の詳細については、以下の説明をご覧ください。
Explanation:
VNET1 上のホストのみが slcnage42150372 ストレージ アカウントにアクセスでき、アクセスが Azure バックボーン ネットワーク経由で行われるようにするには、Azure プライベート エンドポイントを使用できます。この方法では、仮想ネットワークからストレージ アカウントにプライベート IP アドレスを割り当てることで接続を保護し、トラフィックがパブリック インターネットを経由しないようにします。
段階的な解決策
ステップ1 :ストレージアカウント用のプライベートエンドポイントを作成する
Azureポータルに移動します。
「ストレージアカウント」を検索し、slcnage42150372 ストレージアカウントを選択してください。
ストレージアカウントのブレードで、「セキュリティ + ネットワーク」セクションの下にある「ネットワーク」を選択します。

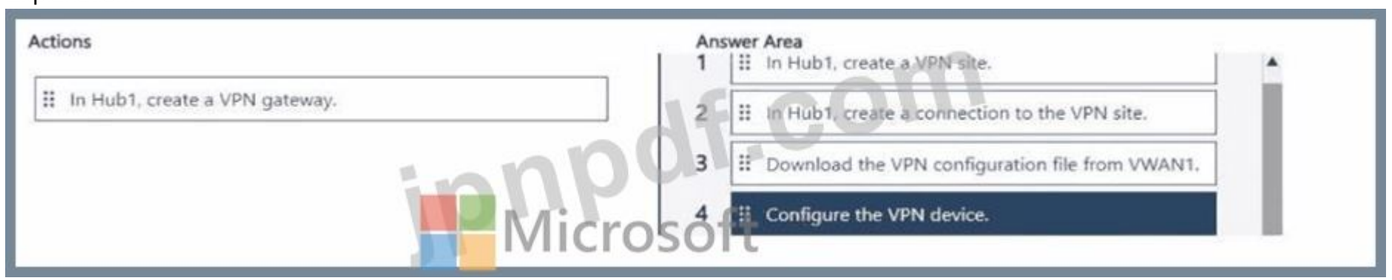
「プライベートエンドポイント接続」の下にある「プライベートエンドポイントの追加」をクリックします。
以下の詳細を入力してください。
名前: プライベートエンドポイントの名前を入力してください（例PrivateEndpoint-VNET1）。
リージョン：仮想ネットワーク（VNET1）と同じリージョンを選択してください。
「次へ :リソース」をクリックしてください。
ステップ2 :リソースの設定
「ターゲットサブリソース」を選択します。接続するストレージサービス（例BLOB、ファイル、キュー、テーブル）を選択します。
「次へ：仮想ネットワーク」をクリックしてください。
ステップ3：仮想ネットワークとサブネットを選択する
仮想ネットワークを選択してください :VNET1を選択してください。
サブネットを選択してください :VNET1内の適切なサブネットを選択してください。
「次へ：設定」をクリックしてください。
ステップ4 :DNS統合の設定（オプション）
仮想ネットワーク内での適切な名前解決を確実にするために、必要に応じてDNS設定を構成してください。
「次へ :タグ」をクリックし、必要に応じてタグを追加してから、「確認＋作成」をクリックします。
設定を確認し、「作成」をクリックしてください。
ステップ5：公共ネットワークへのアクセスを制限する
ストレージアカウントに戻ってください。
「セキュリティ + ネットワーク」セクションの「ネットワーク」を選択してください。
「ファイアウォールと仮想ネットワーク」で、「選択したネットワーク」を選択します。
仮想ネットワークのセクションには、VNET1のみがリストされていることを確認してください。
「保存」をクリックしてください。
Explanation:
プライベートエンドポイント: これらは、VNet からサービスにプライベート IP アドレスを割り当てることで Azure サービスへの安全な接続を提供し、トラフィックが Azure バックボーン ネットワーク内に留まるようにします 12。
ファイアウォールと仮想ネットワーク: ストレージ アカウントを構成して、選択したネットワーク (VNET1) からのアクセスのみを許可すると、他のネットワークがストレージ アカウント 3 にアクセスできなくなることが保証されます。
これらの手順に従うことで、VNET1 上のホストのみが slcnage42150372 ストレージ アカウントにアクセスでき、すべてのアクセスが安全な Azure バックボーン ネットワーク経由で行われることを保証できます。

最新問題**: 56**
10.0.0.0/24のIPアドレス空間に属するIPアドレスを持つオンプレミスサーバーが100台あります。
仮想ネットワーク VNet1、Azure VPN ゲートウェイ VGW1、および 100 台の仮想マシンを含む Azure サブスクリプションがあります。VNet1 の IP アドレス空間は 10.0.0.0/22 です。VGW1 は VpnGw1 SKU を使用します。
Azure仮想マシンとオンプレミスサーバーがVGW1を使用して通信できるようにする必要があります。ソリューションは管理作業を最小限に抑えるものでなければなりません。

Answer:



Explanation:



最新問題: **57**

以下の表に示すリソースが利用可能です。

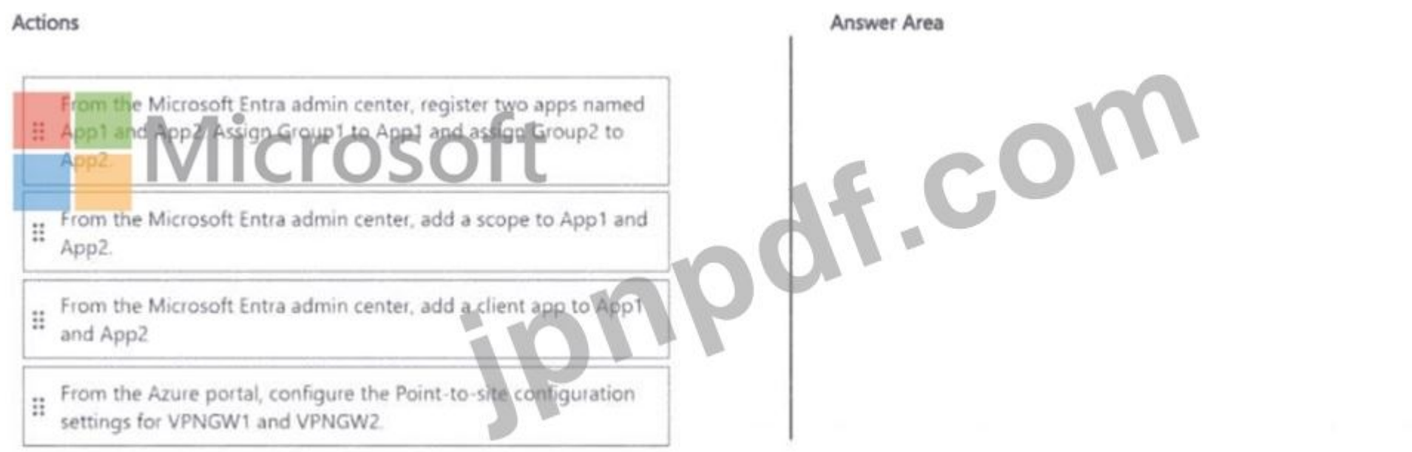
Name	Type	Description
Group1	Microsoft Entra group	*None*
Group2	Microsoft Entra group	*None*
VPNGW1	Azure VPN Gateway	Supports Point-to-Site (P2S) VPN connections
VPNGW2	Azure VPN Gateway	Supports Point-to-Site (P2S) VPN connections

Microsoft Entra管理センターから、Azure VPNアプリケーションをエンタープライズアプリケーションとして登録します。

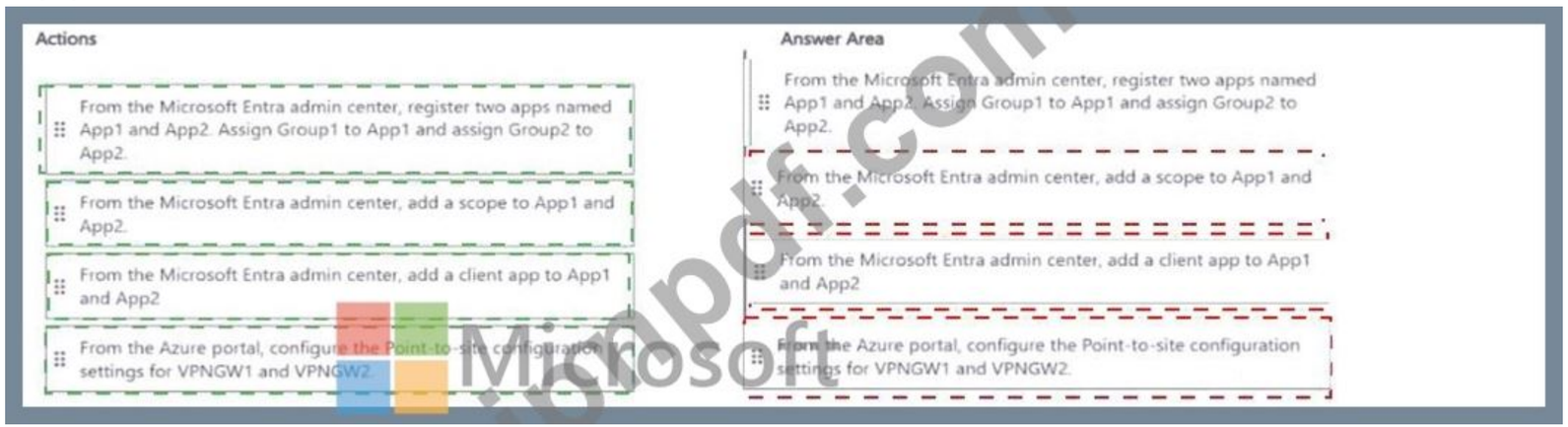
P2S VPN接続には、Microsoft Entra認証を有効にする必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

* グループ1のメンバーのみがVPNGW1へのVPN接続を確立できるようにします。
* グループ2のメンバーのみがVPNGW2へのVPN接続を確立できるようにします。

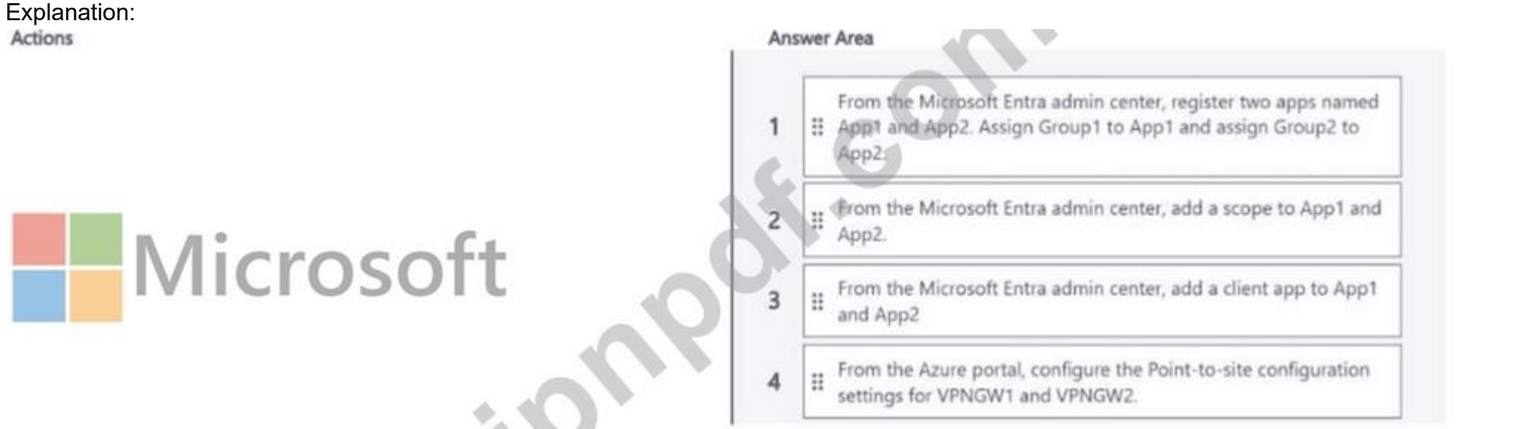
どのような順序で操作を実行すればよいでしょうか？回答するには、操作リストからすべての操作を回答欄に移動し、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: 58

お客様はAzureサブスクリプションをお持ちです。このサブスクリプションには、次の表に示すように、Webサイトをホストする仮想マシンが含まれています。

Name	Public host name	Location
VM1	site1.us.contoso.com	East US
VM2	site1.uk.contoso.com	UK West
VM3	site2.us.contoso.com	East US
VM4	site2.uk.contoso.com	UK West
VM5	site2.japan.contoso.com	Japan West

以下の表に示すAzure Traffic Managerプロファイルが利用可能です。

Name	Routing method	DNS name	Hosted on
Tm1	Performance	site1.contoso.com	VM1 and VM2
Tm2	Priority	site2.contoso.com	VM3, VM4, and VM5

以下の表に示すエンドポイントがあります。

Name	Traffic Manager profile	Azure endpoint	Routing method parameter	Status
Ep1	Tm1	VM1	1	Degraded
Ep2	Tm1	VM2	2	Online
Ep3	Tm2	VM3	1	CheckingEndpoint
Ep4	Tm2	VM4	2	Online
Ep5	Tm2	VM5	3	Online

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：接続選択つにつき1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
A user that requests site1.contoso.com from the East US Azure region will connect to site1.us.contoso.com.	○	○
A user that requests site2.contoso.com from the East US Azure region will connect to site2.uk.contoso.com.	○	○
A user that requests site2.contoso.com from the Japan East Azure region will connect to site2.japan.contoso.com.	○	○

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
A user that requests site1.contoso.com from the East US Azure region will connect to site1.us.contoso.com.	○	○
A user that requests site2.contoso.com from the East US Azure region will connect to site2.uk.contoso.com.	○	○
A user that requests site2.contoso.com from the Japan East Azure region will connect to site2.japan.contoso.com.	○	○

Explanation:

最新問題: **59**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Location
VNet1	Virtual network	East US
storage1	Storage account	East US
storage2	Storage account	East US
storage3	Storage account	East US

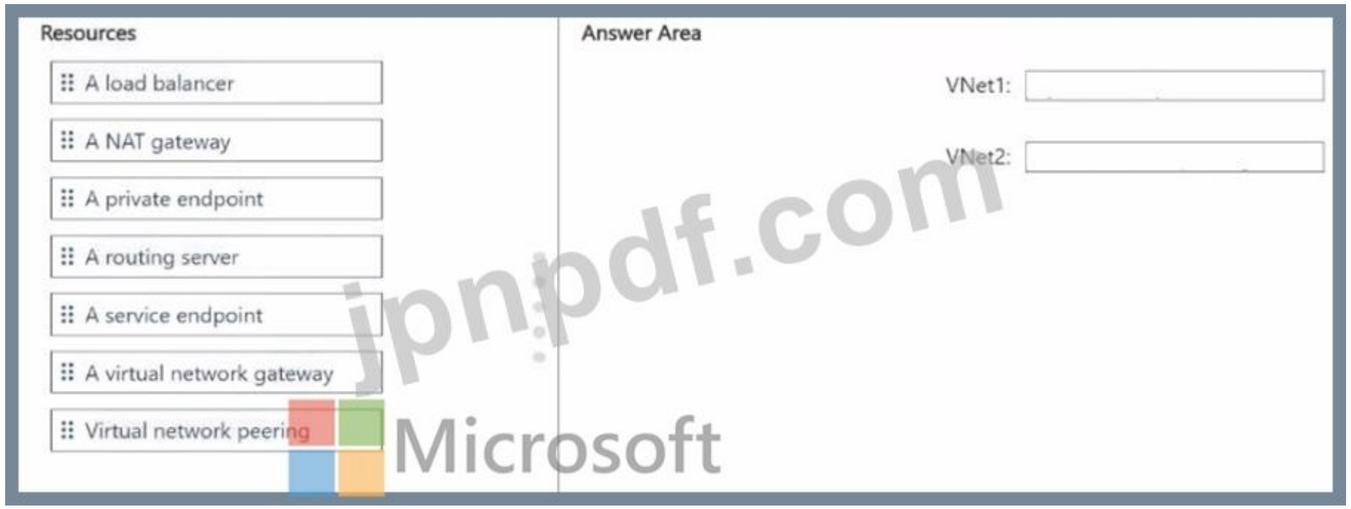
VNet1にはSubnetという名前のサブネットが含まれています。
Subnet1に接続されたリソースがstorage1とstorage3のみにアクセスできるようにする必要があります。また、管理作業を最小限に抑えるソリューションが求められます。
何を設定すればよいですか？
A. アプリケーションセキュリティグループ
B. Azureプライベートリンク
C. サービスエンドポイントポリシー
D. サービスタグ
Answer: C (メーッセージを残す)
サービスエンドポイントポリシーは許可ポリシーであるため、指定されたリソース以外のすべてのリソースは制限されます。
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-network-service-endpoint-policies-overview

最新問題: **60**
Sub1とSub2という名前の2つのAzureサブスクリプションがあり、それぞれに以下の表に示すリソースが含まれています。

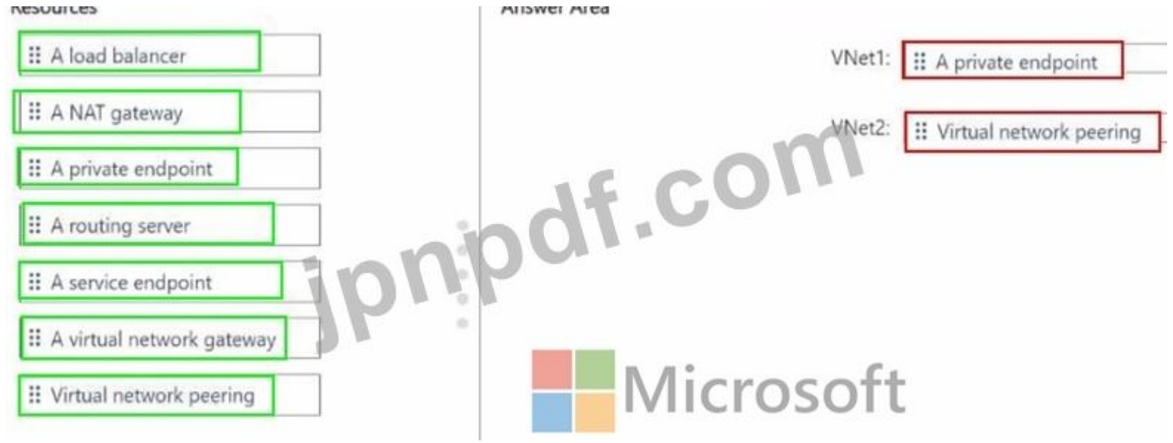
Name	Subscription	Type	Description
VNet1	Sub1	Virtual network	*None*
VM1	Sub1	Virtual machine	Connected to VNet1
VNet2	Sub2	Virtual network	*None*
VM2	Sub2	Virtual machine	Connected to VNet2
VM3	Sub2	Virtual machine	Connected to VNet2
VM4	Sub2	Virtual machine	Connected to VNet2

VNet1とVNet2は接続されていません。
VNet1とVNet2を接続するために使用するLink1という名前のAzureプライベートリンクサービスを作成する予定です。Link1が以下の要件を満たしていることを確認する必要があります。
* VM1がVM2でホストされているWebアプリケーションにのみ接続できるようにします
* VM1 が VNet2 に接続されている他のリソースに接続できないようにします。各仮想ネットワーク用に、どの追加リソースを作成する必要がありますか? 回答するには、適切なリソースを正しい仮想ネットワークにドラッグします。各リソースは、1 回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



最新問題: 61

あなたはAzureサブスクリプションをお持ちです。

オンプレミスサイトは以下の表に示すとおりです。

Name	Number of users	Connection type to Azure
Site1	500	ExpressRoute
Site2	100	Site-to-Site VPN
Site3	1	Point-to-Site (P2S) VPN

Azure Virtual WANをデプロイする予定です。

あなたはVirtual WAN BasicとVirtual WAN Standardを評価しています。

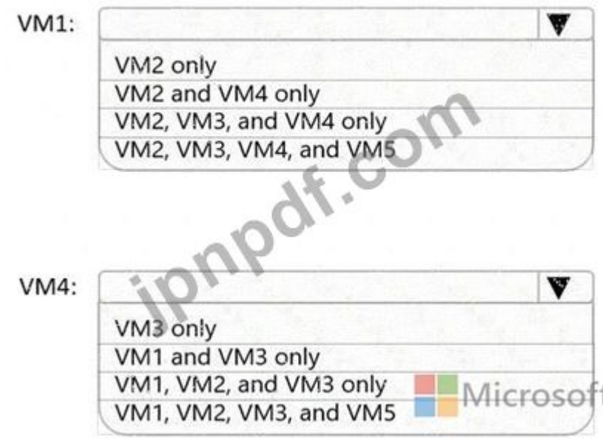
各サイトで使用できる仮想WANの種類はどれですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

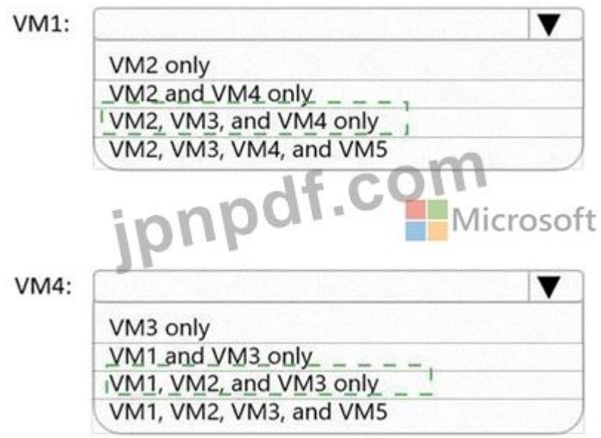
Answer:

参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/virtual-wan-about

最新問題: **62**
VM1とVM4は、どの仮想マシンに正常にpingを実行できますか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

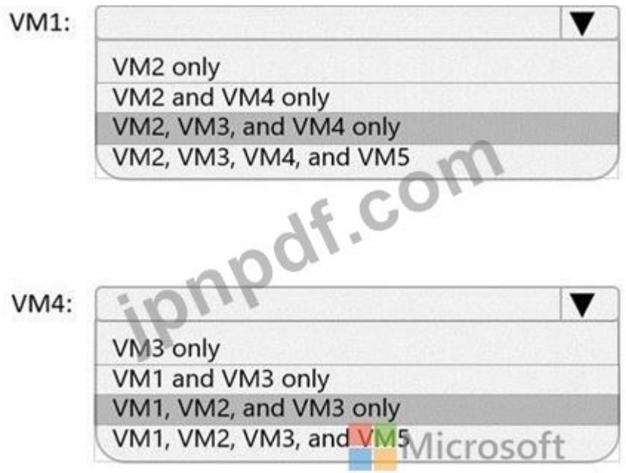


Answer:



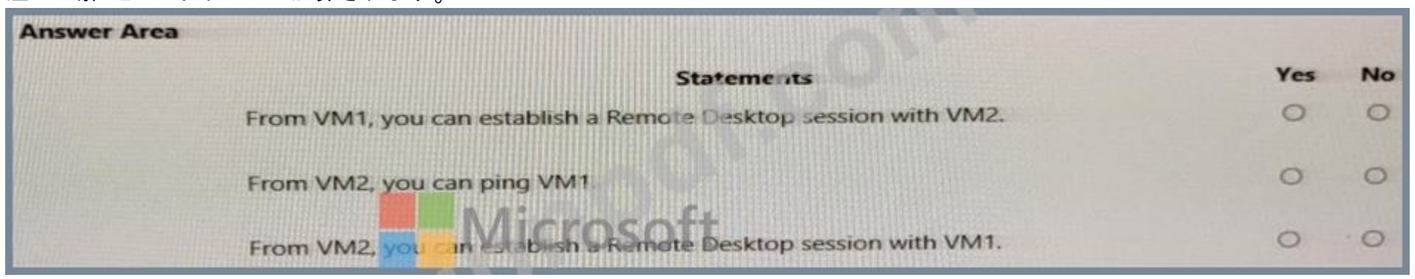
説明

テキスト説明は自動的に生成されました



ボックス1 :VM2、VM3、VM4。
VM1はVNet1/Subnet1に属しています。VNet1はVNet2およびVNet3とピアリングされています。
VNet1からの送信ICMPをブロックするNSGはありません。VNet1/Subnet2、VNet2、VNet3への受信ICMPをブロックするNSGもありません。したがって、VM1はVNet1/Subnet2のVM2、VNet2のVM3、VNet3のVM4にpingを実行できます。
ボックス2 :
VM4はVNet3に属しています。VNet3はVNet1およびVNet2とピアリングされています。VNet3からのアウトバウンドICMPをブロックするNSGはありません。VNet3からVNet1/Subnet1、VNet1/Subnet2、またはVNet2へのインバウンドICMPをブロックするNSGもありません（NSG10はVNet4からのインバウンドICMPをブロックしますが、VNet3からのインバウンドICMPはブロックしません）。したがって、VM4はVNet1/Subnet1のVM1、VNet1/Subnet2のVM2、およびVNet2のVM3にpingを実行できます。

最新問題: **63**
ネットワークセキュリティ要件を満たすために、NSG10とNSG11を作成します。
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:

説明

グラフィカルユーザーインターフェース、テキスト、アプリケーション、電子メールの説明は自動的に生成されます

Statements	Yes	No
From VM1, you can establish a Remote Desktop session with VM2	○	○
From VM2, you can ping VM1	○	○
From VM2, you can establish a Remote Desktop session with VM1	○	○

ボックス1 :いいえ

VM1のサブネットに接続されているNSG10は、RDP（TCPポート3389）を「Any」宛てにブロックします。これは、そのポートがすべての宛先に対してブロックされることを意味します。

ボックス2 :はい

NSG10はVNet4（送信元10.0.0.0/16）からのICMPをブロックしますが、VM2のサブネット（VNet1/Subnet2）からのICMPはブロックしません。

ボックス3 :いいえ

NSG11は、「VirtualNetwork」宛てのRDP（TCPポート3389）をブロックします。VirtualNetworkはサービスタグであり、仮想ネットワーク（VNet1）のアドレス空間を意味します。この場合、アドレス空間は10.1.0.0/16です。したがって、subnet2からVNet1内の他の場所へのRDPトラフィックはブロックされます。

最新問題: **64**

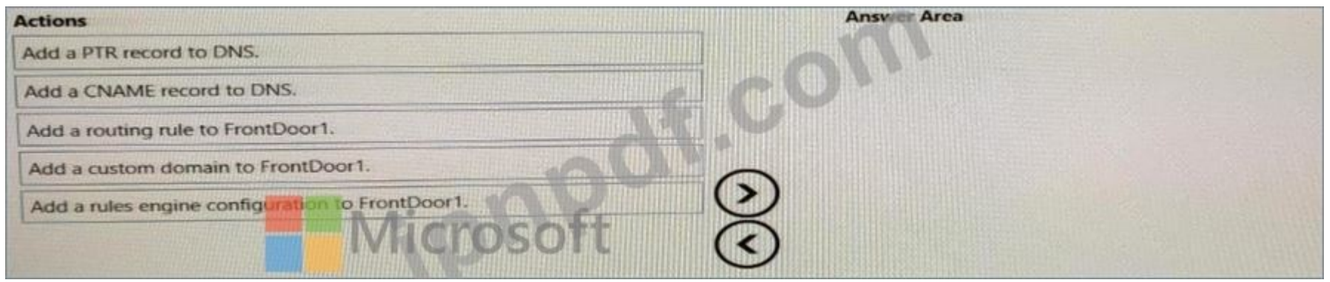
FrontDoor1という名前のAzure Front Doorインスタンスがあります。

Azure Webアプリのインスタンスを2つ、異なるAzureリージョンにデプロイします。

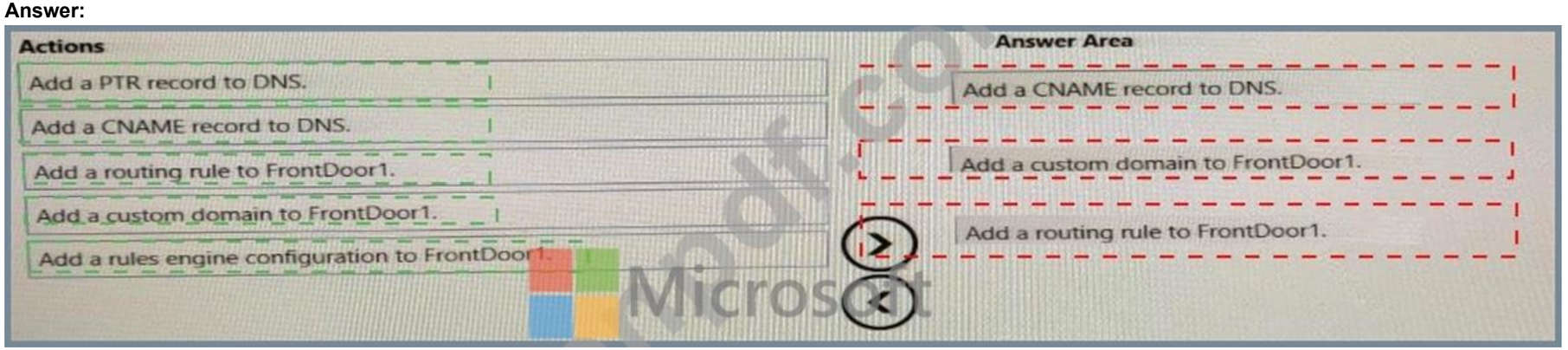
あなたは、app1.contoso.comという名前を使用して、FrontDoor1経由でウェブアプリへのアクセスを提供する予定です。

app1.contoso.comを使用するリクエストのエントリポイントがFrontDoor1であることを確認する必要があります。

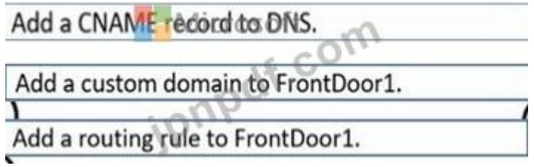
どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: **65**

貴社には、192.168.0.0/20のIPアドレス空間を使用するVnet1という名前のAzure仮想ネットワークがあります。

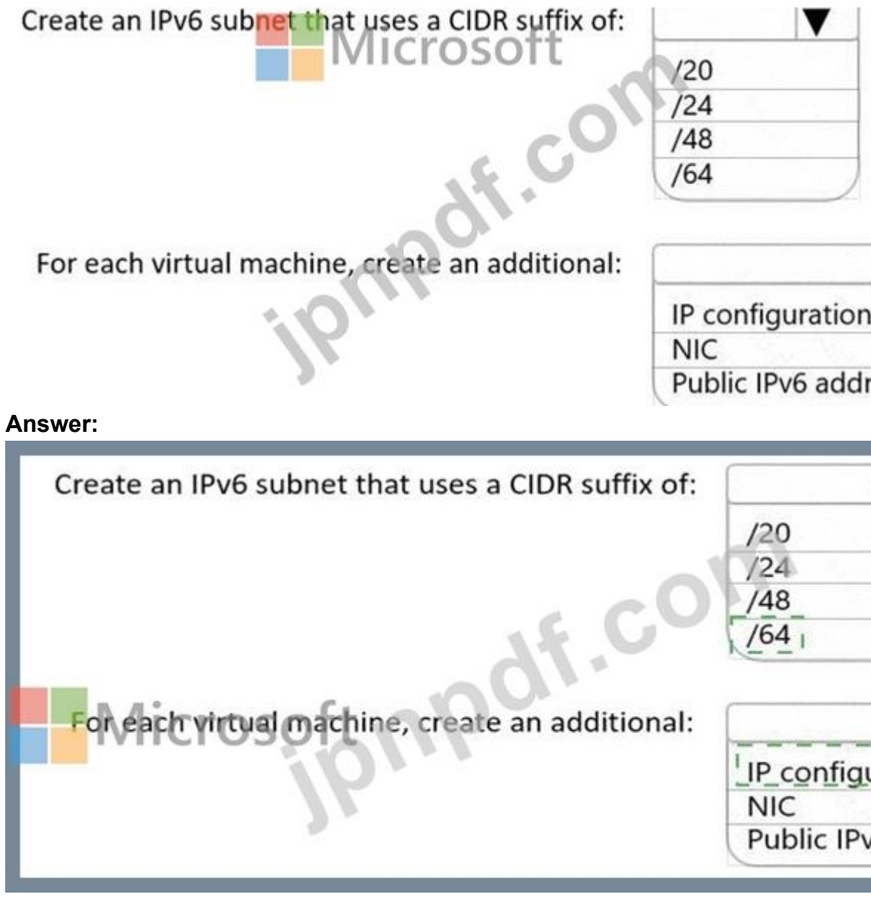
Vnet1には、192.168.0.0/24のIPアドレス空間を使用するSubnet1という名前のサブネットが含まれています。

Vnet1 に対して、CIDR サフィックス /48 を使用して IPv6 アドレス範囲を作成します。

サブネット1上の仮想マシンが、会社から割り当てられたIPv6アドレスを使用して相互に通信できるようにする必要があります。このソリューションでは、追加のIPv4アドレスの数を最小限に抑える必要があります。

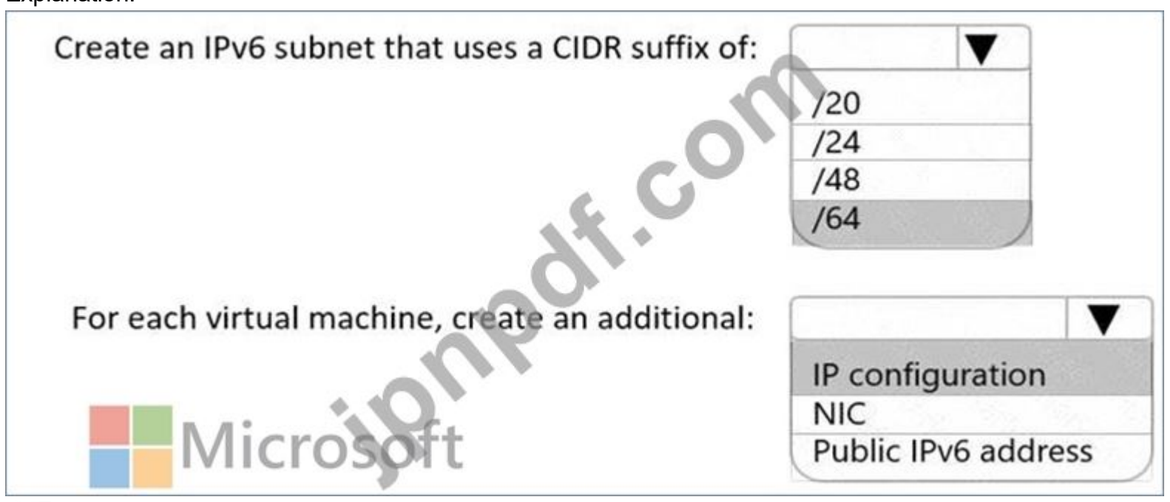
どうすればよいですか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:

Explanation:



参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/ipv6-overview
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/ipv6-add-to-existing-vnet-powershell
1) 正解: /64
Explanation:IPv6のサブネットは、サイズが正確に/64である必要があります。これは、将来的にサブネットをオンプレミスネットワークにルーティングするようにした場合の互換性を確保するためです。一部のルーターは/64のIPv6ルートしか受け付けないためです。
出典: https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/ip-services/ipv6-overview
2) 正解: パブリック IPv6 アドレス
説明: NIC に IPv6 構成を追加します。「Add-AzNetworkInterfaceIpConfig を使用して、すべての VM NIC に IPv6 アドレスを設定します」出典: https://docs.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/ipv6-add-to-existing-vnet-powershell

最新問題**: 66**
お客様のオンプレミスネットワークは、10.0.0.0/20のIPアドレス空間を使用しています。
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
RT1	Route table	*None*
HubVNet	Virtual network	Uses an IP address space of 172.16.0.0/20 Peered to SpokeVNet
SpokeVNet	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.0.0/20

オンプレミスネットワークは、サイト間VPN（S2S VPN）を使用してHubVnetに接続されています。
HubVNetにAZFW1という名前のAzureファイアウォールをデプロイします。
AZFW1がオンプレミスネットワークとSpokeVNet間のすべてのトラフィックを検査できることを確認する必要があります。
RT1では何をすべきでしょうか？答えるには、適切な目的地を正しいルートにドラッグしてください。各リソースは、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

Explanation:

最新問題: 67

FrontDoor1という名前のAzure Front Doorインスタンスがあります。

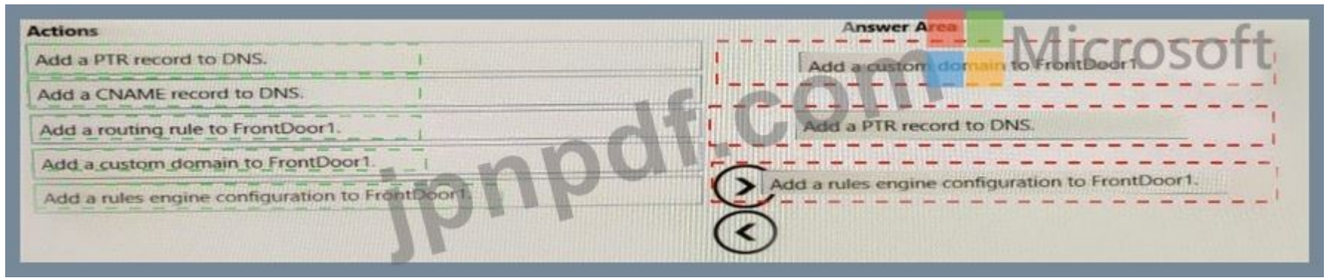
Azure Webアプリのインスタンスを2つ、異なるAzureリージョンにデプロイします。

あなたは、app1.contoso.comという名前を使用して、FrontDoor1経由でウェブアプリへのアクセスを提供する予定です。

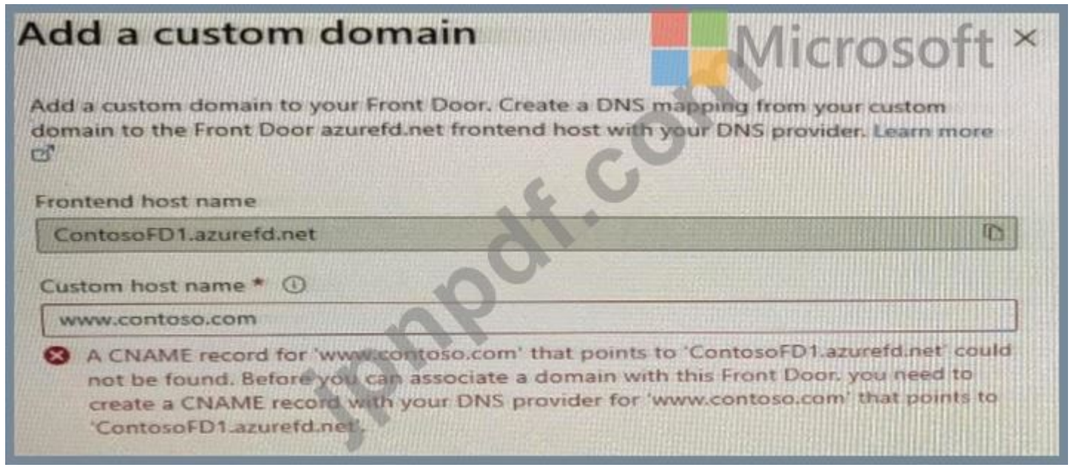
app1.contoso.comを使用するリクエストのエントリポイントがFrontDoor1であることを確認する必要があります。

どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。

Answer:



最新問題**: 68**
www.contoso.com という FQDN を使用する Web サイトがあります。www.contoso.com の DNS レコードは、オンプレミスの Web サーバーに解決されます。
WebサイトをWeb1という名前のAzure Webアプリに移行する予定です。Web1上のWebサイトは、ContosoFD1という名前のAzure Front Doorインスタンスを使用して公開されます。
Web1上でウェブサイトを構築します。
あなたは、テストのためにウェブサイトを公開するようにContosoFD1を設定する予定です。
ContosoFD1 上で www.contoso.com のカスタムドメインを設定しようとすると、図に示すエラーメッセージが表示されます。



オンプレミスのウェブサーバーへのユーザーアクセスに影響を与えることなく、ウェブサイトとContosoFD1をテストする必要があります。
contoso.comのDNSドメインには、どのレコードを作成すべきですか？
A. www.contoso.comをContosoFD1.azurefd.netにマッピングするCNAMEレコード
B. www.contoso.comをWeb1.contoso.comにマッピングするCNAMEレコード
C. afdverify.www.contoso.com を ContosoFD1.azurefd.net にマッピングする CNAME レコード
D. afdverify.www.contoso.com を afdverify.ContosoFD1.azurefd.net にマッピングする CNAME レコード
Answer: D (メーッセージを残す**)**
参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/frontdoor/front-door-custom-domain#map-the-temporary-afdverify-subdo

最新問題**: 69**
Azure サブスクリプションには、VM1 という名前の仮想マシンと、NSG1 という名前のネットワーク セキュリティ グループ (NSG) が含まれています。NSG1 には既定のルールが構成されています。VM1 は Windows Server 2022 を実行しており、NIC1 という名前の 1 つの NIC が含まれています。NIC1 は NSG1 に関連付けられています。

VM1 上で Azure インスタンスメタデータサービス (IMDS) REST API へのアクセスを防止する必要があります。
解決策は、管理上の負担を最小限に抑えるものでなければならない。
NSG1には何を追加すべきですか？
A. IPアドレスへのトラフィックをブロックする送信ルール。
B. IPアドレスへのトラフィックをブロックする受信ルール。
C. アプリケーションセキュリティグループへのトラフィックをブロックする受信および送信ルール。
D. サービス タグへのトラフィックをブロックする送信ルール。
Answer: D (メーッセージを残す**)**
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/instance-metadata-service?tabs=windows

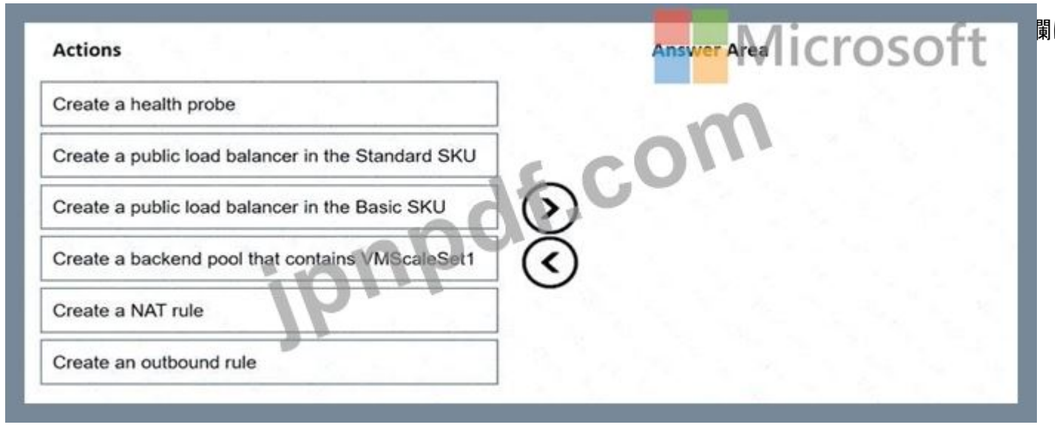
最新問題**: 70**
タスク3
あなたは、米国東部Azureリージョンに Azureアプリケーションゲートウェイを実装する予定です。このアプリケーションゲートウェイでは、Webアプリケーションファイアウォール（WAF）が有効になります。
計画中のアプリケーションゲートウェイにリンクできるポリシーを作成する必要があります。このポリシーは、131.107.150.0/24 の範囲の IP アドレスからの接続をブロックする必要があります。このタスクを完了するために、アプリケーションゲートウェイをプロビジョニングする必要はありません。
Answer:
詳しい手順については、下記の解説をご覧ください。
説明
以下に、計画中のアプリケーションゲートウェイにリンクし、131.107.150.0/24 の範囲の IP アドレスからの接続をブロックするポリシーを作成するための手順と説明を示します。
ポリシーを作成するには、Azure ポータルにアクセスし、[リソースの作成] を選択します。WAF を検索し、[Web アプリケーション ファイアウォール] を選択して、[作成 1] を選択します。
「WAFポリシーの作成」ページの「基本」タブで、以下の情報を入力または選択し、残りの設定についてはデフォルト値を受け入れます。
対象ポリシー：地域（WAF「アプリケーションゲートウェイ）
購読：購読名を選択してください
リソースグループ :リソースグループを選択してください
ポリシー名: WAF ポリシーの一意の名前を入力してください
「カスタムルール」タブで、「ルールの追加」を選択して、131.107.150.0/24 の範囲の IP アドレスからの接続をブロックするカスタムルールを作成します。カスタムルールに以下の情報を入力または選択します。
ルール名 :カスタムルールの固有の名前を入力してください
優先度: このルールの評価順序を示す数値を入力します。ルールタイプ: マッチルールを選択します。マッチ変数: RemoteAddrを選択します。オペレーター: IPMatchを選択します。マッチ値: 131.107.150.0/24と入力します。
アクション: ブロックを選択します。[レビュー + 作成] タブで設定を確認し、[作成]を選択して WAF ポリシーを作成します 1。
ポリシーを計画済みのアプリケーション ゲートウェイにリンクするには、Azure ポータルのアプリケーション ゲートウェイ サービスに移動して、アプリケーション ゲートウェイを選択する必要があります。
Webアプリケーションファイアウォールタブで、ドロップダウンリストからWAFポリシーを選択し、「保存」を選択します。

最新問題**: 71**
Azure仮想ネットワーク内のサブネットのIPアドレス割り当てを計画しています。
どのタイプのリソースがサブネット内のIPアドレスを必要としますか？
A. 内部ロードバランサー
B. サービスエンドポイント
C. サービスエンドポイントポリシー
D. ストレージアカウント
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **72**
Azure サブスクリプションをお持ちです
Azure Virtual WANを使用する予定です。
以下の要件を満たす仮想WANハブをデプロイする必要があります。
* 4Gbpsのサイト間 $2S)VPNトラフィックをサポート
* 8GbpsのExpressRouteトラフィックをサポート
コストを最小限に抑える
いくつのスケールユニットを設定すればよいですか？回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

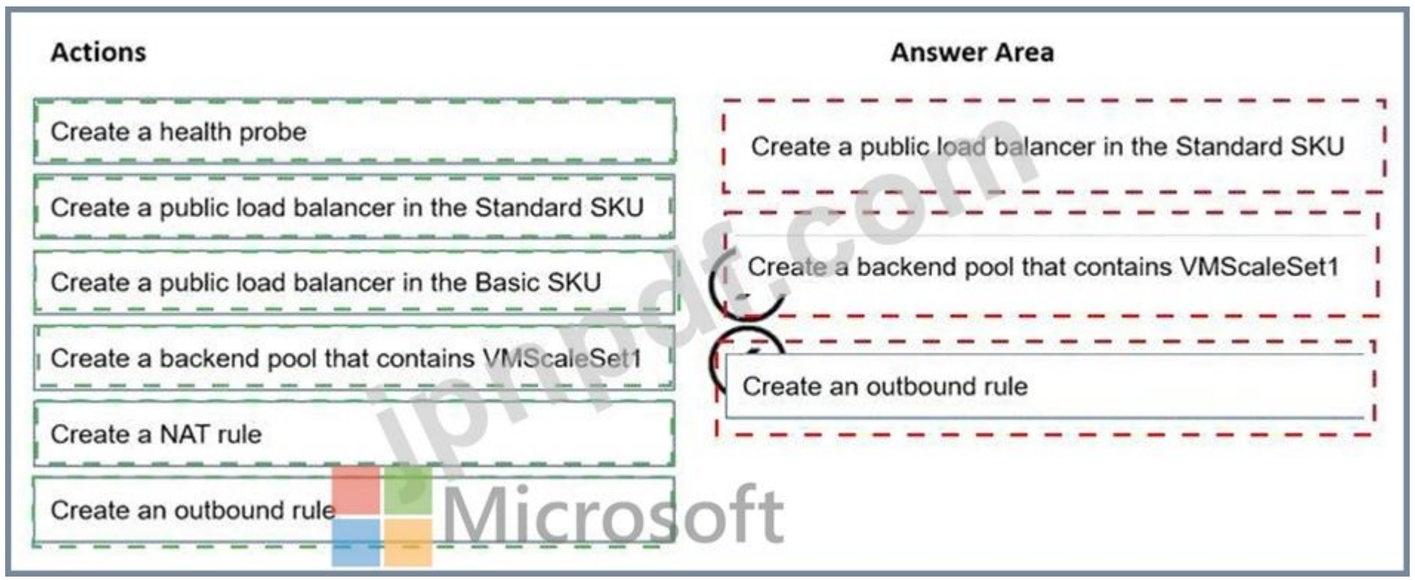
Answer:

最新問題: **73**
VMScaleSet1のアウトバウンド接続を実装する必要があります。ソリューションは、仮想ネットワーク要件とビジネス要件の両方を満たす必要があります。

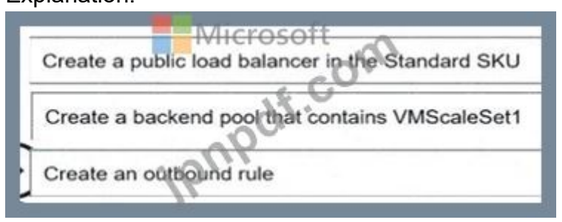


闌に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。

Answer:



Explanation:



参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/skus

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/load-balancer-outbound-connections#outboundrules

最新問題: 74

Azure サブスクリプションには、VNet1 という名前の仮想ネットワークが含まれています。VNet1 には、Subnet1 という名前のサブネットが含まれています。
AppGw1 という名前の Azure Application Gateway v2 インスタンスを Subnet1 にデプロイします。NSG1 という名前のネットワークセキュリティグループ (NSG) を作成し、NSG1 を Subnet1 にリンクします。
AppGw1がVNet1から発信されるトラフィックのみをロードバランシングするようにする必要があります。このソリューションは、AppGw1の機能への影響を最小限に抑えるものでなければなりません。
NSG1には何を追加すべきですか？
A. 優先度4096の受信ルールで、すべてのインターネットトラフィックをブロックします。
B. 優先度100で全てのインターネットトラフィックをブロックする送信ルール
C. 優先度4096の送信ルールで、すべてのインターネットトラフィックをブロックします。
D. 優先度100で全てのインターネットトラフィックをブロックする受信ルール
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 75**
事例研究2 - コントソ社
概要
Contoso, Ltd.は、サンフランシスコに本社、ダラスに支店を持つコンサルティング会社です。
Contosoは最近Azureのサブスクリプションを購入し、Azure上で最初のパイロットプロジェクトを実施している。
既存環境：
Azure Network Infrastructure
Contosoは、contoso.comという名前のAzure Active Directory（Azure AD）テナントを所有しています。このAzureサブスクリプションには、次の表に示す仮想ネットワークが含まれています。

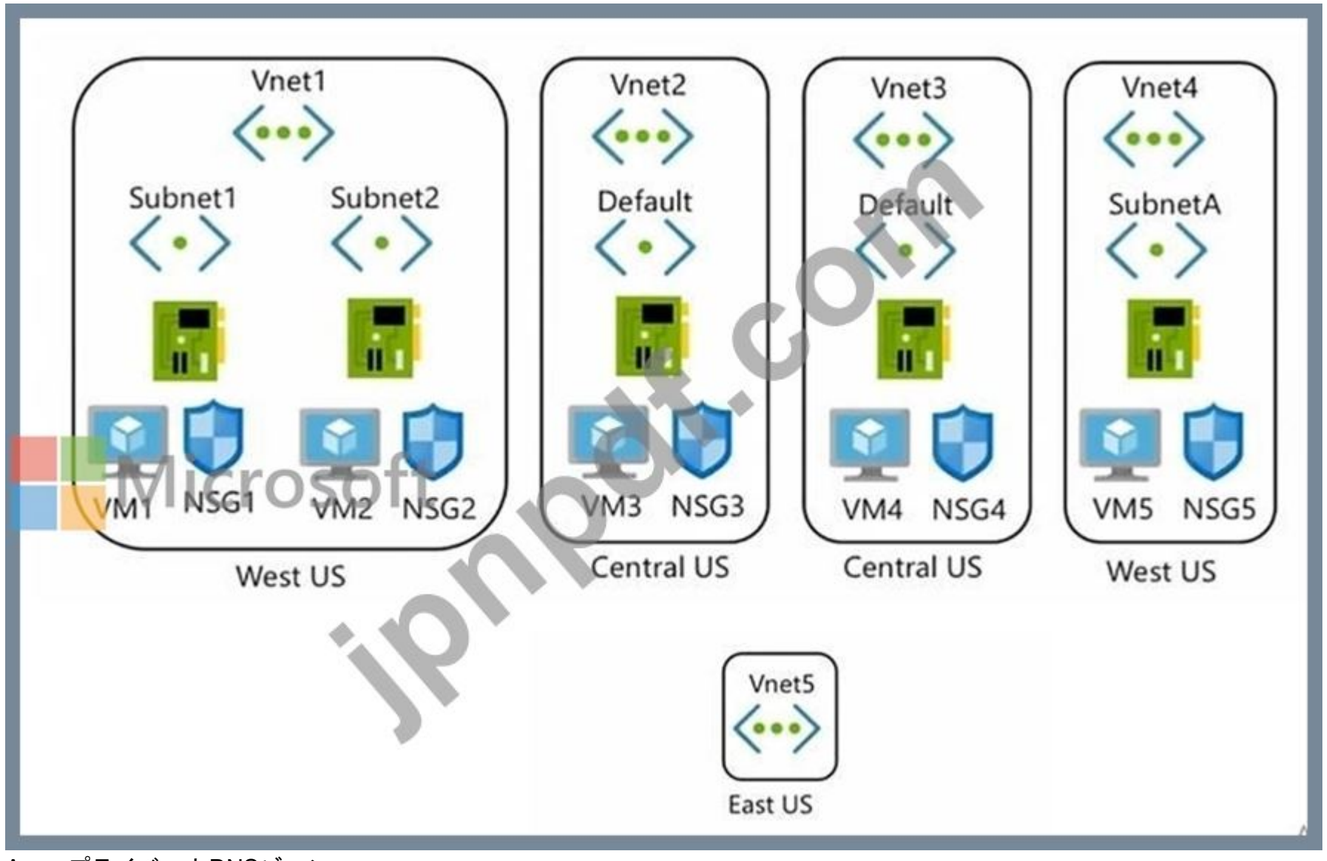
Name	Resource group	IP address space	Location	Peered with
Vnet1	RG1	10.1.0.0/16	West US	Vnet2, Vnet3
Vnet2	RG1	172.16.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet3, Vnet4
Vnet3	RG2	192.168.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet2
Vnet4	RG2	10.10.0.0/16	West US	Vnet2
Vnet5	RG3	10.20.0.0/16	East US	**None**

Vnet1には、GW1という名前の仮想ネットワークゲートウェイが含まれています。
Azure仮想マシン
Azure サブスクリプションには、次の表に示すように、Windows Server 2019 を実行する仮想マシンが含まれています。

Name	Location	Connected to	Network security group (NSG)
VM1	West US	Vnet1/Subnet1	NSG1
VM2	West US	Vnet1/Subnet2	NSG2
VM3	Central US	Vnet2/Default	NSG3
VM4	Central US	Vnet3/Default	NSG4
VM5	West US	Vnet4/SubnetA	NSG5

NSGは仮想マシンのネットワークインターフェースに関連付けられています。各NSGには、インターネットからのRDP接続を許可するカスタムセキュリティルールが1つずつ設定されています。各仮想マシンのファイア

ウォールはICMPトラフィックを許可します。
ASG1という名前のアプリケーションセキュリティグループが、VM1のネットワークインターフェースに関連付けられています。
Azureネットワークインフラストラクチャ図



AzureプライベートDNSゾーン
Azure サブスクリプションには、次の表に示す Azure プライベート DNS ゾーンが含まれています。

Name	Location
zone1.contoso.com	Central US
zone2.contoso.com	West US

Zone1.contoso.comには、以下の表に示す仮想ネットワークリンクがあります。

Name	Virtual Network	Auto registration
Link1	Vnet2	No
Link2	Vnet3	Yes

その他のAzureリソース
Azure サブスクリプションには、次の表に示すような追加リソースが含まれています。

Name	Type	Location
DB1	Azure SQL Database	West US
storage1	Azure Storage account	West US
Registry1	Azure Container Registry	Central US
KeyVault1	Azure Key Vault	Central US

要件：
仮想ネットワークの要件
Contosoには、以下の仮想ネットワーク要件があります。
- 米国西部に、以下のリソースと構成を含むVnet6という名前の仮想ネットワークを作成します。
Vnet6に接続する2つのコンテナグループ
Vnet6に接続する3台の仮想マシン
VPN接続をVnet6に確立できるようにする
Vnet6 のリソースが KeyVault1、DB1、および Vnet1 にアクセスできるようにします。
マイクロソフトのバックボーンネットワーク
- Vnet4とVnet5内の仮想マシンは通信できる必要がある
マイクロソフトの基幹ネットワーク経由で。
- VM-Analyze という名前の仮想マシンが Subnet1 にデプロイされます。VM-
分析では、サブネット2から
インターネット。
ネットワークセキュリティ要件
Contosoには以下のネットワークセキュリティ要件があります。
- ポイントツーサイト (P2S) VPN ユーザー向けに Azure Active Directory (Azure AD) 認証を構成します。
- NSG3およびNSG4のNSGフローログを有効にする。
- Vnet1/Subnet1 に関連付けられる NSG10 という名前の NSG を作成します。
そして、以下に示すカスタム受信セキュリティルールが適用されます。
テーブル。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
500	3389	TCP	10.1.0.0/16	Any	Deny
1000	Any	ICMP	10.10.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

- Vnet1/Subnet2 に関連付けられる NSG11 という名前の NSG を作成します。
また、以下の表に示すようなカスタム送信セキュリティルールが適用されます。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
200	3389	TCP	10.1.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

ホットスポットに関する質問
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Currently, VM5 can resolve names in zone2.contoso.com.	○	○
VM4 has an automatic registration in zone1.contoso.com.	○	○
You can link zone2.contoso.com to Vnet3 and enable auto registration.	○	○

Answer:

Answer Area

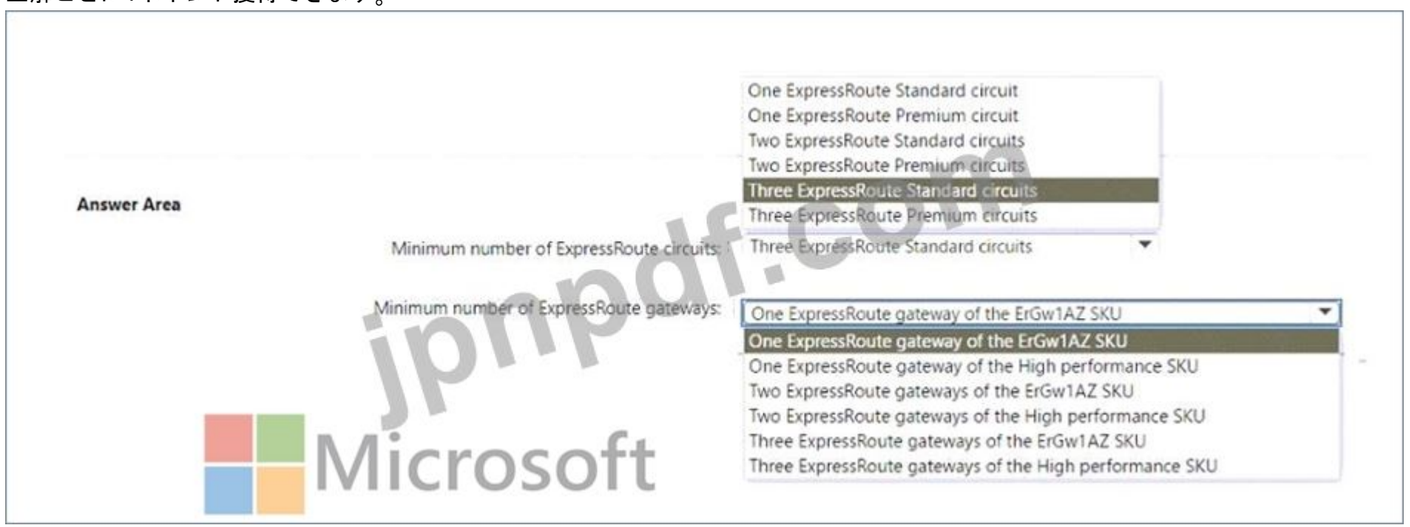
Statements	Yes	No
Currently, VM5 can resolve names in zone2.contoso.com.	○	●
VM4 has an automatic registration in zone1.contoso.com.	●	○
You can link zone2.contoso.com to Vnet3 and enable auto registration.	○	●

Explanation:
ボックス1 :いいえ
Zone2.contoso.com はどの仮想ネットワークにもリンクされていません。そのため、どの仮想マシンもこのゾーン内の名前解決を行うことができません。
ボックス2 :はい
VM4はVNet3に属しています。Zone1.contoso.comにはVNet3へのリンクがあり、そのリンク上で自動登録が有効になっています。
ボックス3 :いいえ
VNet3はzone1.contoso.comにリンクされており、そのリンク上で自動登録が有効になっています。仮想ネットワークには登録ゾーンを1つしか設定できません。zone2.contoso.comをVNet3にリンクすることはできますが、そのリンク上で自動登録を有効にすることはできません。

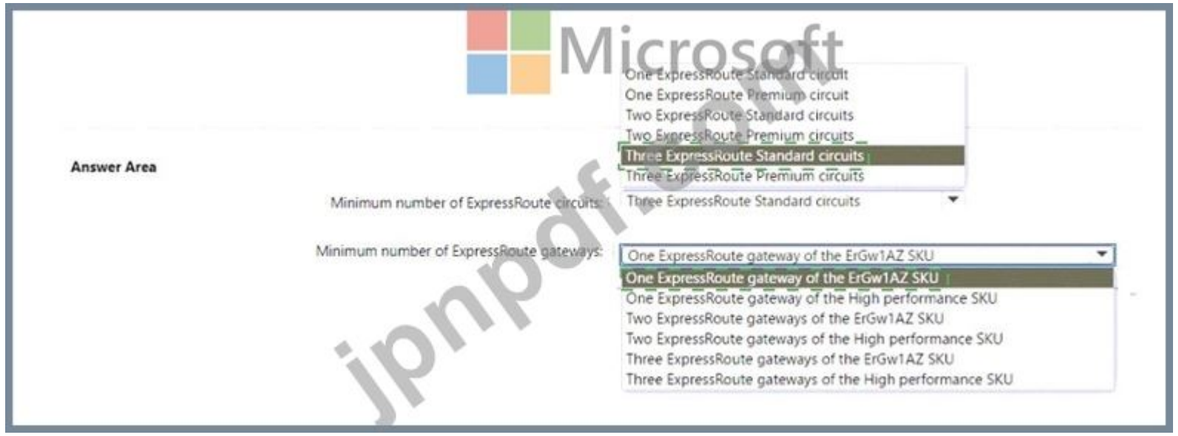
最新問題: **76**
お客様はオンプレミスのデータセンターをお持ちです。
お客様は、米国東部Azureリージョンに、10台の仮想マシンとVNet1という名前の仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションを所有しています。これらの仮想マシンはVNet1に接続され、3つの可用性ゾーン間でレプリケーションされます。
ExpressRouteを使用してデータセンターをVNetl1に接続する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

* 2つの可用性ゾーンが故障した場合でも、仮想マシンへの接続を維持する。
* 1000Mbps接続に対応

解答には何を含めるべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。注：
正解ごとに1ポイント獲得できます。



Answer:



説明

最新問題: **77**
Vnet2とVnet3でデフォルトルートを設定する必要があります。このソリューションは仮想ネットワークの要件を満たさなければなりません。
デフォルトルートを設定するには何を使用すればよいですか？
A. ルートフィルタ
B. BGPルート交換
C. Vnet1のGatewaySubnetに割り当てられたユーザー定義ルート
D. Vnet2およびVnet3のGatewaySubnetに割り当てられたユーザー定義ルート
Answer: (解答を表示する**)**
参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-networks-udr-overview
トピック1 -Litware社事例研究1
概要
Litware. Inc.は、ボストンに主要データセンターを持ち、全米に20の支店を展開する金融会社です。ユーザーはAndroid、iOS、Windows 10搭載デバイスを使用しています。
既存環境：
ハイブリッド環境
オンプレミスネットワークには、litwareinc.com という名前の Active Directory フォレストがあり、Azure AD Connect を使用して litwareinc.com という名前の Azure Active Directory (Azure AD) テナントと同期します。
すべてのオフィスは、サイト間VPN接続を使用して、Vnetlという仮想ネットワークに接続します。
Azure環境
Litwareは、litwareinc.comのAzure ADテナントにリンクされたSub1という名前のAzureサブスクリプションを所有しています。Sub1には、次の表に示すように、米国東部Azureリージョン内のリソースが含まれています。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.0.0/20
GatewaySubnet	Virtual network subnet	Located in Vnet1 and uses an IP address space of 192.168.15.128/29
VPNGW1	VPN gateway	Deployed to Vnet1
Vnet2	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.16.0/20
SubnetA	Virtual network subnet	Located in Vnet2 and uses an IP address space of 192.168.16.0/24
Vnet3	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.32.0/20
cloud.litwareinc.com	Private DNS zone	**None**
VMScaleSet1	Virtual machine scale set	Contains four virtual machines deployed to SubnetA
VMScaleSet2	Virtual machine scale set	Contains two virtual machines deployed to SubnetA
storage1	Storage account	Has the public endpoint blocked
storage2	Storage account	Has the public endpoint blocked

要件
ビジネス要件
Vnet1とVnet2の間には双方向ピアリングが確立されています。Vnet1とVnet3の間にも双方向ピアリングが確立されています。現在、Vnet2とVnet3は直接通信できません。
Litwareは、他のすべての要件が満たされている限り、可能な限りコストを最小限に抑えたいと考えています。

仮想ネットワークの要件
Litwareは、以下の仮想ネットワーク要件を特定しています。
* Vnet2 および Vnet3 上の 0.0.0.0/0 のデフォルトルートを ExpressRoute 回線経由でボストンのデータセンターにルーティングします。
* cloud.litwareinc.com ゾーン内のレコードがオンプレミスの場所から解決できることを確認してください。
* Azure仮想マシンのDNS名をcloud.litwareinc.comゾーンに自動的に登録します。
プラットフォーム管理サービスに割り当てられるサブネットのサイズを最小限に抑える。
* VMScaleSet1からVMScaleSet2へのトラフィックは、TCPポート443のみで許可します。
ハイブリッドネットワークの要件
Litwareは、以下のハイブリッドネットワーク要件を特定しています。
* リモートワークを行う際は、ユーザーはポイントツーサイト（P2S）VPNを使用してVnet1に接続できる必要があります。
接続はAzure ADによって認証される必要があります。
ボストンのデータセンターとすべての仮想ネットワーク間のトラフィックの遅延を最小限に抑える必要がある。
* ボストンのデータセンターは、ExpressRoute FastPath接続を使用してAzure仮想ネットワークに接続する必要があります。
* Vnet2とVnet3間のトラフィックは、Vnet1を経由してルーティングされなければなりません。
PaaSネットワーク要件
Litwareは、プラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）に必要なネットワーク要件として、以下の項目を挙げています。
* storage1アカウントは、storage1のパブリックエンドポイントを公開することなく、オンプレミスのすべての場所からアクセスできる必要があります。
* storage2アカウントは、storage2のパブリックエンドポイントを公開することなく、Vnet2およびVnet3からアクセス可能である必要があります。

最新問題: **78**
ASG1はどのNSGで使用できますか？また、ASG1はどの仮想マシンのネットワークインターフェイスに関連付けることができますか？
回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

最新問題: **79**

図に示されているAzure環境が利用可能です。

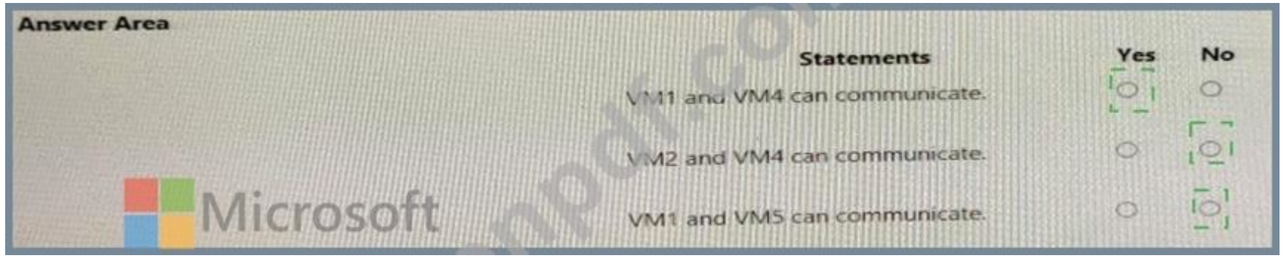
Vnet1とVnet2の間、およびVnet4とVnet5の間には、仮想ネットワークピアリングが設定されています。仮想ネットワークピアリングの設定は、以下の表に示すとおりです。

Virtual network	Traffic to remote virtual network	Use remote gateway	Allow gateway transit
Vnet1	Allow	**None**	Enabled
Vnet2	Allow	Enabled	**None**
Vnet4	Allow	**None**	Enabled
Vnet5	Block	Enabled	**None**

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

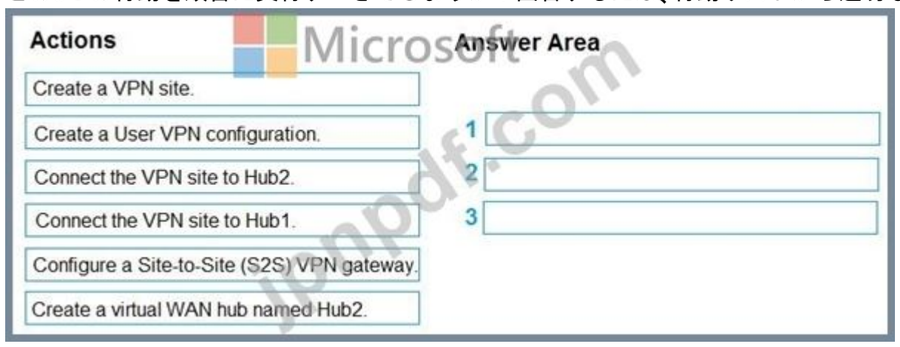
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

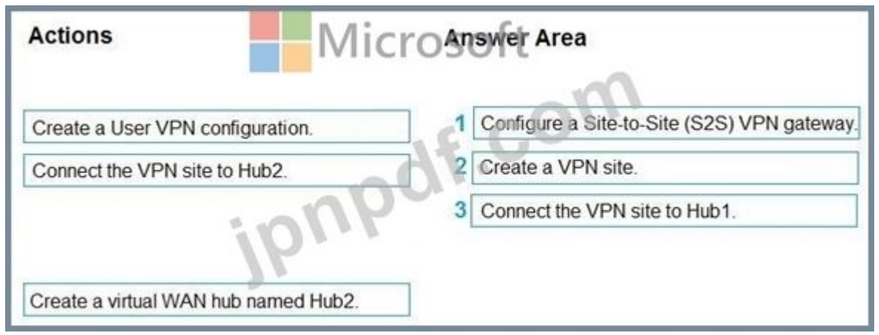
Answer:



最新問題: **80**
お客様は、contoso.onmicrosoft.com という名前の Azure AD テナントにリンクされた Azure サブスクリプションをお持ちです。このサブスクリプションには、次のリソースが含まれています。
* Vnet1という名前の仮想ネットワーク
* ASPIという名前のApp Serviceプラン
* webapp1という名前のAzure App Service
* private.contoso.com という名前の Azure プライベート DNS ゾーン
* 仮想ネットワーク外と通信できない Vnet1 上の仮想マシン Vnet1 上の仮想マシンが https:/Avwwprivate.contosocom の URL を使用して webapp1 にアクセスできることを確認する必要があります。
どの2つの行動をとるべきでしょうか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
A. wwwprivatemntoso.com を webapp1.contoso.onmicrosoft.com にマッピングする CNAME レコードを作成します。
B. Webapp1 のエンタープライズ アプリケーションを Azure AD に登録します。
C. webapp1 のサービスエンドポイントを作成します。
D. webapp1 用のプライベートエンドポイントを作成します。
E. wow.private.contoso.com を webapp 1 private@ntoso.com にマッピングする CNAME レコードを作成します。
F. www.pnvate.contoso.com を webapp1.privatelink.azurewebsites.net にマッピングする CNAME レコードを作成します。
Answer: A,D (メーッセージを残す)

最新問題: **81**
ドラッグアンドドロップ問題
オンプレミスネットワークをお持ちです。
お客様は、VNet1 という名前の仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。VNet1 は、Hub1 という名前の Azure Virtual WAN ハブに接続されています。
Hub1を使用して、オンプレミスネットワークとVNet1間の接続を有効にする必要があります。
どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。





Explanation:
仮想WANを作成する
仮想ハブの基本設定を構成する
サイト間VPNゲートウェイの設定を構成する
サイトを作成する
サイトを仮想ハブに接続する
VPNサイトを仮想ハブに接続する
VNetを仮想ハブに接続する
設定ファイルをダウンロードする
VPNゲートウェイを表示または編集する
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/virtual-wan-site-to-site-portal

最新問題: **82**
Azure Traffic Manager の親プロファイルとして TM1 があります。TM1 には、TM2 と TM3 という 2 つの子プロファイルがあります。
TM1はパフォーマンストラフィックルーティング方式を使用しており、エンドポイントは次の表に示すとおりです。

Name	Location
App1	North Europe
App2	East US
App3	Central US
TM2	West Europe
TM3	West US

TM2は、MinChildEndpoint = 2の重み付きトラフィックルーティング方式を使用しており、エンドポイントは次の表に示されています。

Name	Location	Weight
App4	West Europe	99
App5	West Europe	1

TM3は優先度トラフィックルーティング方式を採用しており、エンドポイントは以下の表に示すとおりです。

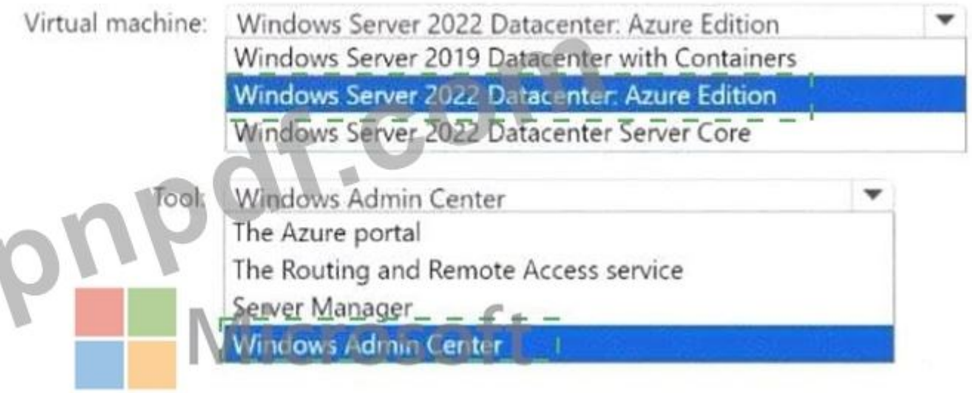
Name	Location
App6	West US
App2	East US

App2、App4、およびApp6のエンドポイントは、監視状態が低下しています。
トラフィックはどのエンドポイントに送信されますか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:
参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/traffic-manager/traffic-manager-nested-profiles

最新問題**: 83**
オンプレミスネットワークと、VNet1という名前のAzure仮想ネットワークがあります。
Azure Extended Networkを実装する必要があります。ソリューションはコストを最小限に抑えるものでなければなりません。
VNet1 にデプロイする仮想マシンの種類と、Azure Extended Network の構成に使用するツールはどれですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:
Answer Area

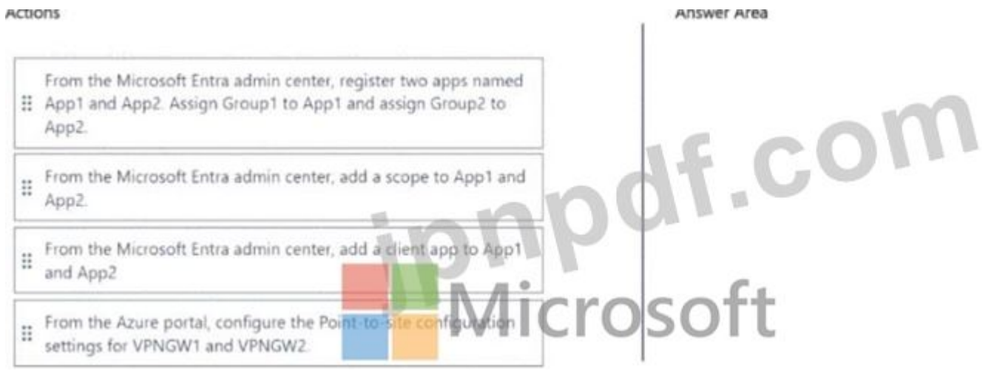


Explanation:
Answer Area

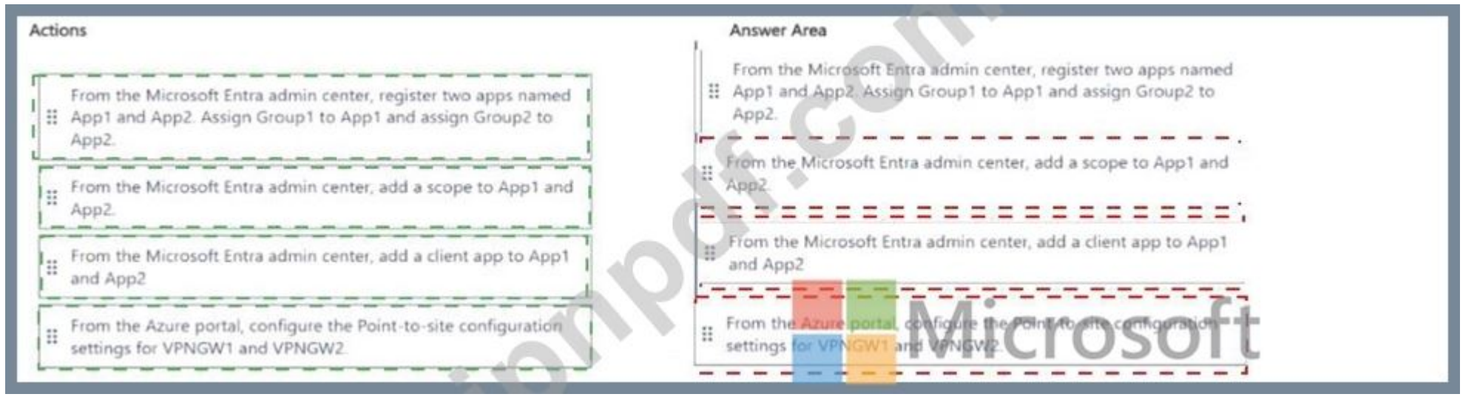
最新問題: **84**
以下の表に示すリソースが利用可能です。

Name	Type	Description
Group1	Microsoft Entra group	*None*
Group2	Microsoft Entra group	*None*
VPNGW1	Azure VPN Gateway	Supports Point-to-Site (P2S) VPN connections
VPNGW2	Azure VPN Gateway	Supports Point-to-Site (P2S) VPN connections

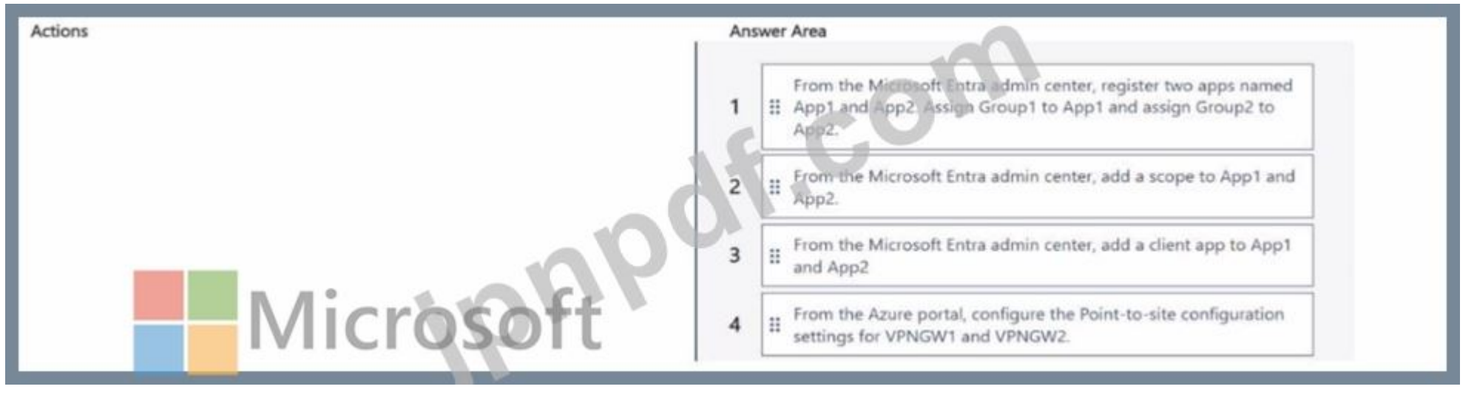
Microsoft Entra管理センターから、Azure VPNアプリケーションをエンタープライズアプリケーションとして登録します。
P2S VPN接続には、Microsoft Entra認証を有効にする必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。
* グループ1のメンバーのみがVPNGW1へのVPN接続を確立できるようにします。
* グループ2のメンバーのみがVPNGW2へのVPN接続を確立できるようにします。
どのような順序で操作を実行すればよいでしょうか？回答するには、操作リストからすべての操作を回答欄に移動し、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題**: 85**
シミュレーション

ユーザー名とパスワード
必要に応じて、以下のログイン情報を使用してください。
ユーザー名を入力するには、サインインボックスにカーソルを置き、下のユーザー名をクリックしてください。
パスワードを入力するには、カーソルを『パスワードを入力』ボックスに置いて、下のパスワードをクリックしてください。
- Azureユーザー名: User-12345678@cloudslice.onmicrosoft.com
- Azure パスワード: xxxxxxxxxx
Azureポータルがブラウザに正常に読み込まれない場合は、Ctrl+Kを押して新しいブラウザタブでポータルを再読み込みしてください。
以下の情報は、技術サポートのみを目的としています。
- ラボインスタンス: 12345678
サイト間VPNを使用して、オンプレミスネットワークをVNET4に接続する準備をしています。
VPNのオンプレミスエンドポイントは、Firewall1という名前のファイアウォール上に作成されます。
オンプレミスネットワークの構成は以下のとおりです。
- 内部アドレス範囲: 10.10.0.0/16
- ファイアウォール1の内部IPアドレス :10.10.1.1
- ファイアウォールのパブリックIPアドレス: 131.107.50.60
BGPは使用されていません。
サイト間VPNにオンプレミスネットワークのIPアドレス構成を提供するオブジェクトを作成する必要があります。このタスクを完了するために仮想ネットワークゲートウェイを作成する必要はありません。
このタスクを完了するには、Azure ポータルにサインインしてください。

Answer:

Create a site-to-site VPN connection in the Azure portal
We only create a local network gateway

The local network gateway is a specific object that represents your on-premises location (the site) for routing purposes. You give the site a name by which Azure can refer to it, then specify the IP address of the on-premises VPN device to which you'll create a connection. You also specify the IP address prefixes that will be routed through the VPN gateway to the VPN device. The address prefixes you specify are the prefixes located on your on-premises network. If

your on-premises network changes or you need to change the public IP address for the VPN device, you can easily update the values later.

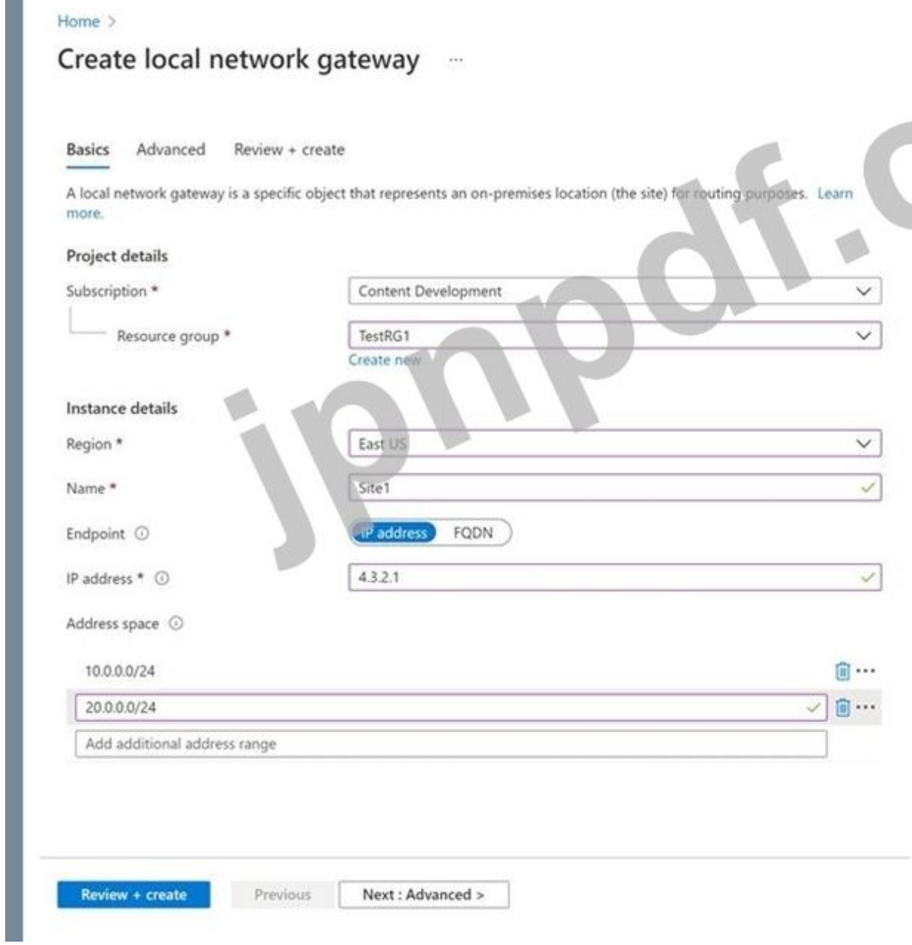
Step 1: From the Azure portal, in Search resources, services, and docs (G+/) type local network gateway. Locate local network gateway under Marketplace in the search results and select it. This opens the Create local network gateway page.

Step 2: On the Create local network gateway page, on the Basics tab, specifiy the values for your local network gateway.

* Select Endpoint type: IP address

* Endpoint: Enter 131.107.50.60 (The Firewall public IP address)
(IP address: If you have a static public IP address allocated from your Internet service provider for your VPN device, select the IP address option and fill in the IP address as shown in the example. This is the public IP address of the VPN device that you want Azure VPN gateway to connect to. If you don't have the IP address right now, you can use the values shown in the example, but you'll need to go back and replace your placeholder IP address with the public IP address of your VPN device. Otherwise, Azure won't be able to connect.)
* Address Space: Enter 10.10.0.0/16 (The internal address range)

Select the endpoint type for the on-premises VPN device - IP address or FQDN (Fully Qualified Domain Name).
IP address: If you have a static public IP address allocated from your Internet service provider for your VPN device.



Step 3: On the Advanced tab, you can configure BGP settings if needed. Skip this.

Step 4: When you have finished specifying the values, select Review + create at the bottom of the page to validate the page.

Step 5: Select Create to create the local network gateway object.

Reference:
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/vpn-gateway/tutorial-site-to-site-portal

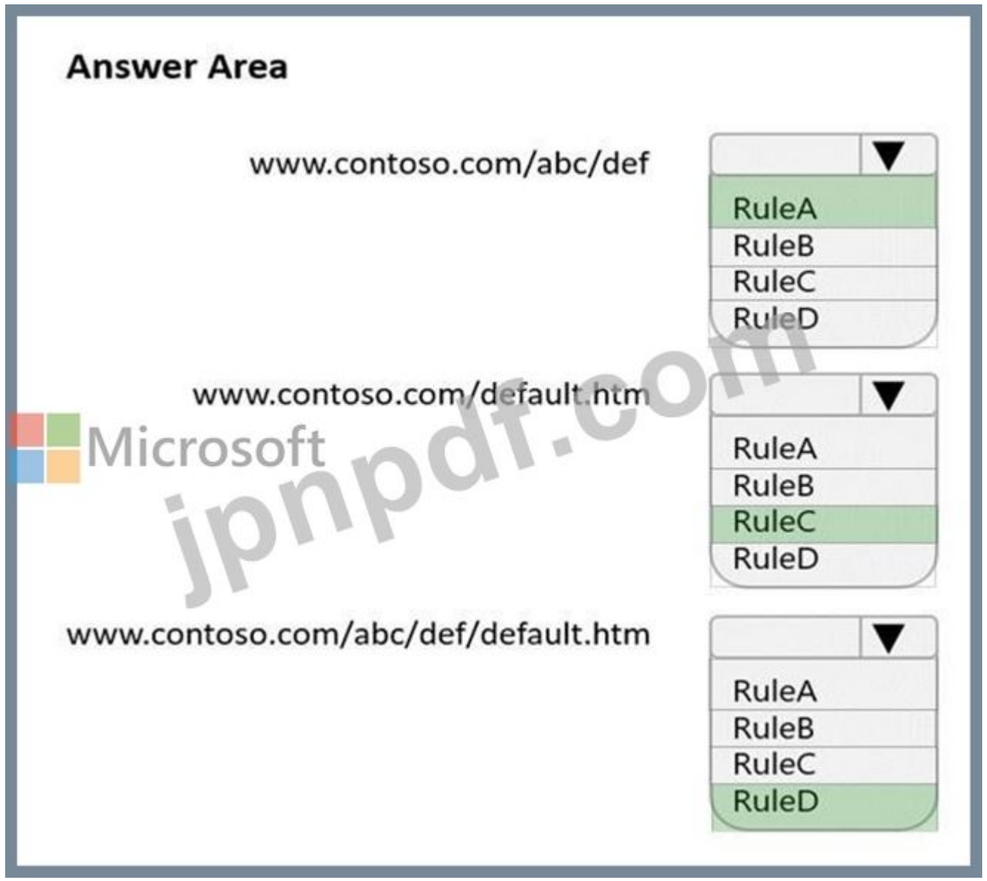
最新問題**: 86**
ホットスポットに関する質問
Azure Front Door インスタンスを使用して、Web アプリへのアクセスを提供しています。この Web アプリは、ホスト名として www.contoso.com を使用しています。
ルーティングルールは以下の表に示すとおりです。

Name	Path
RuleA	/abc/def
RuleB	/ab
RuleC	/*
RuleD	/abc/*

各受信リクエストにはどのルールが適用されますか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

www.contoso.com/abc/def	RuleA / RuleB / RuleC / RuleD
www.contoso.com/default.htm	RuleA / RuleB / RuleC / RuleD
www.contoso.com/abc/def/default.htm	RuleA / RuleB / RuleC / RuleD



Explanation:

パス上で完全に一致するルーティングルールを探します。

完全に一致するパスがない場合は、一致するワイルドカードパスを含むルーティングルールを探します。

一致するパスを持つルーティングルールが見つからない場合は、リクエストを拒否し、HTTPレスポンスとして400: Bad Requestエラーを返します。

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/frontdoor/standard-premium/concept-route#path-matching

最新問題**: 87**

お客様は、VNet1 という名前の仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。VNet1 には、次の表に示すリソースが含まれています。

Name	Type	Description
AG1	Azure Application Gateway	Will automatially scale up to three instances
VMSS1	Virtual machine scale set	Consists of four virtual machines that run an app named App1

AG1とURL（https://app1.contoso.com）を使用してApp1を公開する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

* TLS接続はAG1で終了する必要があります。
* AG1のバックエンドプール内のターゲット数を最小限に抑える。

* App1のSSL証明書のデプロイ済みコピー数を最小限に抑える。
証明書にインポートするロケーションの数と、AG1のバックエンドプールに追加するターゲットの数をそれぞれいくつにする必要がありますか？回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

Explanation:

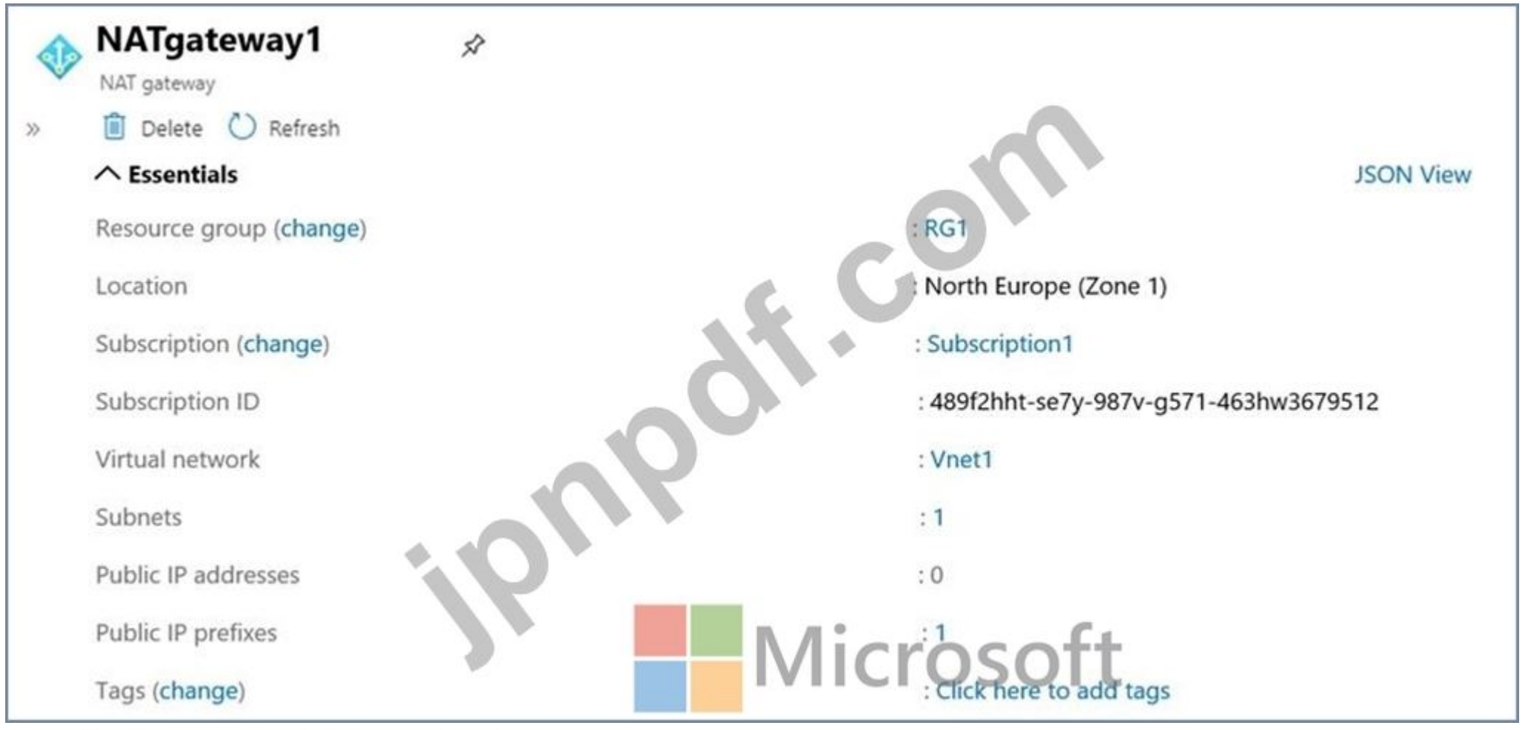
最新問題: 88
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

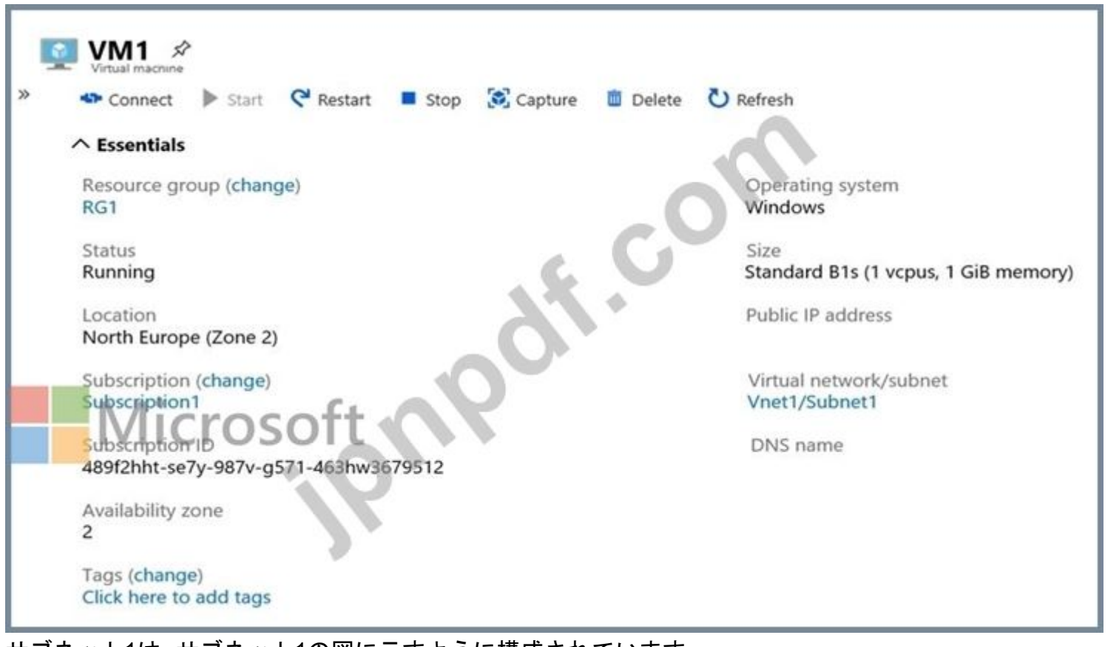
最新問題: **89**

Vnet1という名前のAzure仮想ネットワークがあり、その中にSubnet1とSubnet2という名前の2つのサブネットが含まれています。

図NATgateway1に示されているNATゲートウェイがあります。



VM1の展示図に示されている仮想マシンがあります。



サブネット1は、サブネット1の図に示すように構成されています。

Vnet1

Name
Subnet1

Subnet address range * ⓘ

10.100.1.0/24

10.100.1.0 – 10.100.1.255 (251 + 5 Azure reserved addresses)

☐ Add IPv6 address space ⓘ

NAT gateway ⓘ

NATgateway1

Network security group

None

Route table

RouteTable1

SERVICE ENDPOINTS

Create service endpoint policies to allow traffic to specific azure resources from your virtual network over service endpoints. Learn more

Services ⓘ

Microsoft.Storage

Service	Status
Microsoft.Storage	Succeeded

Service endpoint policies

0 selected

SUBNET DELEGATION

Delegate subnets to a service ⓘ

None

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

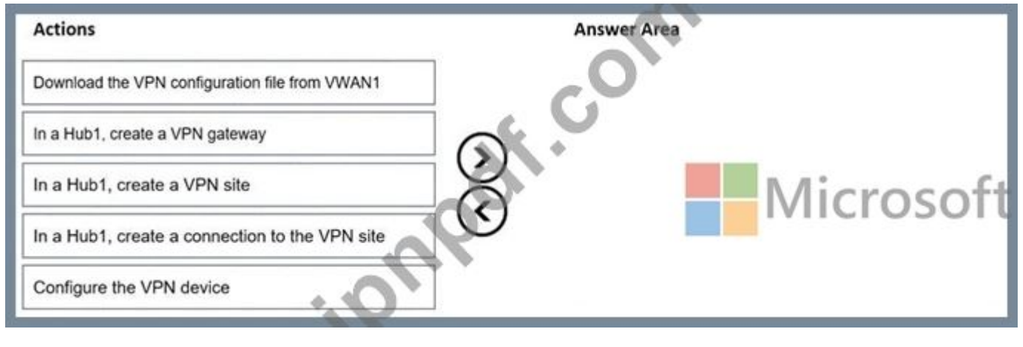
Statements	Yes	No
VM1 can communicate outbound by using NATgateway1	○	○
The virtual machines in Subnet2 communicate outbound by using NATgateway1	○	○
All the virtual machines that use NATgateway1 to connect to the internet use the same public IP address	○	○

Answer:

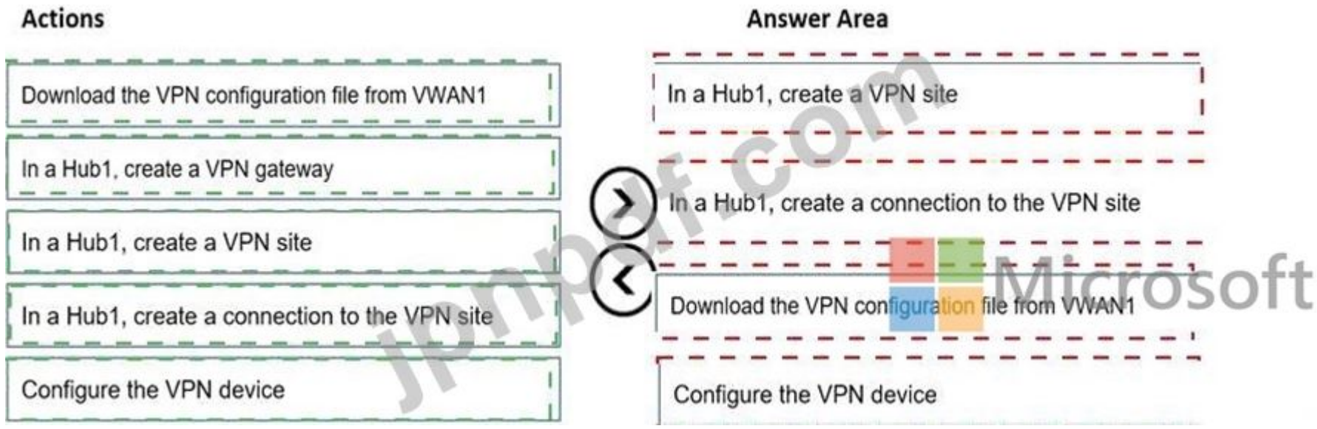
Statements	Yes	No
VM1 can communicate outbound by using NATgateway1	○	○
The virtual machines in Subnet2 communicate outbound by using NATgateway1	○	○
All the virtual machines that use NATgateway1 to connect to the internet use the same public IP address	○	○

参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/nat-gateway/nat-gateway-resource

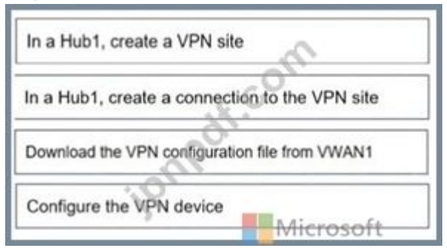
最新問題: **90**
貴社には3つのオンプレミス拠点があります。各拠点にはサードパーティ製のVPNデバイスが設置されています。
VWAN1という名前のAzure仮想WANがあり、その中にHub1という名前のハブがあります。Hub1は、サイト間VPN接続を使用して、3つのオンプレミスサイトのうち2つを接続しています。
Hub1を使用して、3番目のサイトを他の2つのサイトに接続する必要があります。
どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/virtual-wan-site-to-site-portal

最新問題**: 91**
ネットワークトポロジーは 「トポロジー」図に示されています。（「トポロジー」タブをクリックしてください。）

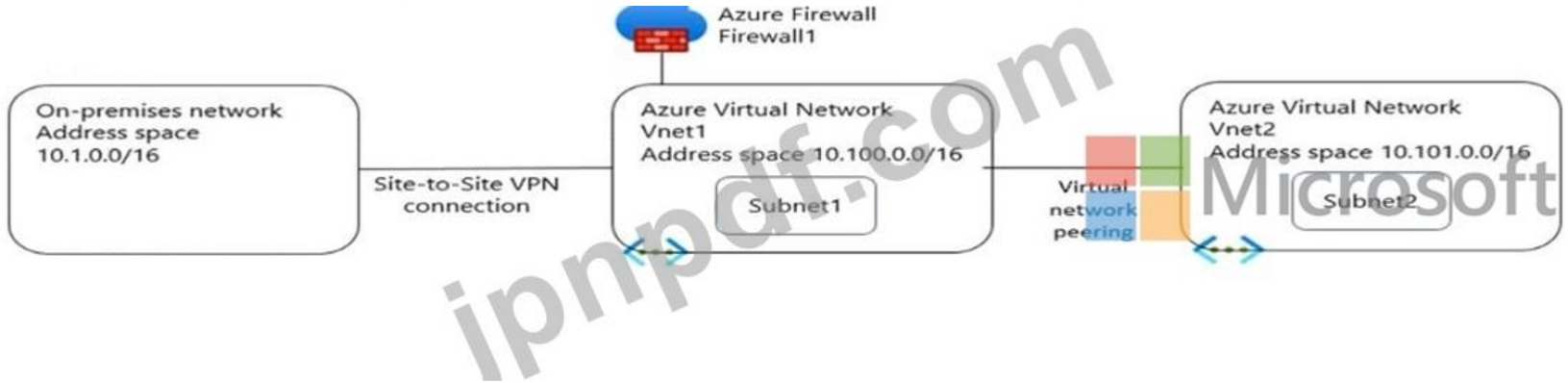
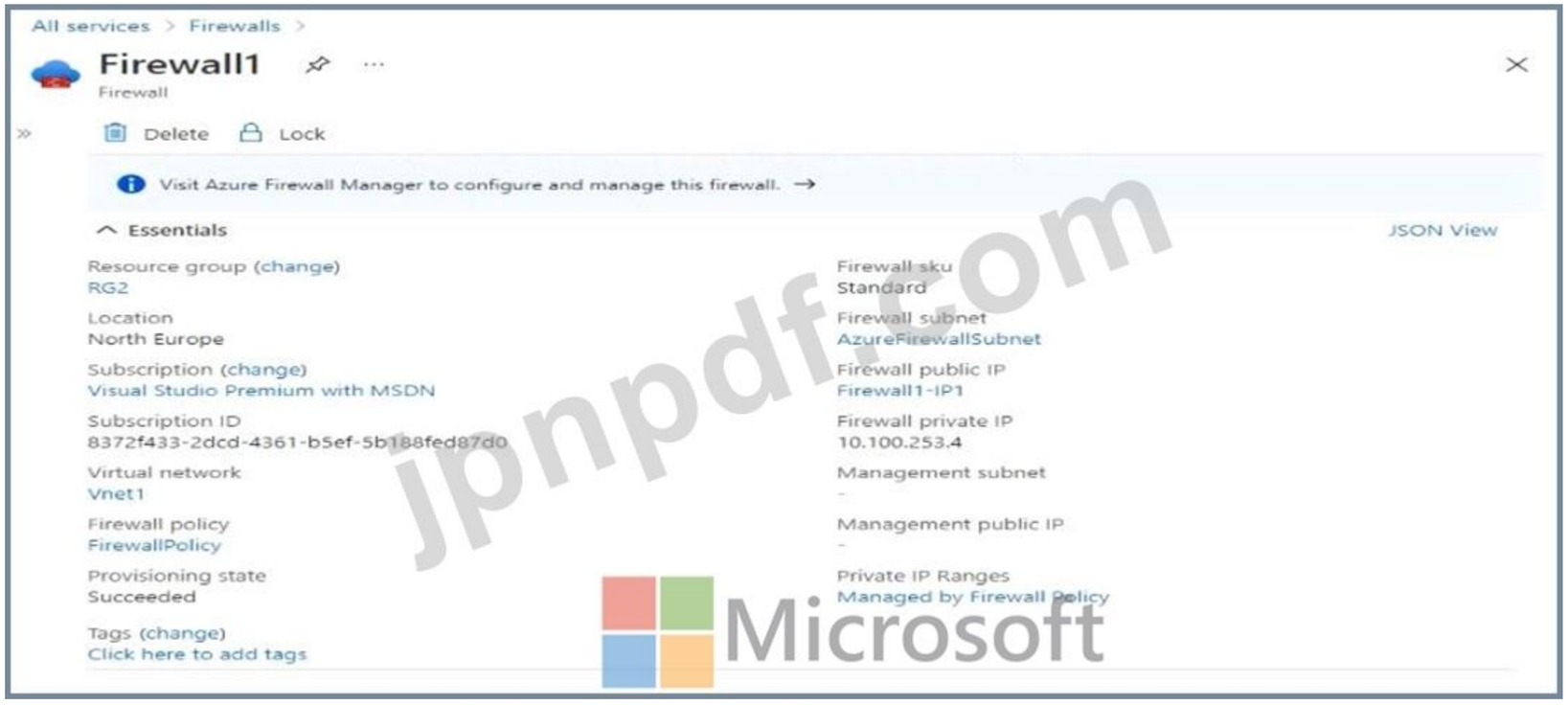


図 「ファイアウォール 1」に示されているAzureファイアウォールがあります。（「ファイアウォール」タブをクリックしてください。）



RouteTable1の図に示されているルートテーブルがあります。RouteTable1タブをクリックしてください。）

All services > Route tables >

RouteTable1

Route table

Move | Delete | Refresh | Give feedback

Essentials JSON View

Resource group (change)
RG1

Location
North Europe

Subscription (change)
Visual Studio Premium with MSDN

Subscription ID
8372f433-2dcd-4361-b5ef-5b188fed87d0

Tags (change)
Click here to add tags

Associations
1 subnet associations

Routes

Search routes

Name	Address prefix	Next hop type	Next hop IP address
Route1	10.1.0.0/16	Virtual network gateway	-
Route2	0.0.0.0/0	Virtual appliance	10.100.253.4

Subnets

Search subnets

Name	Address range	Virtual network	Security group
Subnet1	10.100.1.0/24	Vnet1	-

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
The resources in Subnet1 can connect to the internet through Firewall1.	○	○
The resources in Subnet1 can connect to the resources in Vnet2.	○	○
The resources in Subnet2 can connect to the internet through Firewall1.	○	○

Answer:

最新問題: **92**
OpenVPNを使用するAzureポイントツーサイト（P2S）VPNを計画しています。ユーザーはオンプレミスのActive Directoryドメインを使用して認証を行います。
VPN認証をサポートするために、どの追加サービスを導入すべきでしょうか？
A. 認証局（CA）
B. RADIUSサーバー
C. Azure Key Vault
D. Azure Active Directory (Azure AD) アプリケーションプロキシ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/vpn-gateway/point-to-site-about

最新問題: **93**
ネットワーク図の図に示されているようなハイブリッドネットワークがあります。

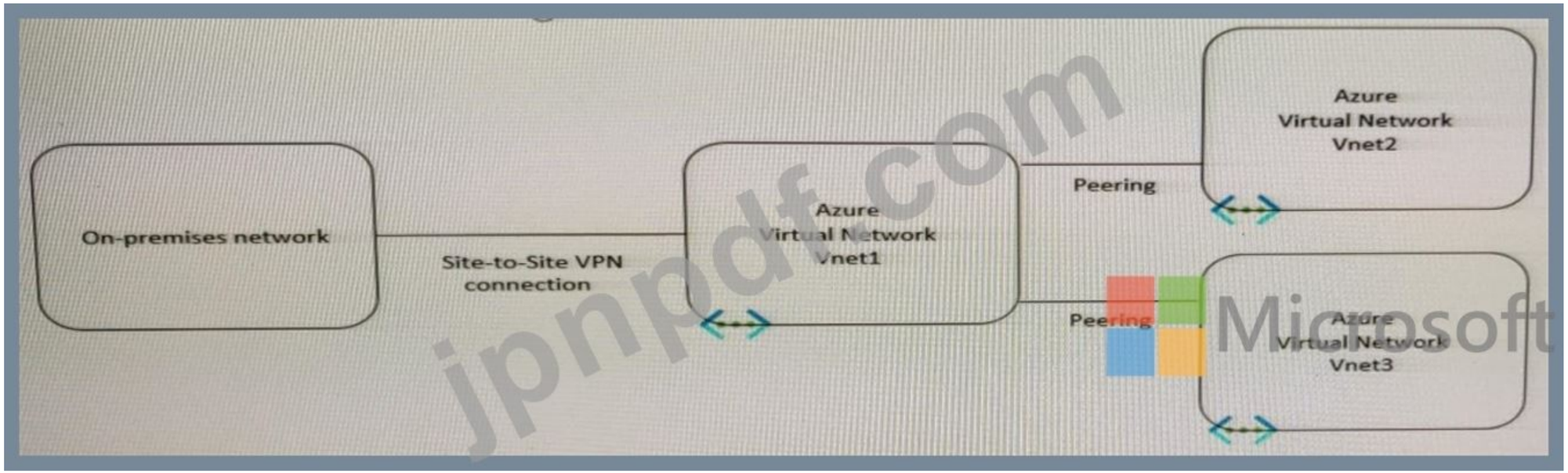


図 Peering-Vnet1-Vnet2」に示すように、Vnet1とVnet2の間にはピアリング接続が確立されています。

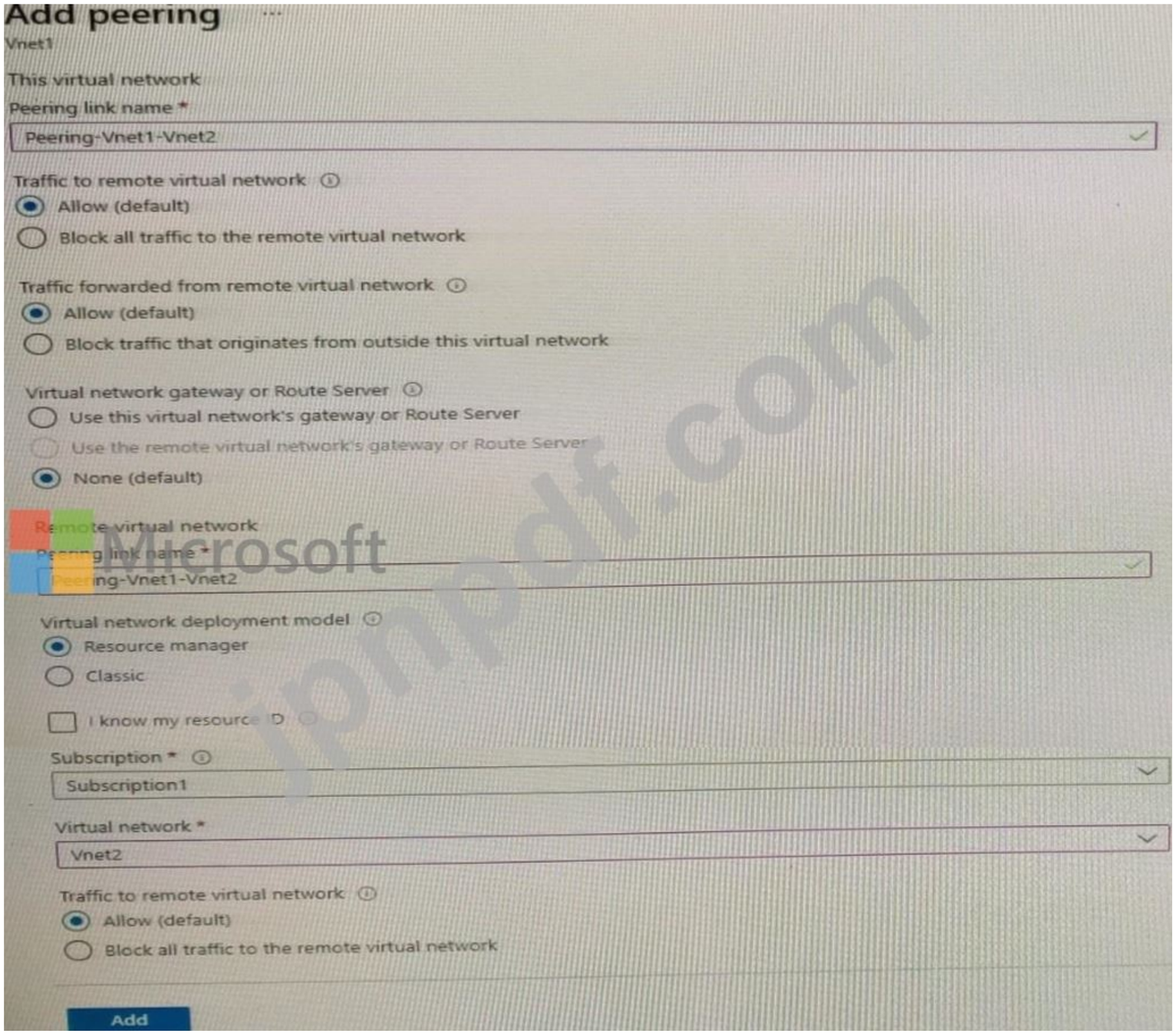


図 ピアリング - Vnet1-Vnet3」に示すように、Vnet1とVnet3の間にはピアリング接続が確立されています。

This virtual network

Peering link name *

Peering-Vnet1-Vnet3

Traffic to remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

Traffic forwarded from remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

Virtual network gateway or Route Server

- ( ) Use this virtual network's gateway or Route Server
- ( ) Use the remote virtual network's gateway or Route Server
- (•) None (default)

Remote virtual network

Peering link name *

Peering-Vnet1-Vnet3

Virtual network deployment model

- (•) Resource manager
- ( ) Classic

[ ] I know my resource ID

Subscription *

Subscription1

Virtual network *

Vnet1

Traffic to remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block all traffic to the remote virtual network

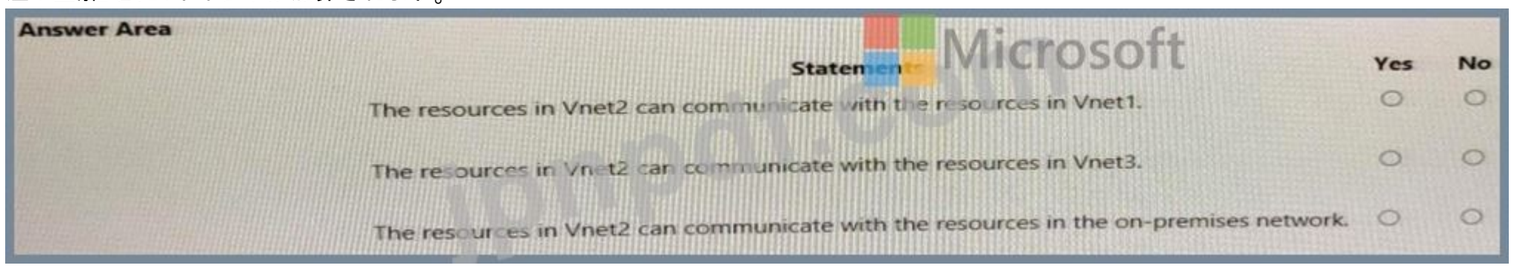
Traffic forwarded from remote virtual network

- (•) Allow (default)
- ( ) Block traffic that originates from outside this virtual network

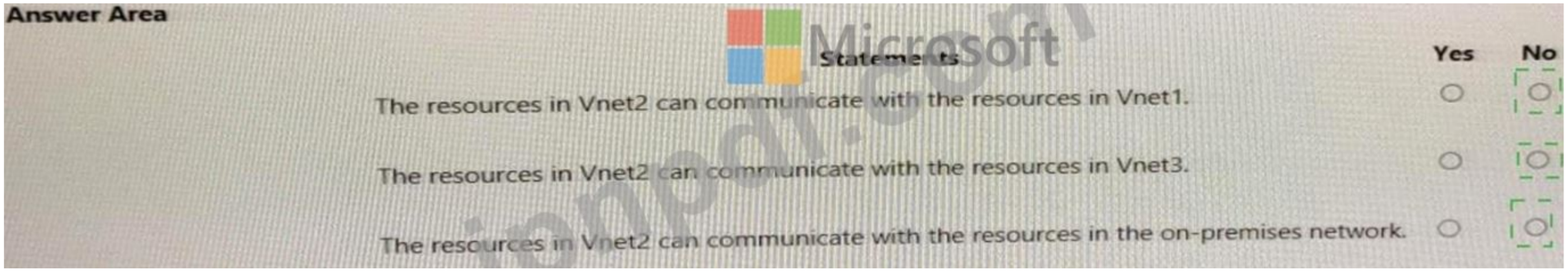
Virtual network gateway or Route Server

- ( ) Use this virtual network's gateway or Route Server
- ( ) Use the remote virtual network's gateway or Route Server
- (•) None (default)

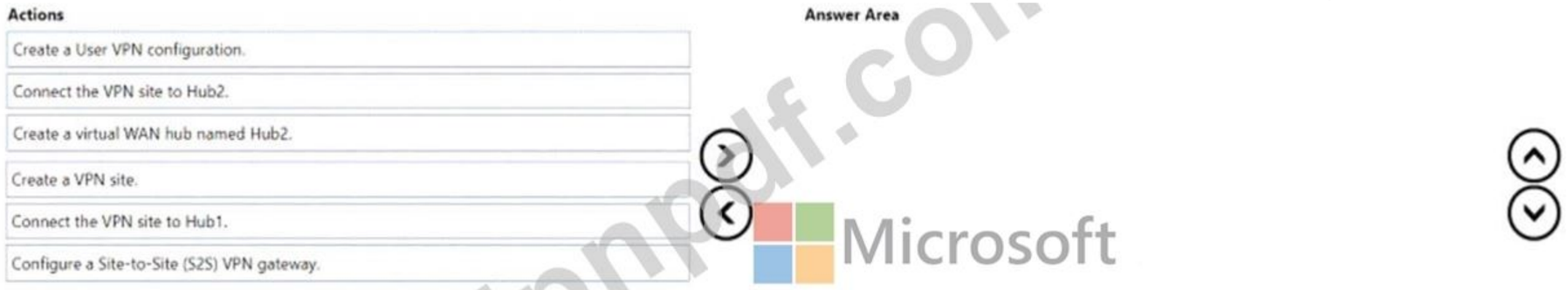
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



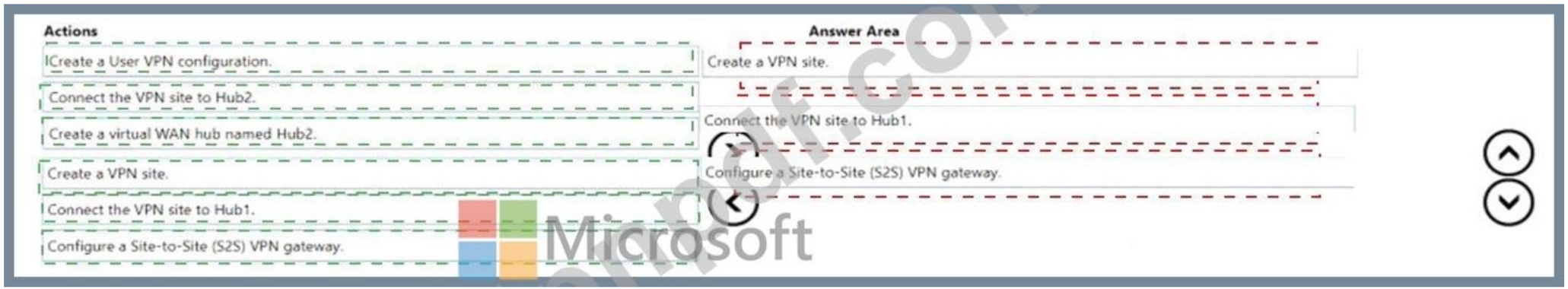
Answer:



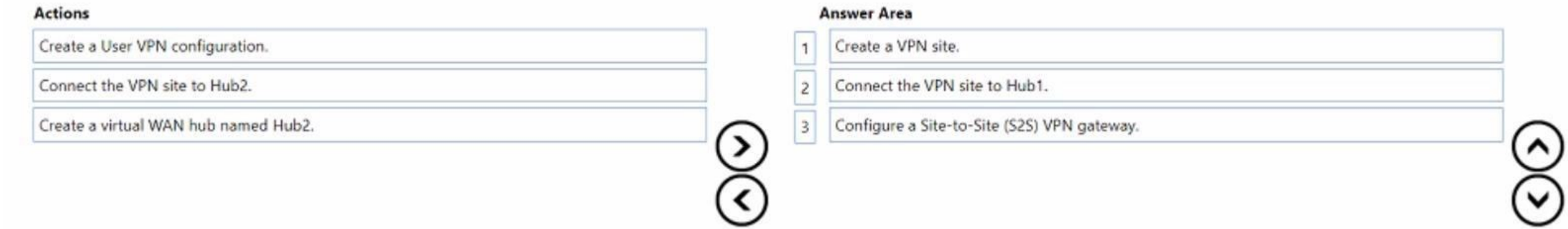
最新問題: **94**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
お客様は、VNet1 という名前の仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。VNet1 は、Hub1 という名前の Azure Virtual WAN ハブに接続されています。
Hub1を使用して、オンプレミスネットワークとVNet1間の接続を有効にする必要があります。
どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: **95**
Vnet1という名前のAzure仮想ネットワークがあり、そのサブネットは1つです。Vnet1は西ヨーロッパのAzureリージョンにあります。
App1という名前のAzure App Serviceアプリを西ヨーロッパリージョンにデプロイします。
App1にVnet1内のリソースへのアクセス権を付与する必要があります。ソリューションはコストを最小限に抑えるものでなければなりません。
まず最初に何をすべきでしょうか？
A. プライベートリンクを作成します。
B. 新しいサブネットを作成します。
C. NATゲートウェイを作成します。
D. ゲートウェイサブネットを作成し、仮想ネットワークゲートウェイをデプロイします。
Answer: D (メーッセージを残す)
仮想ネットワークの統合は、専用のサブネットに依存します。
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/overview-vnet-integration#regional-virtual-network-integration Web アプリから vnet への送信トラフィックはインターネットを経由するため、コストは最小値ではありません。
プライベートエンドポイントとWebアプリ間の接続には、安全なプライベートリンクが使用されます。プライベートエンドポイントは、Webアプリへの受信フローにのみ使用されます。送信フローはこのプライベートエンドポイントを使用しませんが、VNet統合機能を使用して、別のサブネットのネットワークに送信フローを挿入することができます。
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/networking/private-endpoint#conceptual-overview
最新問題: **96**

次の表に示すルートを含む、RT1という名前のルーティングテーブルを設定します。

Name	Prefix	Next hop type	Next hop IP address
Route1	0.0.0.0/0	Network virtual appliance (NVA)	192.168.0.4
Route2	10.0.0.0/24	Network virtual appliance (NVA)	192.168.0.4

Vnet1 という名前の Azure 仮想ネットワークがあり、次の表に示すサブネットが含まれています。

Name	Prefix	Route table
DMZ	192.168.0.0/24	None
FrontEnd	192.168.1.0/24	RT1
BackEnd	192.168.2.0/24	None

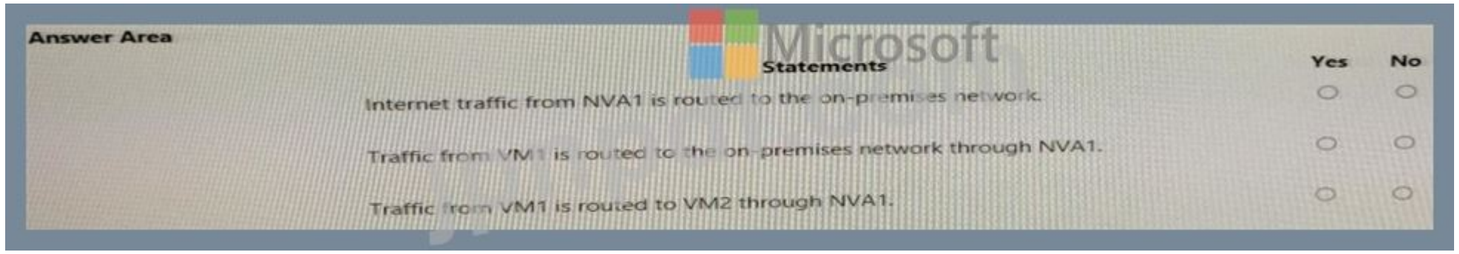
以下の表に示すリソースが利用可能です。

Name	IP address	Type
NVA1	192.168.0.4	NVA
VM1	192.168.1.4	Virtual machine
VM2	192.168.2.4	Virtual machine

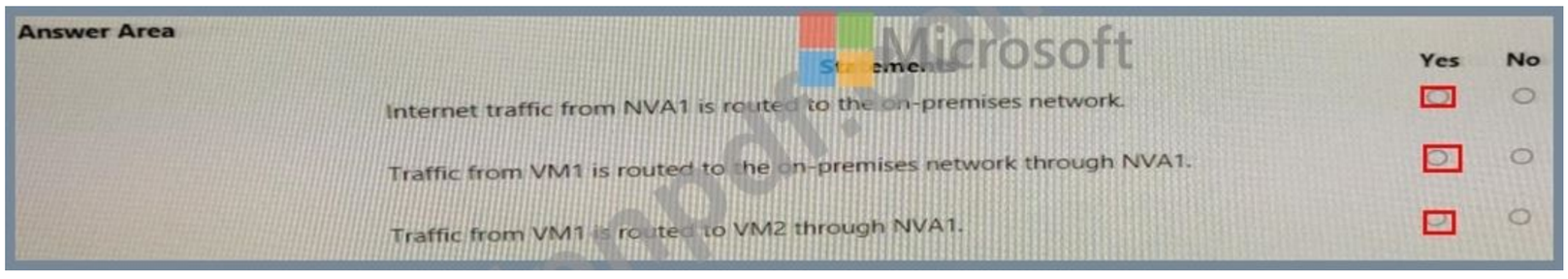
Vnet1はExpressRoute回線に接続します。オンプレミスルーターは以下のルートをアドバタイズします。

* 0.0.0.0/0
* 10.0.0.0/16

以下の各設問について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1点が加算されます。



Answer:



最新問題: **97**

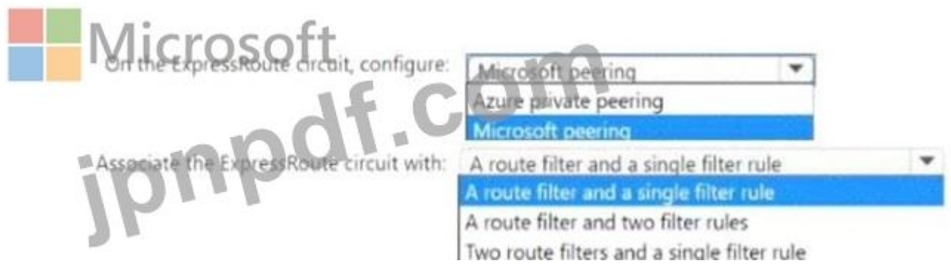
接続プロバイダによって有効化される、ERC1という名前のExpressRoute回線を作成します。

Azure BackupとAzure Cosmos DBのルートがECR1経由でオンプレミスネットワークにアドバタイズされるようにする必要があります。このソリューションは、管理作業を最小限に抑えるものでなければなりません。

どうすればよいですか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。

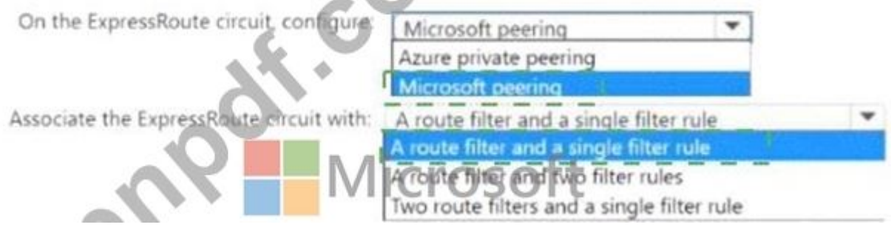
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area



Answer:

Answer Area



Explanation:

最新問題: **98**

ストレージ1への接続を提供する必要があります。ソリューションは、PaaSのネットワーク要件とビジネス要件の両方を満たす必要があります。

解決策には何を含めるべきですか？

A. サービスエンドポイント

B. 青の玄関

C. プライベートエンドポイント

D. Azure Traffic Manager

Answer: (解答を表示する**)**

参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-network-service-endpoints-overview

トピック2、コントソ事例研究2

概要

これはケーススタディです。ケーススタディには個別の時間制限はありません。各ケースを完了するために、試験時間を自由に使うことができます。ただし、この試験には追加のケーススタディやセクションが含まれる場合があります。与えられた時間内に試験に含まれるすべての問題を完了できるよう、時間配分をしっかり行う必要があります。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、ケーススタディに記載されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する図表やその他の資料が含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディ内の他の質問とは独立しています。

このケーススタディの最後に、確認画面が表示されます。この画面では、解答を確認し、次のセクションに進む前に修正することができます。新しいセクションを開始すると、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには
このケーススタディの最初の質問を表示するには、「次へ」ボタンをクリックしてください。質問に答える前に、左側のペインにあるボタンを使ってケーススタディの内容を確認してください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存環境、問題記述などの情報が表示されます。ケーススタディに「すべての情報」タブがある場合、表示される情報は以降のタブに表示される情報と同一であることに注意してください。質問に答える準備ができたら、「質問」ボタンをクリックして質問に戻ってください。
既存環境：
Azure Network Infrastructure
Contosoは、contoso.comという名前のAzure Active Directory（Azure AD）テナントを所有しています。
Azure サブスクリプションには、次の表に示す仮想ネットワークが含まれています。

Name	Resource group	IP address space	Location	Peered with
Vnet1	RG1	10.1.0.0/16	West US	Vnet2, Vnet3
Vnet2	RG1	172.16.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet3, Vnet4
Vnet3	RG2	192.168.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet2
Vnet4	RG2	10.10.0.0/16	West US	Vnet2
Vnet5	RG3	10.20.0.0/16	East US	None

Vnet1には、GW1という名前の仮想ネットワークゲートウェイが含まれています。
Azure仮想マシン
Azure サブスクリプションには、次の表に示すように、Windows Server 2019 を実行する仮想マシンが含まれています。

Name	Connected to	Network security group (NSG)
VM1	Vnet1/Subnet1	NSG1
VM2	Vnet1/Subnet2	NSG2
VM3	Vnet2/Default	NSG3
VM4	Vnet3/Default	NSG4
VM5	Vnet4/SubnetA	NSG5

NSGは仮想マシンのネットワークインターフェースに関連付けられています。各NSGには、インターネットからのRDP接続を許可するカスタムセキュリティルールが1つずつ設定されています。各仮想マシンのファイアウォールはICMPトラフィックを許可します。
ASG1という名前のアプリケーションセキュリティグループが、VM1のネットワークインターフェースに関連付けられています。
AzureプライベートDNSゾーン
Azure サブスクリプションには、次の表に示す Azure プライベート DNS ゾーンが含まれています。

Name	Location
zone1.contoso.com	Central US
zone2.contoso.com	West US

Zone1.contoso.comには、以下の表に示す仮想ネットワークリンクがあります。

Name	Virtual network	Auto registration
Link1	Vnet2	No
Link2	Vnet3	Yes

その他のAzureリソース
Azure サブスクリプションには、次の表に示すような追加リソースが含まれています。

Name	Type	Location
DB1	Azure SQL Database	West US
storage1	Azure Storage account	West US
Registry1	Azure Container Registry	Central US
KeyVault1	Azure Key Vault	Central US

要件：
仮想ネットワークの要件
Contosoには、以下の仮想ネットワーク要件があります。
* 米国西部に、以下のリソースと構成を含むVnet6という名前の仮想ネットワークを作成します。
Vnet6に接続する2つのコンテナグループ
Vnet6に接続する3台の仮想マシン
VPN接続をVnet6に確立できるようにする
Vnet6 のリソースが Microsoft バックボーン ネットワーク経由で KeyVault1、DB1、および Vnet1 にアクセスできるようにする
* Vnet4とVnet5内の仮想マシンは、Microsoftのバックボーンネットワークを介して通信できる必要があります。
* VM-Analyzeという名前の仮想マシンがSubnet1にデプロイされます。VM-Analyzeは、Subnet2からインターネットへの送信ネットワークトラフィックを検査する必要があります。
ネットワークセキュリティ要件
Contosoには以下のネットワークセキュリティ要件があります。
* ポイントツーサイト (P2S) VPN ユーザー向けに Azure Active Directory (Azure AD) 認証を構成します。
* NSG3およびNSG4のNSGフローログを有効にする。
* Vnet1/Subnet1に関連付けられ、次の表に示すカスタム受信セキュリティルールを持つNSG10という名前のNSGを作成します。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
500	3389	TCP	10.1.0.0/16	Any	Deny
1000	Any	ICMP	10.10.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

* Vnet1/Subnet2に関連付けられ、次の表に示すカスタム送信セキュリティルールを持つNSG11という名前のNSGを作成します。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
200	3389	TCP	10.1.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

最新問題: **99**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
Gateway1	NAT gateway	Unconfigured
NIC1	Network interface	A network interface with a statically assigned public IP address named PIP1
PIP1	Public IP address	A Basic SKU public IP address
VNet1	Virtual network	Contains a subnet named Subnet1
Subnet1	Virtual subnet	Part of VNet1
VM1	Virtual machine	Connected to Subnet1 via NIC1

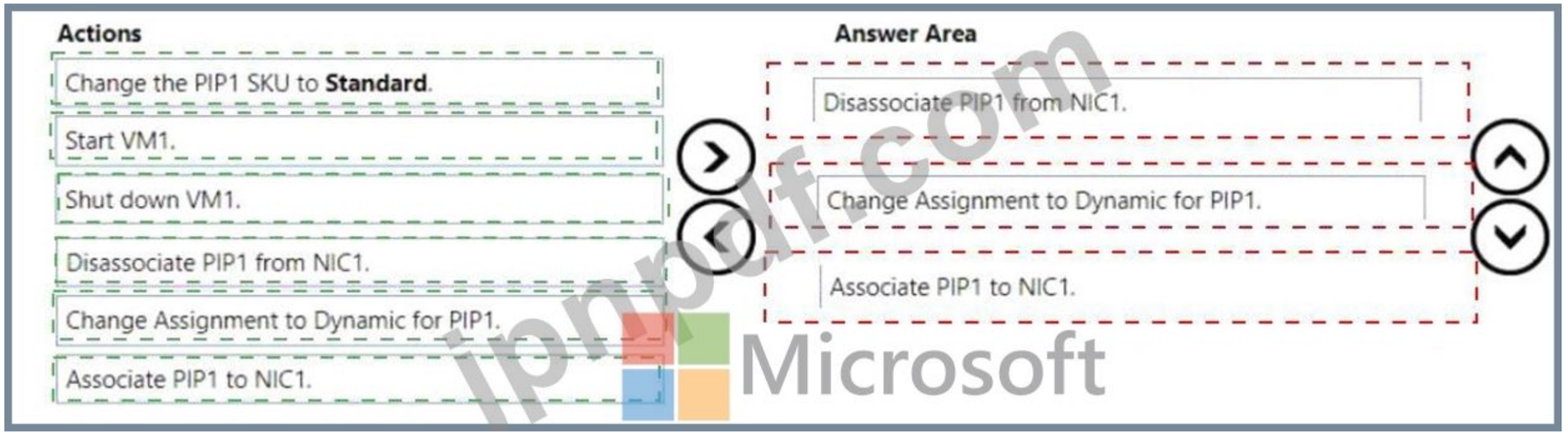
ゲートウェイ1をサブネット1に関連付ける必要があります。このソリューションは、VM1のダウンタイムを最小限に抑えるものでなければなりません。
どの3つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。

Actions

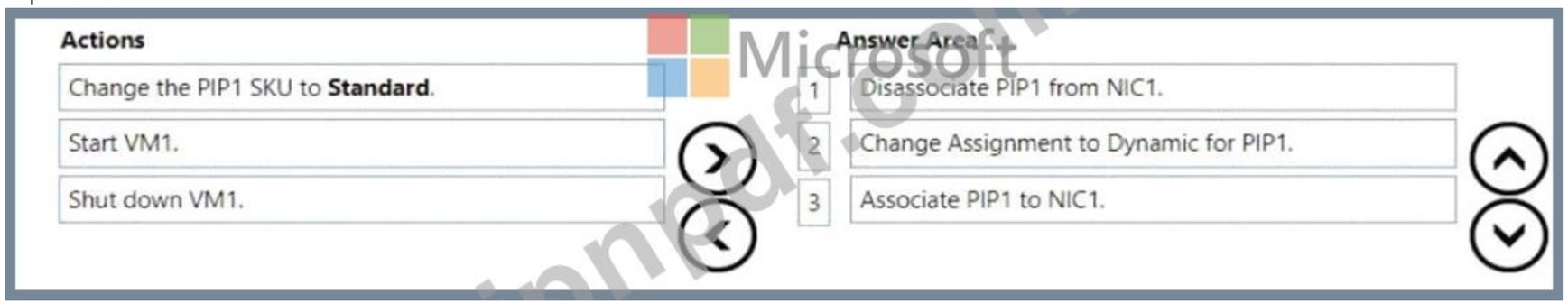
- Change the PIP1 SKU to **Standard**.
- Start VM1.
- Shut down VM1.
- Disassociate PIP1 from NIC1.
- Change Assignment to Dynamic for PIP1.
- Associate PIP1 to NIC1.

Answer Area

Answer:



Explanation:



最新問題: **100**
御社はロンドン、東京、ニューヨークにオフィスを構えていますね。
同社はApp1という名前のWebアプリを所有しており、そのAzure Traffic Managerプロファイルは次の表に示すとおりです。

Parameter	Value	Azure region
DNS Name	app1.trafficmanager.net	*Not applicable*
Endpoint	app1-asia.azurewebsites.net	East Asia
Endpoint	app1-na.azurewebsites.net	East US
Endpoint	app1-na.azurewebsites.net	UK South
Routing method	Geographic	*Not applicable*

アジアでは、App1 の更新バージョンをホストする追加のエンドポイントを展開する予定です。テスト期間中、東京オフィスからのトラフィックの 10% を新しいエンドポイントにルーティングする必要があります。Traffic Manager で何を設定すればよいですか？
A. 3つのプロファイルと4つのエンドポイント
B. プロファイル1つとエンドポイント5つ
C. 2つのプロファイルと4つのエンドポイント
D. 2つのプロファイルと5つのエンドポイント
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 101**
お客様は、以下の表に示す仮想マシンを含む Azure サブスクリプションを所有しています。

Name	Connected to
VM1	Vnet1/Subnet1
VM2	Vnet1/Subnet2

Subnet1とSubnet2は、NSG1という名前のネットワークセキュリティグループ (NSG)に関連付けられており、NSG1には以下の送信ルールが設定されています。
優先度: 100
ポート: 任意
プロトコル: 任意
出典: 任意の
宛先 :ストレージ
アクション : 拒否
以下の設定を持つプライベートエンドポイントを作成します。
名前: プライベート1
リソースの種類: Microsoft.Storage/storageAccounts
リソース: storage1
対象サブリソース: blob
仮想ネットワーク: Vnet1
サブネット: サブネット1
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注 : 正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
From VM2, you can create a container in storage1	○	○
From VM1, you can upload data to a blob storage container in storage1	○	○
From VM2, you can upload data to a blob storage container in storage1	○	○

Statements	Yes	No
From VM2, you can create a container in storage1	○	○
From VM1, you can upload data to a blob storage container in storage1	○	○
From VM2, you can upload data to a blob storage container in storage1	○	○

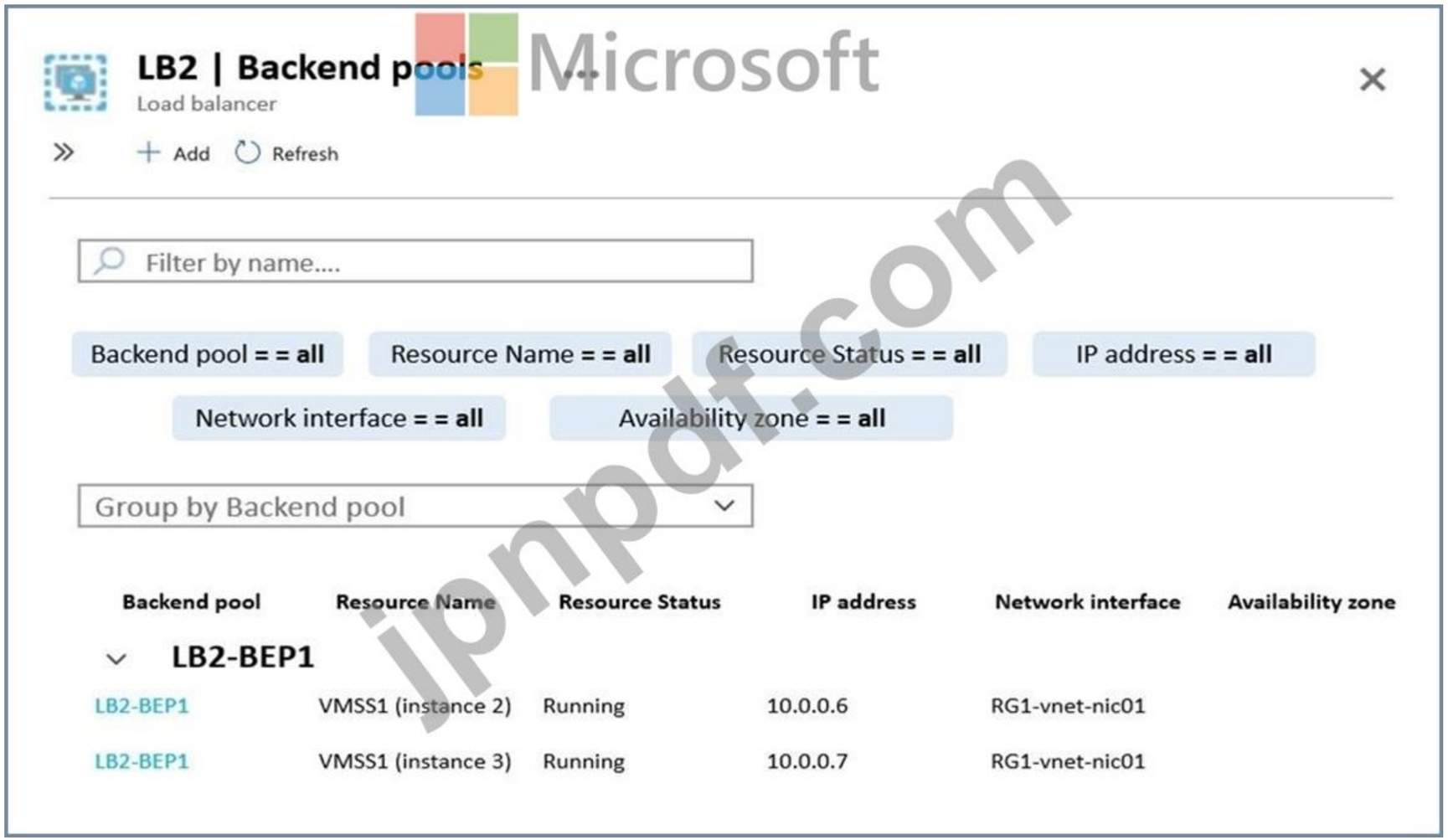
最新問題: **102**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	In the US East Azure region
LB1	Load balancer	Basic SKU
VM1	Virtual machine	Connected to Vnet1 Member of the backend pool of LB1
VM2	Virtual machine	Connected to Vnet1 Member of the backend pool of LB1

米国西部リージョンに、Vnet2という名前の仮想ネットワークを作成します。
Vnet1とVnet2間のピアリングを有効にする予定です。
Vnet2に接続されている仮想マシンが、LB1を介してVM1およびVM2に接続できることを確認する必要があります。
あなたはどうすべきでしょうか？
A. Vnet2 のピアリング設定から、リモート仮想ネットワークからのトラフィック転送を許可に設定します。
B. LB1のフローティングIP設定を変更します。
C. Vnet1 のピアリング設定から、リモート仮想ネットワークからのトラフィック転送を許可に設定します。
D. LB1のSKUを変更します。
Answer: D (メーッセージを残す)
グローバル VNet ピアリングのサポート 標準 ILB はグローバル VNet ピアリング経由でサポートされていますが、サポートされていません。
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/skus#skus

最新問題: **103**
ロードバランサーの図に示されているAzureロードバランサーがあります。

LB2には、バックエンドプールの図に示されているバックエンドプールがあります。



LB2がVMSS1のすべてのメンバーにトラフィックを分配するようにする必要があります。
どの2つの行動をとるべきでしょうか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
A. VMSS1にネットワークインターフェースを追加します。
B. ヘルスプローブを設定します。
C. VMSS1の各メンバーにパブリックIPアドレスを追加します。
D. 負荷分散ルールを追加します。
Answer: (解答を表示する**)**
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/quickstart-load-balancer-standard-public-portal?tabs=option-1-create-load-balancer-standard

最新問題**: 104**
お客様は、以下の表に示す仮想マシンを含む Azure サブスクリプションを所有しています。

Name	Virtual network	Subnet	Workload
SQL1	VNet1	Subnet1	Microsoft SQL Server 2019
Web1	VNet1	Subnet1	IIS
Web2	VNet1	Subnet2	IIS
SQL2	VNet2	Subnet1	Microsoft SQL Server 2019
Web3	VNet2	Subnet1	IIS
SQL3	VNet2	Subnet2	Microsoft SQL Server 2019

VNet1とVNet2は互いに接続されていません。
アプリケーションセキュリティグループを使用して、SQL Server 2019からIISへのトラフィックをブロックする必要があります。このソリューションは、管理作業を最小限に抑えるものでなければなりません。
アプリケーションセキュリティグループはどのように構成すべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area:

Minimum number of application security groups:

1
2
3
6

Minimum number of application security group assignments:

1
2
3
6

Answer:

Answer Area:

Minimum number of application security groups:

1
2
3
6

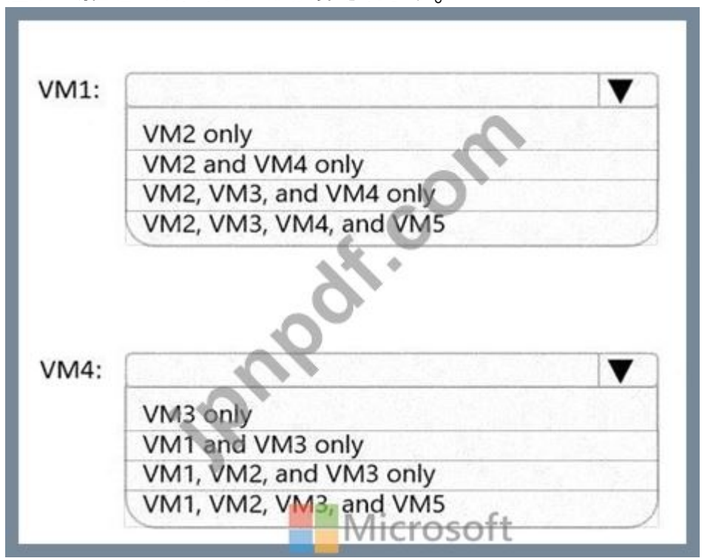
Minimum number of application security group assignments:

1
2
3
6

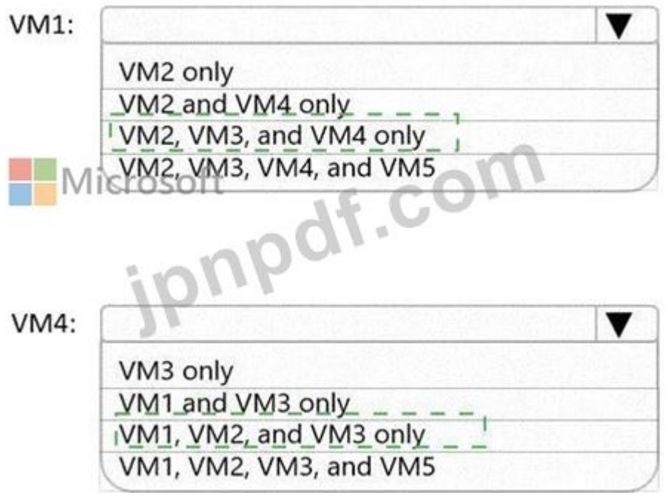
説明
2つのASGと3つの割り当て、
「アプリケーションセキュリティグループに割り当てられるすべてのネットワークインターフェイスは、アプリケーションセキュリティグループに最初に割り当てられたネットワークインターフェイスと同じ仮想ネットワーク内に存在する必要があります。」
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/application-security-groups

最新問題: **105**
仮想ネットワークを含むAzureサブスクリプションをお持ちです。
Azure VPN ゲートウェイと 90 のサイト間 VPN 接続をデプロイする予定です。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。
- サイト間 VPN 接続が、
Azureデータセンターが障害を起こしました。
コストを最小限に抑える。
どのゲートウェイSKUを指定すればよいですか？
A. VpnGw1AZ
B. VpnGw2AZ
C. VpnGw4AZ
D. VpnGw5AZ
Answer: C (メーッセージを残す**)**
基本SKUは最大10個のS2S接続をサポートします。SKU 1、2、3は最大30個のS2S接続をサポートします。SKU 4と5は最大100個のS2S接続をサポートします。この2つのうち、SKU4が最もコストを抑えます。

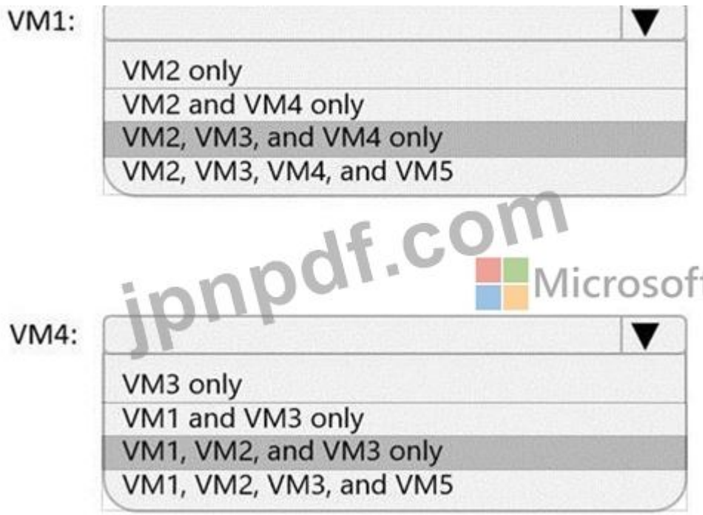
最新問題: **106**
VM1とVM4は、どの仮想マシンに正常にpingを実行できますか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



Explanation:



ボックス1 :VM2、VM3、VM4。
VM1はVNet1/Subnet1に属しています。VNet1はVNet2およびVNet3とピアリングされています。
VNet1からの送信ICMPをブロックするNSGはありません。VNet1/Subnet2、VNet2、VNet3への受信ICMPをブロックするNSGもありません。したがって、VM1はVNet1/Subnet2のVM2、VNet2のVM3、VNet3のVM4にpingを実行できます。
ボックス2 :
VM4はVNet3に属しています。VNet3はVNet1およびVNet2とピアリングされています。VNet3からのアウトバウンドICMPをブロックするNSGはありません。VNet3からVNet1/Subnet1、VNet1/Subnet2、またはVNet2へのインバウンドICMPをブロックするNSGもありません（NSG10はVNet4からのインバウンドICMPをブロックしますが、VNet3からのインバウンドICMPはブロックしません）。したがって、VM4はVNet1/Subnet1のVM1、VNet1/Subnet2のVM2、およびVNet2のVM3にpingを実行できます。

最新問題: **107**
オンプレミスネットワークをお持ちです。
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	None
VM1	Virtual machine	Connected to Vnet1
VM2	Virtual machine	Connected to Vnet1
SQL1	Azure SQL Database	Internet accessible

サブスクリプション内のリソースにアクセスするには、ExpressRoute サーキットを実装する必要があります。ソリューションは、オンプレミスネットワークが ExpressRoute サーキットを使用して Azure リソースに接続できるようにする必要があります。

各接続にはどのタイプのピアリングを使用すべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Answer:

Explanation:

最新問題: **108**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
FW1	Azure Firewall Premium	Has a network intrusion detection and prevention system (IDPS) enabled
HP1	Azure Virtual Desktop host pool	All outbound traffic from HP1 to the subscription's resources route through FW1
Server1	Virtual machine	Hosts an application named App1
KV1	Azure Key Vault	*None*

HP1のユーザーは、https://app1.contoso.comというURLを使用してApp1に接続します。
FW1上のIDPSが、HP1からServer1への接続におけるセキュリティ上の脅威を特定できることを確認する必要があります。
どの2つの行動をとるべきでしょうか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
A. FW1 の TLS インスペクションを有効にします。
B. サーバー証明書をKV1にインポートします。
C. FW1 の脅威インテリジェンスを有効にします。
D. HP1にアプリケーショングループを追加します。
E. FW1にセキュアな仮想ネットワークを追加します。
Answer: A,B (メーッセージを残す)
ファイアウォールは、IDSがトラフィックを検査できるように、トラフィックを復号化できる必要があります。そのためには、TLS検査を有効にし、証明書のコピーを保存する必要があります。
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/firewall/premium-certificates
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/firewall/premium-features#tls-inspection

最新問題: **109**
ホットスポットに関する質問
あなたは、次の表に示すリソースを含む Azure Front Door のデプロイを計画しています。

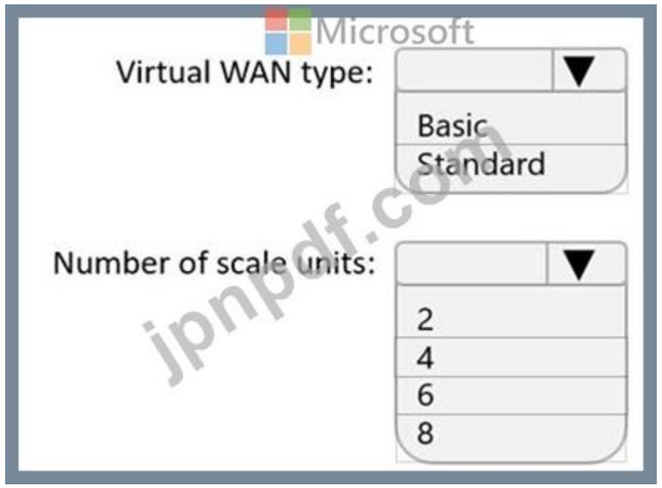
Name	Type
ASP93	App Service plan
Webapp93.azurewebsites.net	App Service
FD93.azurefd.net	Front Door

ユーザーは、以下のURLを使用してFront Door経由でApp Serviceに接続します。
https://www.fabrikam.com
あなたはホスト名www.fabrikam.comの証明書を取得します。
www.fabrikam.com の DNS レコードを設定し、証明書を Azure にアップロードする必要があります。
どうすればよいですか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

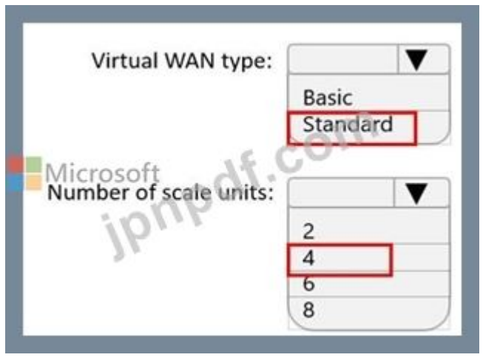
Answer:

Explanation:
https://learn.microsoft.com/en-us/azure/frontdoor/front-door-custom-domain-https

最新問題: **110**
Azure Virtual WANをデプロイする予定です。
以下の要件を満たす仮想WANハブをデプロイする必要があります。
サイト間VPN接続を使用して仮想WANハブに接続する10サイトをサポートします。8GbpsのExpressRouteトラフィックをサポートします。コストを最小限に抑えます。何を構成する必要がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

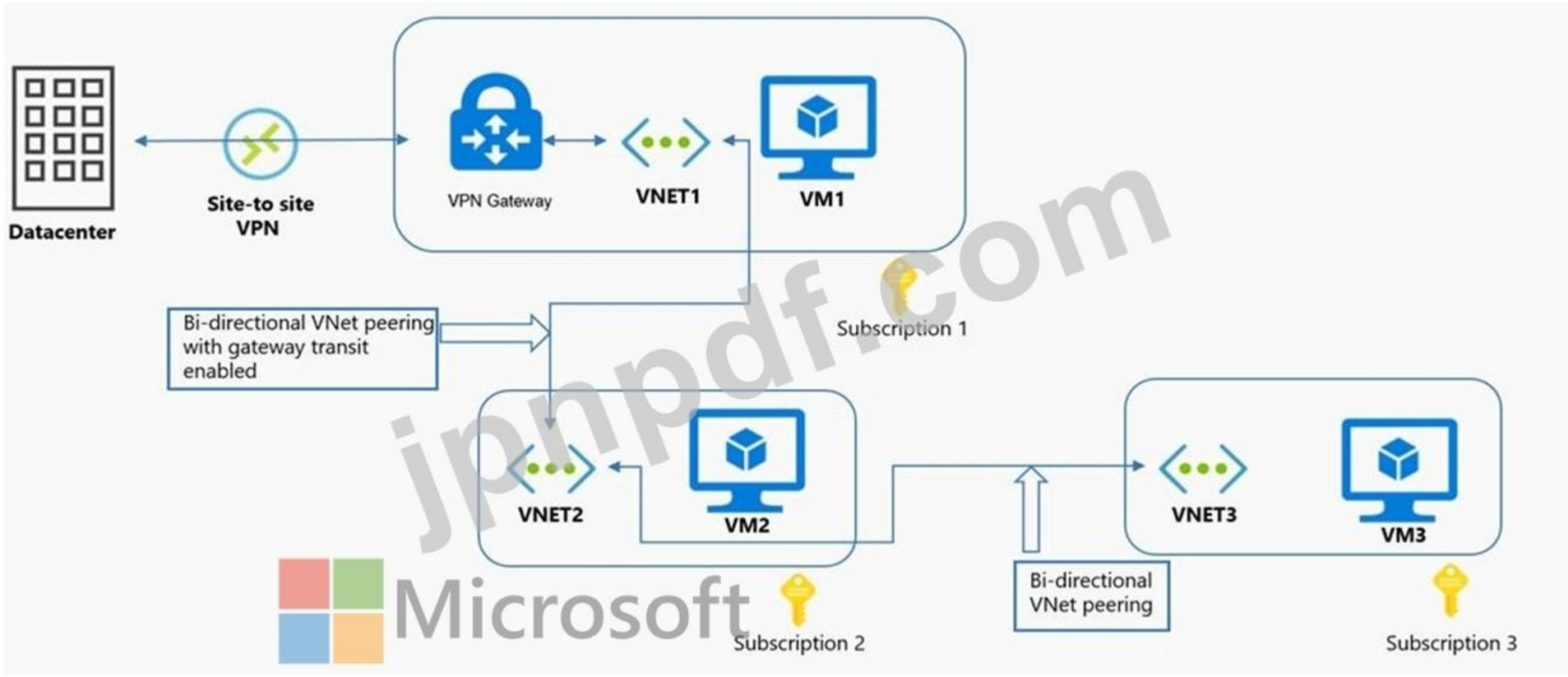


Answer:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/virtual-wan-about

最新問題**: 111**
次の図に示すようなAzure環境があります。



図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューを使用して選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

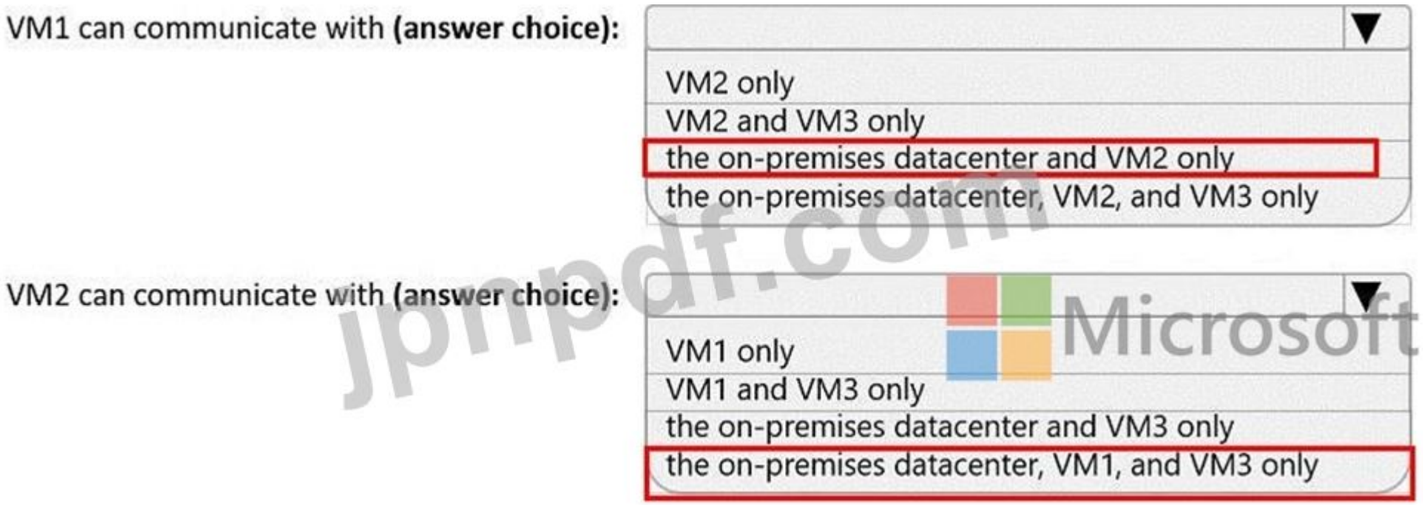
VM1 can communicate with **(answer choice):**

- VM2 only
- VM2 and VM3 only
- the on-premises datacenter and VM2 only
- the on-premises datacenter, VM2, and VM3 only

VM2 can communicate with **(answer choice):**

- VM1 only
- VM1 and VM3 only
- the on-premises datacenter and VM3 only
- the on-premises datacenter, VM1, and VM3 only

Answer:



参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/vpn-gateway/vpn-gateway-peering-gateway-transit?toc=/azure/virtual-network/toc.json
https://docs.microsoft.com/en-ca/azure/virtual-network/ip-services/ipv6-overview#capabilities

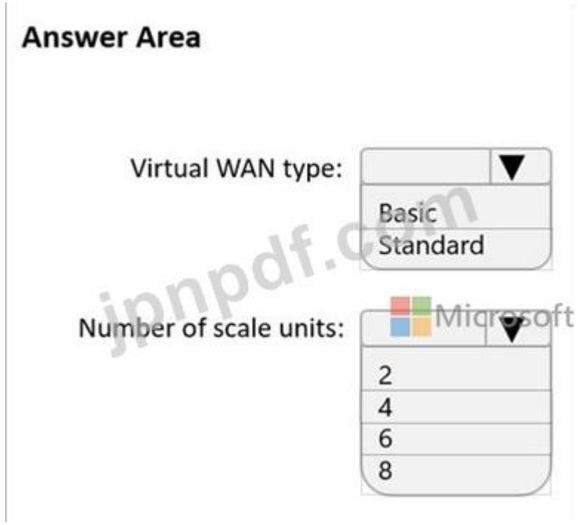
最新問題: **112**
お客様は、以下の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。

Name	Type	Description
App1	Azure App Service	A web app
Gateway1	Azure Application Gateway	includes an SSL certificate that has a subject name of *.contoso.com

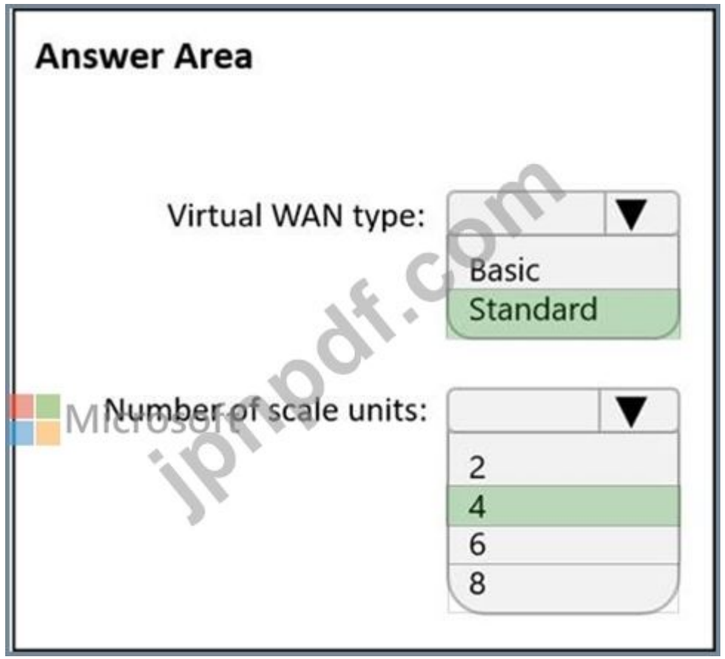
ゲートウェイ1
http://app1.contoso.com という URL を使用することで、App1 にアクセスできます。
App2という名前の新しいWebアプリを作成します。
管理作業を最小限に抑えるために、Gateway1を設定する必要があります。
Gateway1では何を設定すればよいですか？
A. バックエンドプールとルーティング
B. リスナー、バックエンドプール、およびルール
C. リスナーとルーティングルール
D. リスナーとバックエンドプール
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **113**
ホットスポットに関する質問
Azure Virtual WANをデプロイする予定です。

以下の要件を満たす仮想WANハブをデプロイする必要があります。
- サイト間VPN接続を使用して仮想WANハブに接続する10サイトをサポートします
- 8GbpsのExpressRouteトラフィックをサポート
コストを最小限に抑える
何を設定すればよいですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



Explanation:

ボックス1：標準
基本的な仮想WANはサイト間VPNのみをサポートします
標準仮想WANサポート
エクスプレスルート
ユーザーVPN（P2S）
VPN（サイト間接続）
仮想ハブを経由するハブ間およびVNet間通信
Azure Firewall
仮想WANにおけるNVA
ボックス2：4
8ギガ エクスプレス ルート。ER スケール ユニットあたり 2 GB。したがって、スケール ユニット数 = 8/2 = 4 エクスプレス ルート スケール ユニットと接続性: VPN スケール ユニットの概念と同様に、仮想 WAN ハブにエクスプレス ルート接続を導入しようとする顧客は、そのハブにプロビジョニングされたスケール ユニットに対してコストが発生します。オプションは 1 ～ 10 で、それぞれが を表します。
2GbpsのERスループット。
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-wan/virtual-wan-about
https://www.wwt.com/article/microsoft-azure-virtual-wan-cloud-networking-architecture

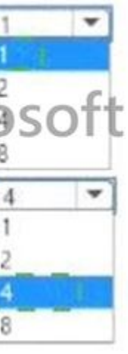
最新問題: **114**
お客様は、Appl という名前のアプリを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。App1 は、次の表に示す Azure App Service アプリにデプロイされています。

Name	Location	Worker instances
App1-East	East US 1	4
App1-West	West US 1	4

Azure Front Door を使用して App1 を公開する必要があります。ソリューションは、App1 へのすべてのリクエストが、利用可能なすべてのワーカー インスタンス間で負荷分散されるようにする必要があります。
設定すべきオリジングループとオリジンの最小数はいくつですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
Answer Area

Answer:

Answer Area

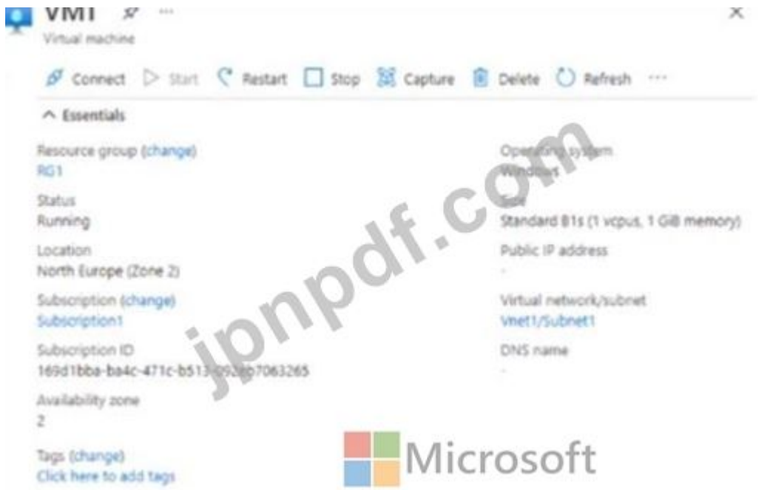


Explanation:

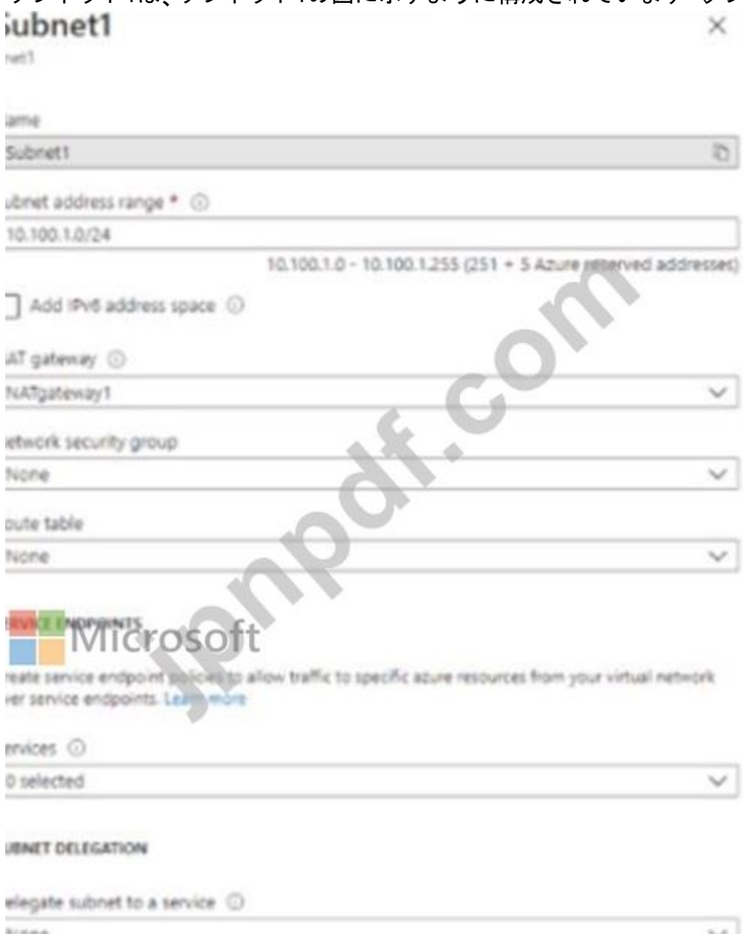
最新問題: **115**

Vnet1 という名前の Azure 仮想ネットワークがあり、その中に Subnet1 と Subnet2 という名前の 2 つのサブネットがあります。NAT ゲートウェイは、NATgateway1 の図に示されています (NATgateway1 タブをクリックしてください)。

VM1の図に示されている仮想マシンがあります (VM1タブをクリックしてください)。



サブネット1は、サブネット1の図に示すように構成されています サブネット1タブをクリックしてください)。



以下の各記述について、記述が正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

Answer:

Explanation:

はい、はい、いいえ

最新問題: **116**

お客様のAzureサブスクリプションには、FWP1という名前のAzure Firewall Premiumポリシーが含まれています。

FWP1には、以下の表に示すルールコレクションを追加する予定です。

各ルールコレクションにはどの優先度を割り当てるべきでしょうか？回答するには、適切な優先度値を正しいルールコレクションにドラッグしてください。各値は、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

説明

最新問題: 117

お客様は、contoso.onmicrosoft.com という名前の Azure Active Directory (Azure AD) テナントにリンクされた Azure サブスクリプションをお持ちです。このサブスクリプションには、次のリソースが含まれています。

* App1という名前のAzure App Serviceアプリ
* contoso.com という名前の Azure DNS ゾーン
* private.contoso.com という名前の Azure プライベート DNS ゾーン
* Vnet1という名前の仮想ネットワーク

App1 用のプライベートエンドポイントを作成します。エンドポイントのレコードは Azure DNS に自動的に登録されます。

プライベートエンドポイント用にAzure DNSに登録されている名前を開発者に伝える必要があります。

何を提供すればよいですか？

A. app1.privatelink.azurewebsites.net

B. app1.contoso.com

C. app1.contoso.onmicrosoft.com

D. app1.private.contoso.com

Answer: (解答を表示する**)**

トピック2、Litware. Inc.

概要

Litware. Inc.は、ボストンに主要データセンターを持ち、全米に20の支店を展開する金融会社です。ユーザーはAndroid、iOS、Windows 10搭載デバイスを使用しています。

既存環境：

ハイブリッド環境

オンプレミスネットワークには、litwareinc.com という名前の Active Directory フォレストがあり、Azure AD Connect を使用して litwareinc.com という名前の Azure Active Directory (Azure AD) テナントと同期します。

すべてのオフィスは、サイト間VPN接続を使用して、Vnetlという仮想ネットワークに接続します。

Azure環境

Litwareは、litwareinc.comのAzure ADテナントにリンクされたSub1という名前のAzureサブスクリプションを所有しています。Sub1には、次の表に示すように、米国東部Azureリージョン内のリソースが含まれています。

Name	Type	Description
Vnet1	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.0.0/20
GatewaySubnet	Virtual network subnet	Located in Vnet1 and uses an IP address space of 192.168.15.128/29
VPNGW1	VPN gateway	Deployed to Vnet1
Vnet2	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.16.0/20
SubnetA	Virtual network subnet	Located in Vnet2 and uses an IP address space of 192.168.16.0/24
Vnet3	Virtual network	Uses an IP address space of 192.168.32.0/20
cloud.litwareinc.com	Private DNS zone	**None**
VMScaleSet1	Virtual machine scale set	Contains four virtual machines deployed to SubnetA
VMScaleSet2	Virtual machine scale set	Contains two virtual machines deployed to SubnetA
storage1	Storage account	Has the public endpoint blocked
storage2	Storage account	Has the public endpoint blocked

Vnet1とVnet2の間には双方向ピアリングが確立されています。Vnet1とVnet3の間にも双方向ピアリングが確立されています。現在、Vnet2とVnet3は直接通信できません。

要件：

ビジネス要件

Litwareは、他のすべての要件が満たされている限り、可能な限りコストを最小限に抑えたいと考えています。

仮想ネットワークの要件

Litwareは、以下の仮想ネットワーク要件を特定しています。

* Vnet2 および Vnet3 上の 0.0.0.0/0 のデフォルトルートを ExpressRoute 回線経由でボストンのデータセンターにルーティングします。
* cloud.litwareinc.com ゾーン内のレコードがオンプレミスの場所から解決できることを確認してください。
* Azure仮想マシンのDNS名をcloud.litwareinc.comゾーンに自動的に登録します。

プラットフォーム管理サービスに割り当てられるサブネットのサイズを最小限に抑える。

* VMScaleSet1からVMScaleSet2へのトラフィックは、TCPポート443のみで許可します。

ハイブリッドネットワークの要件

Litwareは、以下のハイブリッドネットワーク要件を特定しています。

リモートワークを行う際は、ユーザーはポイントツーサイト（P2S）VPNを使用してVnet1に接続できる必要があります。接続はAzure ADによって認証される必要があります。

ボストンのデータセンターとすべての仮想ネットワーク間のトラフィックの遅延を最小限に抑える必要がある。

* ボストンのデータセンターは、ExpressRoute FastPath接続を使用してAzure仮想ネットワークに接続する必要があります。
* Vnet2とVnet3間のトラフィックは、Vnet1を経由してルーティングされなければなりません。

PaaSネットワーク要件

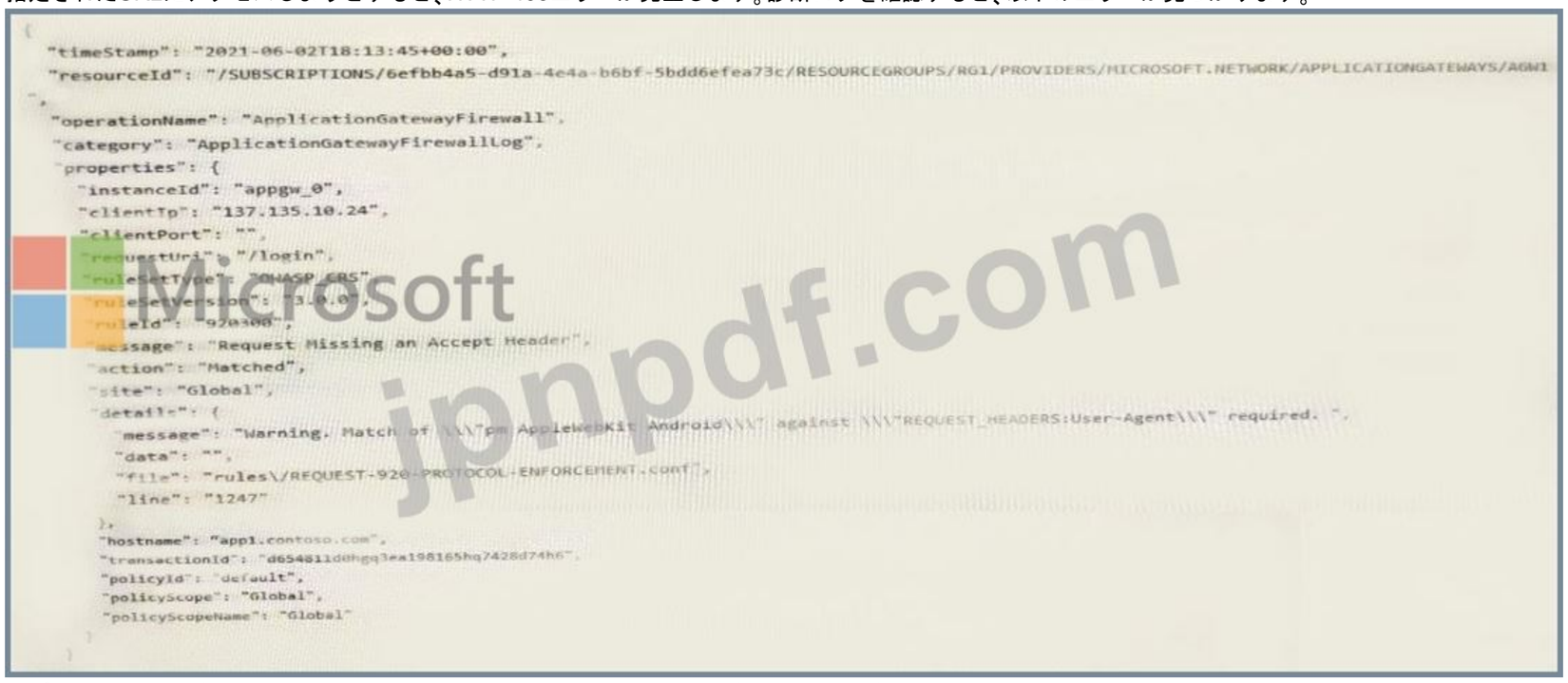
Litwareは、プラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）に必要なネットワーク要件として、以下の項目を挙げています。

* storage1アカウントは、storage1のパブリックエンドポイントを公開することなく、オンプレミスのすべての場所からアクセスできる必要があります。
* storage2アカウントは、storage2のパブリックエンドポイントを公開することなく、Vnet2およびVnet3からアクセス可能である必要があります。

最新問題: **118**

注 :この問題は、同じシナリオを提示する一連の問題の一部です。このシリーズの各問題には、提示された目標を満たす可能性のある独自の解答が含まれています。問題セットによっては、複数の正解がある場合もあれば、正解がない場合もあります。

このセクションの質問に回答すると、後から戻って回答することはできません。そのため、これらの質問は復習画面には表示されません。
Azure Web Application Firewall (WAF) が有効になっている Azure アプリケーション ゲートウェイがあります。
アプリケーションゲートウェイを設定して、トラフィックをアプリケーションゲートウェイのURLに転送するようにします。
指定されたURLにアクセスしようとすると、HTTP 403エラーが発生します。診断ログを確認すると、以下のエラーが見つかります。



アプリケーションゲートウェイ経由でそのURLにアクセスできることを確認する必要があります。
解決策 :カスタムクッキーと除外ルールを設定します。
これは目標を達成していると言えるでしょうか？
A. はい
B. いいえ
Answer: A (メーッセージを残す)

最新問題: **119**
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

最新問題: **120**

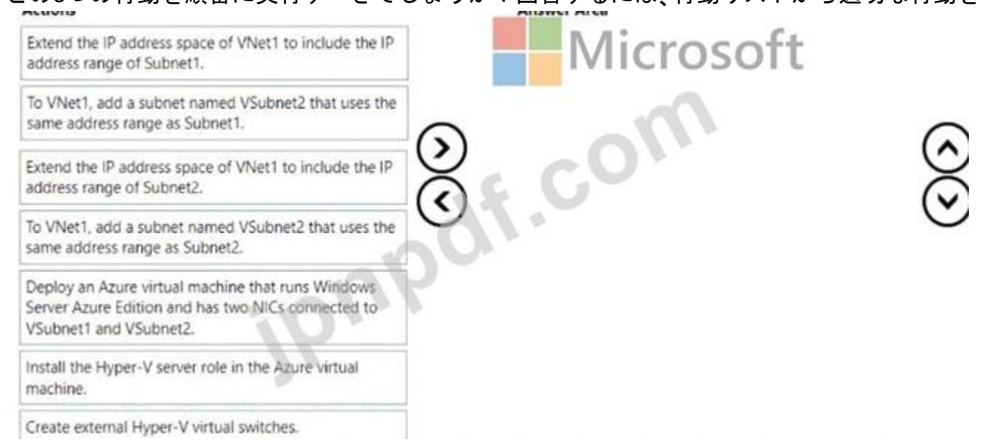
お客様のオンプレミスネットワークには、Subnet1とSubnet2という2つのサブネットがあります。Subnet2には、VM1とVM2という2つの仮想マシンを含むHyper-Vホストがあります。VM1とVM2はSubnet2に接続されています。

VNet1という名前のAzure仮想ネットワークがあり、その中にGatewaySubnetとVSubnet1という名前のサブネットが含まれています。VNet1は、サイト間VPN接続を使用してオンプレミスネットワークに接続されています。

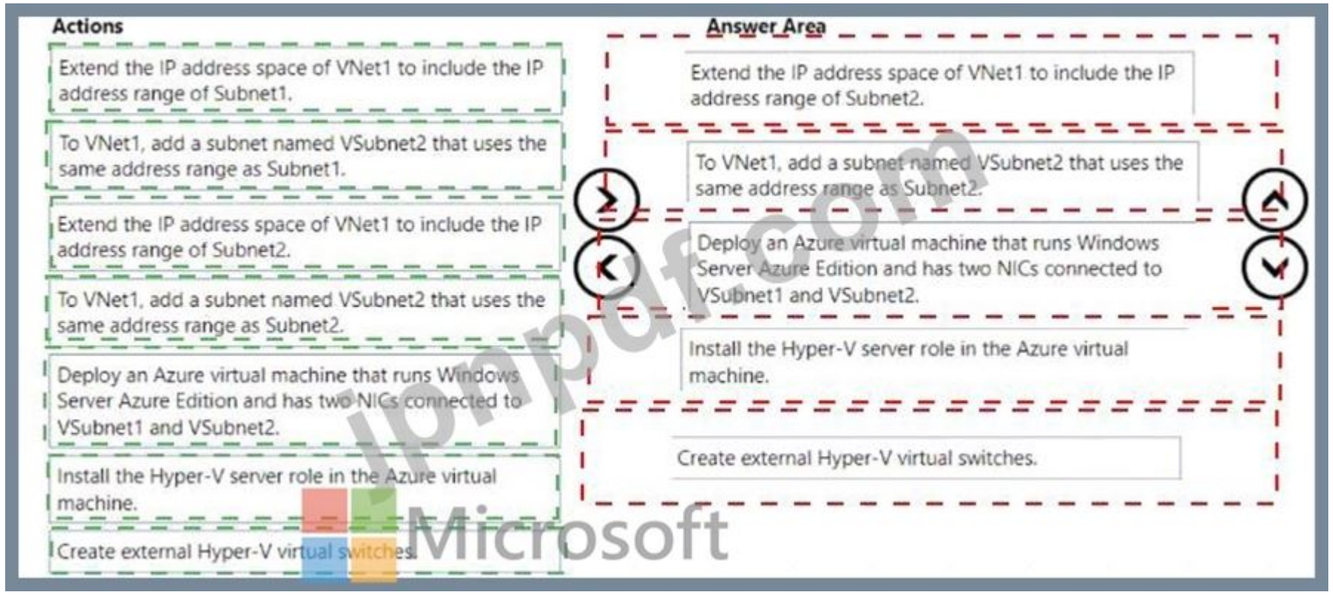
VM1をVNet1に移行し、VM1の既存のIPアドレスを維持する予定です。VM2はSubnet2に残ります。

移行完了後、VM1とVM2が通信できるように環境を準備する必要があります。

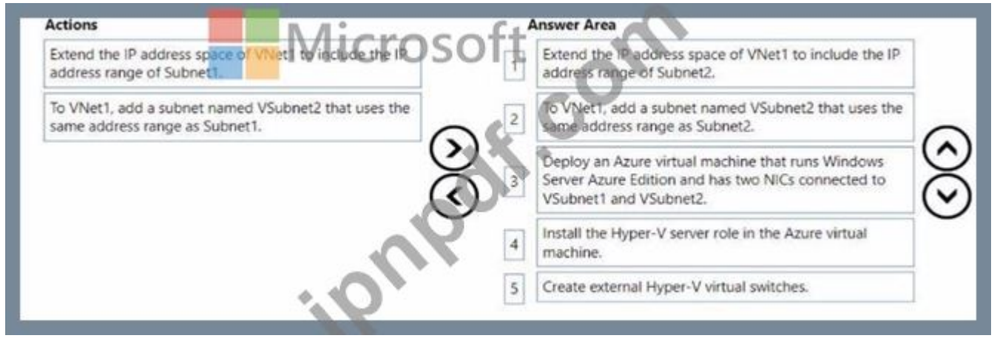
どの5つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



Explanation:



最新問題: **121**

Vnet1という名前のAzure仮想ネットワークがあり、そのサブネットは1つです。Vnet1は西ヨーロッパのAzureリージョンにあります。

App1という名前のAzure App Serviceアプリを西ヨーロッパリージョンにデプロイします。

App1にVnet1内のリソースへのアクセス権を付与する必要があります。ソリューションはコストを最小限に抑えるものでなければなりません。

まず最初に何をすべきでしょうか？

A. プライベートリンクを作成します。

B. 新しいサブネットを作成します。

C. NATゲートウェイを作成します。

D. ゲートウェイサブネットを作成し、仮想ネットワークゲートウェイをデプロイします。

Answer: D (メーッセージを残す)

参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/web-sites-integrate-with-vnet

最新問題: **122**

お客様は、Appl という名前のアプリを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。App1 は、次の表に示す Azure App Service インスタンス上でホストされています。

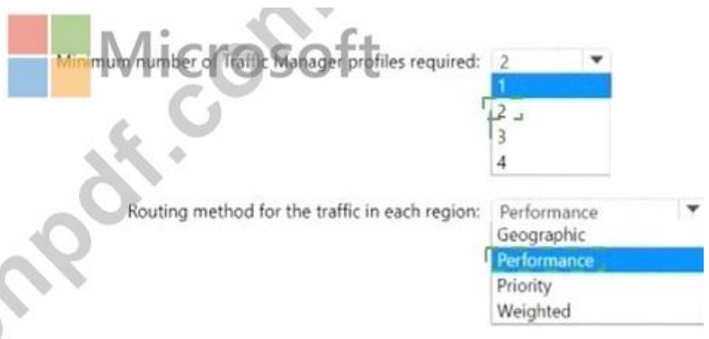
Name	Location
AppSrv1	East US
AppSrv2	East US
AppSrv3	North Europe
AppSrv4	North Europe

以下の要件を満たすには、Azure Traffic Manager を導入する必要があります。

* App1 のトラフィックは、各 Azure リージョン内の各 App Service インスタンスに均等に割り当てられる必要があります。
* 北ヨーロッパからのApp1トラフィックは、北ヨーロッパリージョンのApplインスタンスにルーティングされる必要があります。
* 北米からの App1 トラフィックは、米国東部 Azure リージョンの Appl インスタンスにルーティングする必要があります。

Answer:

Answer Area



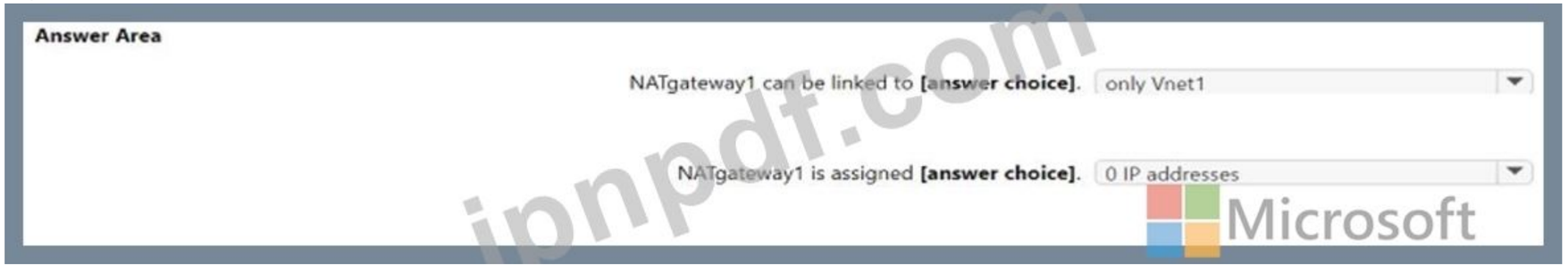
最新問題: **123**
PowerShell を使用して、internWorkspaces という名前のリソース グループ内にある、internWorkspace という名前の既存のワークスペースを取得する必要があります。以下のどのコマンドレットを使用しますか？
A. Get-AzNetworkSecurityGroup
B. Get-AzOperationalInsightsWorkspace
C. Retrieve-AzOperationalInsightsWorkspace
D. Get-AzWorkspace
E. New-AzOperationalInsightsWorkspace。
Answer: B (メーッセージを残す**)**
Explanation:既存の Log Analytics ワークスペースは、Get-AzOperationalInsightsWorkspace コマンドレットを使用して取得できます。たとえば、internWorkspaces という名前のリソース グループ内の internWorkspace という名前の既存のワークスペースを取得するには、以下のコマンドを使用します。
$Oms=Get-AzOperationalInsightsWorkspace `
-ResourceGroupName internWorkspaces `
-インターンシップ先の名前と勤務先
オプションAは誤りです。Get-AzNetworkSecurityGroupコマンドレットは、リソースログを有効にするネットワークセキュリティグループ (NSG) を取得するために使用されます。
オプションBが正解です。既存のLog Analyticsワークスペースは、Get-AzOperationalInsightsWorkspaceコマンドレットを使用して取得できます。
オプションCは誤りです。Retrieve-AzOperationalInsightsWorkspaceは適切なコマンドレットではありません。
オプションDは誤りです。Get-AzWorkspaceは、既存のログ分析ワークスペースを取得するための適切なコマンドではありません。
オプションEは誤りです。新しいワークスペースを作成するには、new-AzOperationalInsightsWorkspaceコマンドレットを使用します。
参照：
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-network-nsg-manage-log?WT.mc_id=modinfra-33046-thmaure

最新問題: **124**
Vnet1 という名前の Azure 仮想ネットワークがあり、その中に Subnet1 と Subnet2 という名前の 2 つのサブネットがあります。どちらのサブネットにも仮想マシンが含まれています。次の図に示すように、NATgateway1 という名前の NAT ゲートウェイを作成します。

図に示された情報に基づいて、各記述を完成させる選択肢をドロップダウンメニューから選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

Explanation:



最新問題: **125**

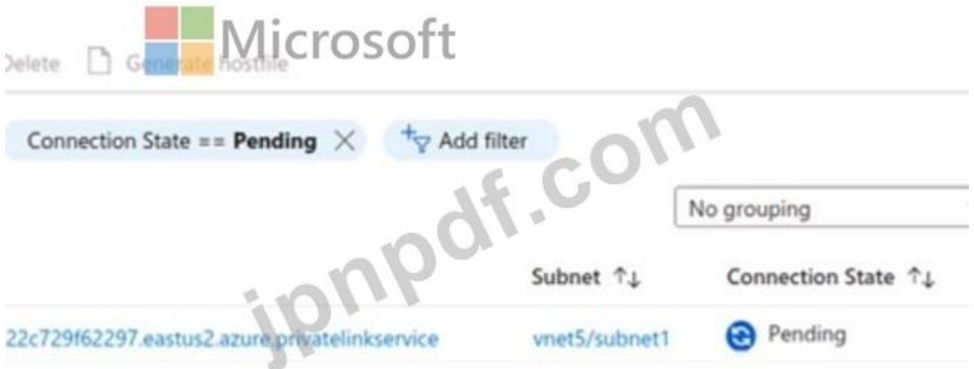
Subscription1とSubscription2という名前のAzureサブスクリプションが2つあります。

2つのサブスクリプション内の仮想ネットワーク間には接続がありません。

プライベートリンクサービスは、図 privatelinkservice1 に示すように構成します。（privatelinkservice1 タブをクリックしてください。）

Subscription1でロードバランサー名を作成し、lb1の図に示すバックエンドプールを設定します。
（lb1タブをクリックしてください。）

プライベートエンドポイント4の図に示すように、Subscription2でプライベートエンドポイントを作成します。（privateendpoint4をクリックしてください）



以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

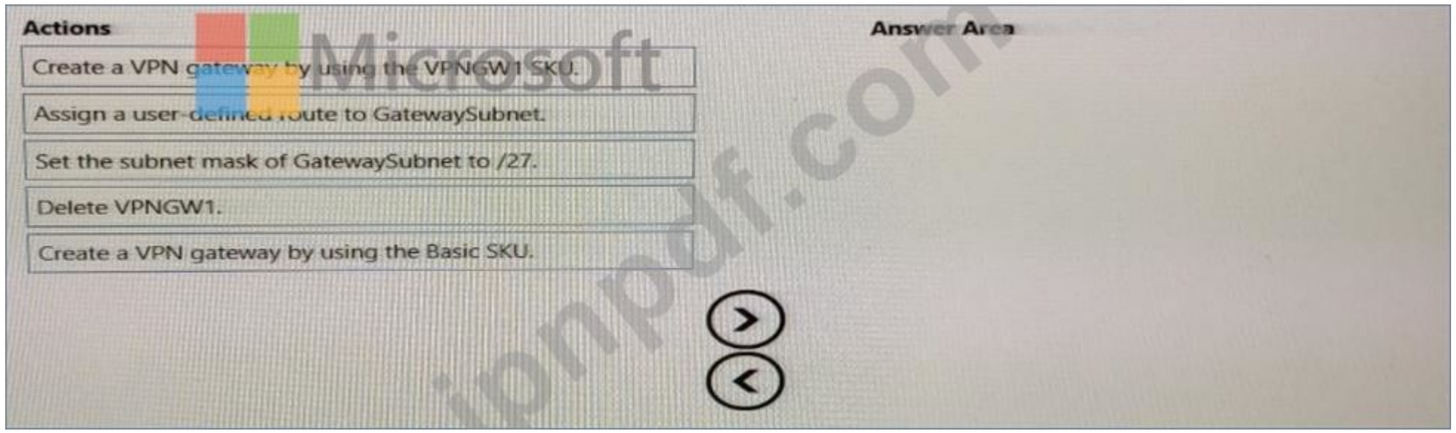
Statements	Yes	No
The resources that will be accessed by using privatelinkservice1 must be added to backendpool1 on LB1.	○	○
Users in Subscription2 can connect to the resources published by privatelinkservice1 by using IP address 10.3.0.7.	○	○
The private endpoint must be approved by an administrator in Subscription1.	○	○

Answer:

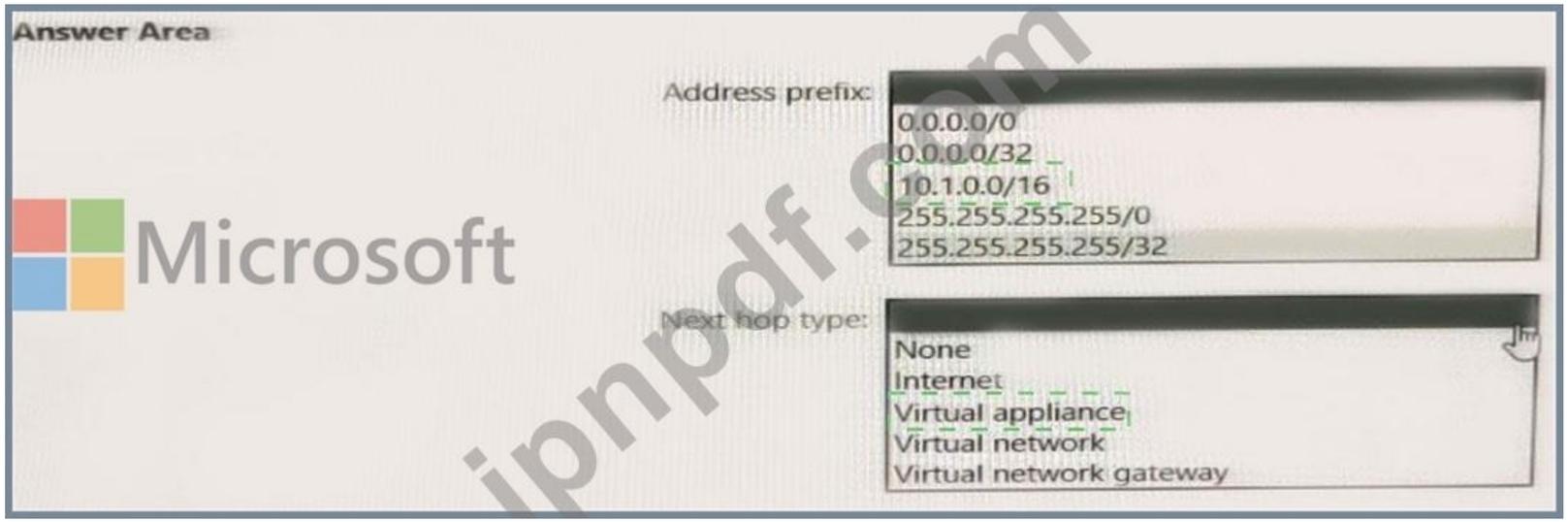
Statements	Yes	No
The resources that will be accessed by using privatelinkservice1 must be added to backendpool1 on LB1.	○	○
Users in Subscription2 can connect to the resources published by privatelinkservice1 by using IP address 10.3.0.7.	○	○
The private endpoint must be approved by an administrator in Subscription1.	○	○

Explanation:
はい、はい、いいえ

最新問題**: 126**
ExpressRouteゲートウェイを導入するために、Vnet1を準備する必要があります。このソリューションは、ハイブリッド接続要件とビジネス要件の両方を満たす必要があります。
Vnet1に対して、どの3つのアクションを順番に実行すべきでしょうか？回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。



Answer:



最新問題: **127**

次の表に示すように、米国東部Azureリージョンにおける Azure仮想ネットワークは以下のとおりです。

Name	IP address space
Vnet1	192.168.0.0/20
Vnet2	10.0.0.0/20

仮想ネットワークは相互にピアリング接続されています。各仮想ネットワークは4つのサブネットで構成されています。

あなたは、両方の仮想ネットワーク上のすべてのサブネット間のトラフィックを検査およびルーティングするVM1という名前の仮想マシンをデプロイする予定です。

VM1に割り当てる必要があるIPアドレスの最小数はいくつですか？

A. 4

B. 2

C. 1

D. 8

Answer: C (メーッセージを残す)

最新問題: **128**
お客様は、Appl という名前のアプリを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。App1 は、次の表に示す Azure App Service アプリにデプロイされています。

Name	Location	Worker instances
App1-East	East US 1	4
App1-West	West US 1	4

Azure Front Door を使用して App1 を公開する必要があります。ソリューションは、App1 へのすべてのリクエストが、利用可能なすべてのワーカー インスタンス間で負荷分散されるようにする必要があります。
設定すべきオリジングループとオリジンの最小数はいくつですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

最新問題: **129**
以下の表に示すAzure Traffic Managerプロファイルが利用可能です。

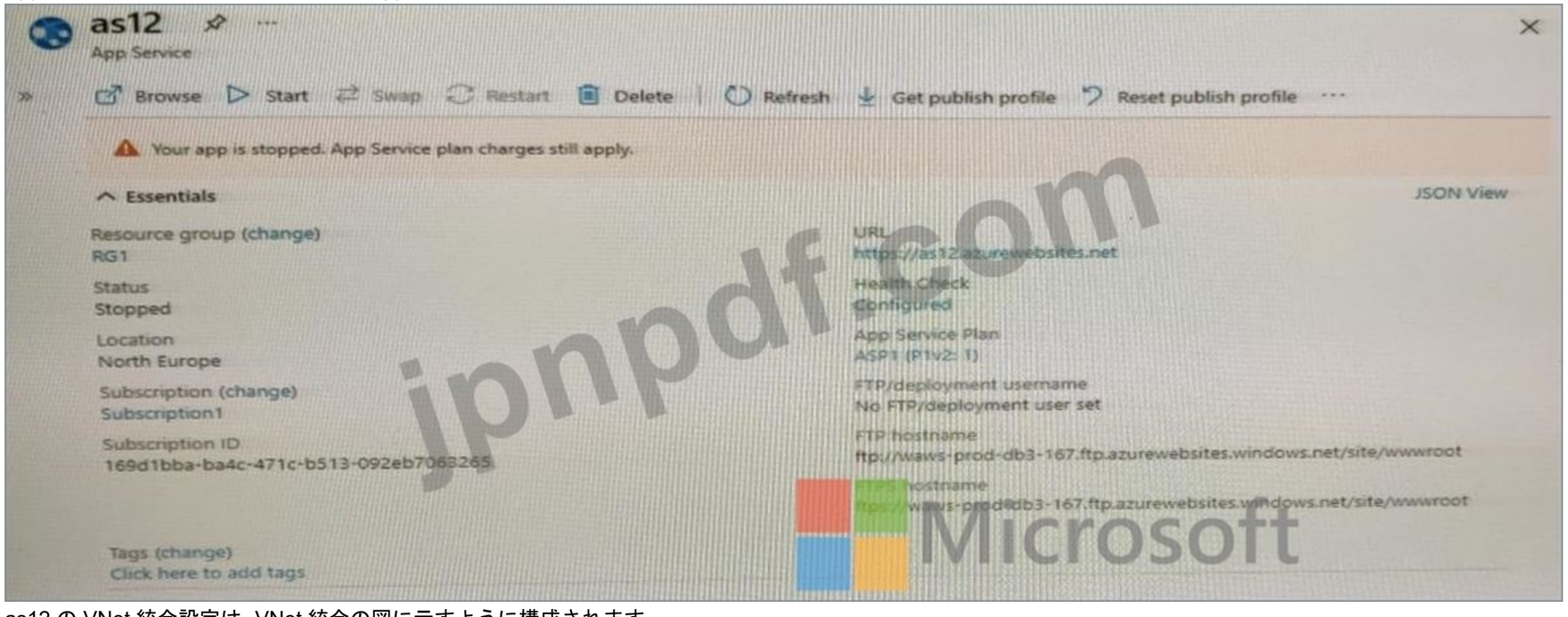
Name	Routing method
Profile1	Performance
Profile2	Multivalue

あなたは、以下の表に示すエンドポイントを追加する予定です。

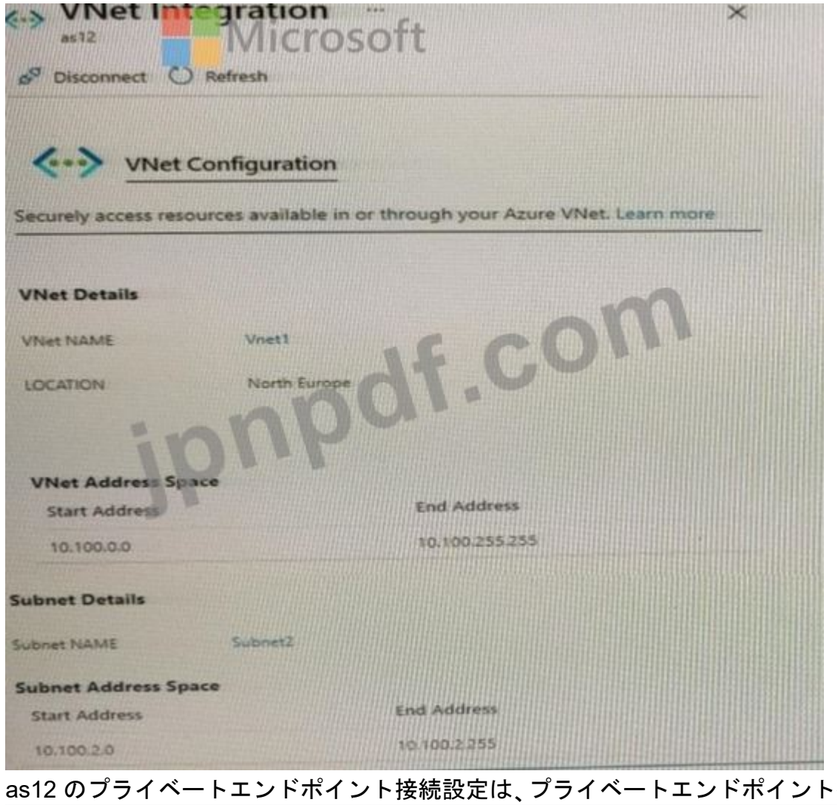
Name	Type	Additional settings
Endpoint1	Azure endpoint	Target resource type: App Service
Endpoint2	External endpoint	FQDN or IP: www.contoso.com
Endpoint3	External endpoint	FQDN or IP: 131.107.10.15
Endpoint4	Nested endpoint	Target resource: Profile1

Profile2に追加できるエンドポイントはどれですか？
A. エンドポイント1とエンドポイント4のみ
B. エンドポイント1、エンドポイント2、エンドポイント3、およびエンドポイント4
C. エンドポイント1のみ
D. エンドポイント2とエンドポイント3のみ
E. エンドポイント3のみ
Answer: E (メーッセージを残す)
マルチバリュー -トラフィックルーティング方式
マルチバリュー -トラフィックルーティング方式では、単一のDNSクエリ応答で複数の正常なエンドポイントを取得できます。この構成により、返されたエンドポイントが応答しない場合に、呼び出し元は他のエンドポイントに対してクライアント側で再試行を行うことができます。このパターンは、サービスの可用性を向上させ、正常なエンドポイントを取得するための新しいDNSクエリに伴う遅延を軽減します。
マルチバリュールーティング方式は、すべてのエンドポイントが 外部」タイプで、IPv4アドレスまたはIPv6アドレスとして指定されている場合にのみ機能します。このプロファイルに対するクエリを受信すると、正常なエンドポイントがすべて返され、設定可能な最大返数に制限されます。
https://docs.microsoft.com/en-us/azure/traffic-manager/traffic-manager-routing-methods#multivalue

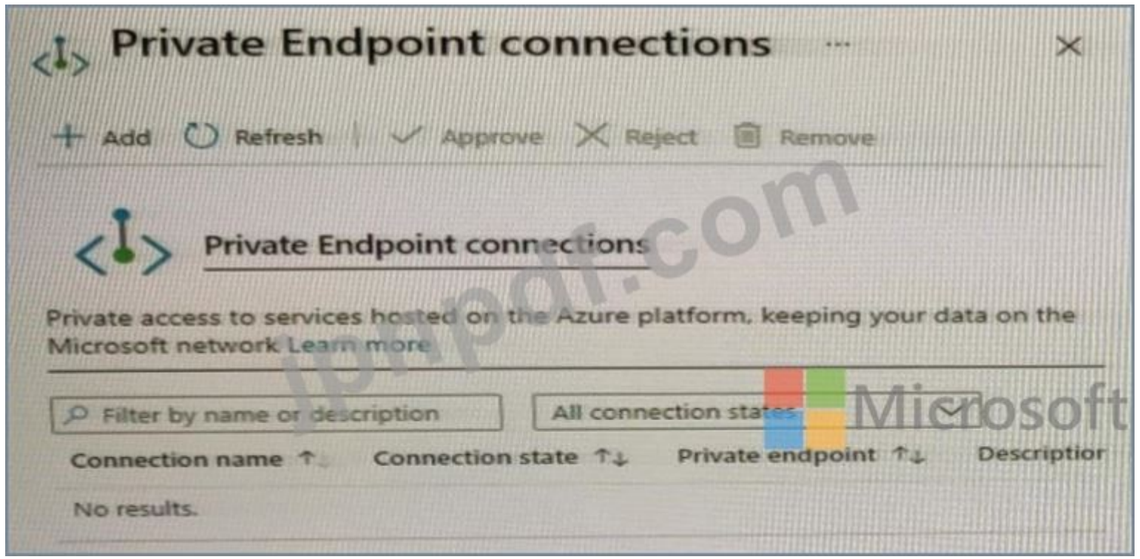
最新問題**: 130**
App Serviceの図に示されているAzure App Serviceアプリがあります。



as12 の VNet 統合設定は、VNet 統合の図に示すように構成されます。

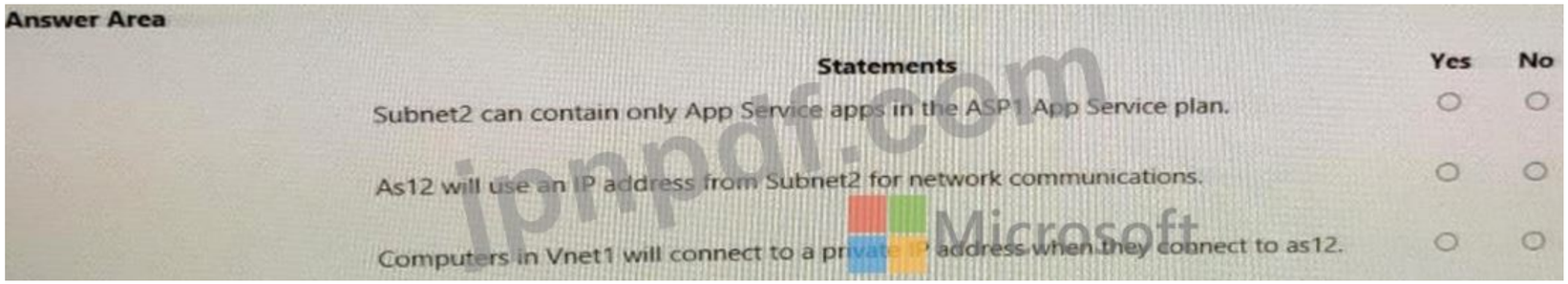


as12 のプライベートエンドポイント接続設定は、プライベートエンドポイント接続の図に示すように構成されます。

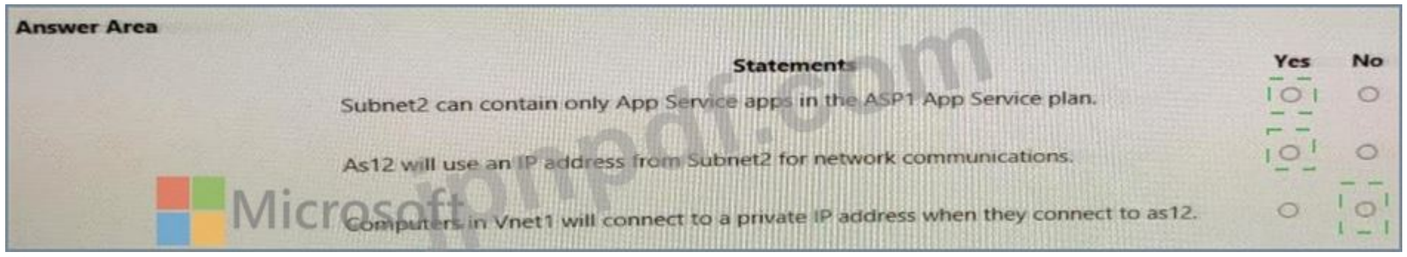


以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



説明

グラフィカルユーザーインターフェース、テキスト、アプリケーションの説明は自動的に生成されます

参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/web-sites-integrate-with-vnet

トピック1、コントソ事例研究2

概要

これはケーススタディです。ケーススタディには個別の時間制限はありません。各ケースを完了するために、試験時間を自由に使うことができます。ただし、この試験には追加のケーススタディやセクションが含まれる場合があります。与えられた時間内に試験に含まれるすべての問題を完了できるよう、時間配分をしっかり行う必要があります。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、ケーススタディに記載されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する図表やその他の資料が含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディ内の他の質問とは独立しています。

このケーススタディの最後に、確認画面が表示されます。この画面では、解答を確認し、次のセクションに進む前に修正することができます。新しいセクションを開始すると、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、 次へ」ボタンをクリックしてください。質問に答える前に、左側のペインにあるボタンを使ってケーススタディの内容を確認してください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存環境、問題記述などの情報が表示されます。ケーススタディに すべての情報」タブがある場合、表示される情報は以降のタブに表示される情報と同一であることに注意してください。質問に答える準備ができたら、 質問」ボタンをクリックして質問に戻ってください。

既存環境：

Azure Network Infrastructure

Contosoは、contoso.comという名前のAzure Active Directory（Azure AD）テナントを所有しています。
Azure サブスクリプションには、次の表に示す仮想ネットワークが含まれています。

Name	Resource group	IP address space	Location	Peered with
Vnet1	RG1	10.1.0.0/16	West US	Vnet2, Vnet3
Vnet2	RG1	172.16.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet3, Vnet4
Vnet3	RG2	192.168.0.0/16	Central US	Vnet1, Vnet2
Vnet4	RG2	10.10.0.0/16	West US	Vnet2
Vnet5	RG3	10.20.0.0/16	East US	None

Vnet1には、GW1という名前の仮想ネットワークゲートウェイが含まれています。
Azure仮想マシン
Azure サブスクリプションには、次の表に示すように、Windows Server 2019 を実行する仮想マシンが含まれています。

Name	Connected to	Network security group (NSG)
VM1	Vnet1/Subnet1	NSG1
VM2	Vnet1/Subnet2	NSG2
VM3	Vnet2/Default	NSG3
VM4	Vnet3/Default	NSG4
VM5	Vnet4/SubnetA	NSG5

NSGは仮想マシンのネットワークインターフェースに関連付けられています。各NSGには、インターネットからのRDP接続を許可するカスタムセキュリティルールが1つずつ設定されています。各仮想マシンのファイアウォールはICMPトラフィックを許可します。
ASG1という名前のアプリケーションセキュリティグループが、VM1のネットワークインターフェースに関連付けられています。
AzureプライベートDNSゾーン
Azure サブスクリプションには、次の表に示す Azure プライベート DNS ゾーンが含まれています。

Name	Location
zone1.contoso.com	Central US
zone2.contoso.com	West US

Zone1.contoso.comには、以下の表に示す仮想ネットワークリンクがあります。

Name	Virtual network	Auto registration
Link1	Vnet2	No
Link2	Vnet3	Yes

その他のAzureリソース
Azure サブスクリプションには、次の表に示すような追加リソースが含まれています。

Name	Type	Location
DB1	Azure SQL Database	West US
storage1	Azure Storage account	West US
Registry1	Azure Container Registry	Central US
KeyVault1	Azure Key Vault	Central US

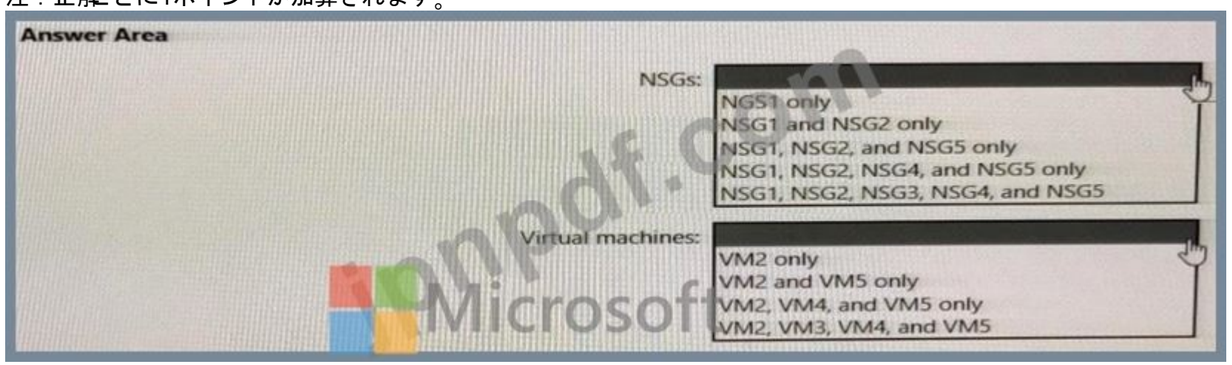
要件：
仮想ネットワークの要件
Contosoには、以下の仮想ネットワーク要件があります。
* 米国西部に、以下のリソースと構成を含むVnet6という名前の仮想ネットワークを作成します。
Vnet6に接続する2つのコンテナグループ
Vnet6に接続する3台の仮想マシン
VPN接続をVnet6に確立できるようにする
Vnet6 のリソースが Microsoft バックボーン ネットワーク経由で KeyVault1、DB1、および Vnet1 にアクセスできるようにする
* Vnet4とVnet5内の仮想マシンは、Microsoftのバックボーンネットワークを介して通信できる必要があります。
* VM-Analyzeという名前の仮想マシンがSubnet1にデプロイされます。VM-Analyzeは、Subnet2からインターネットへの送信ネットワークトラフィックを検査する必要があります。
ネットワークセキュリティ要件
Contosoには以下のネットワークセキュリティ要件があります。
* ポイントツーサイト (P2S) VPN ユーザー向けに Azure Active Directory (Azure AD) 認証を構成します。
* NSG3およびNSG4のNSGフローログを有効にする。
* Vnet1/Subnet1に関連付けられ、次の表に示すカスタム受信セキュリティルールを持つNSG10という名前のNSGを作成します。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
500	3389	TCP	10.1.0.0/16	Any	Deny
1000	Any	ICMP	10.10.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

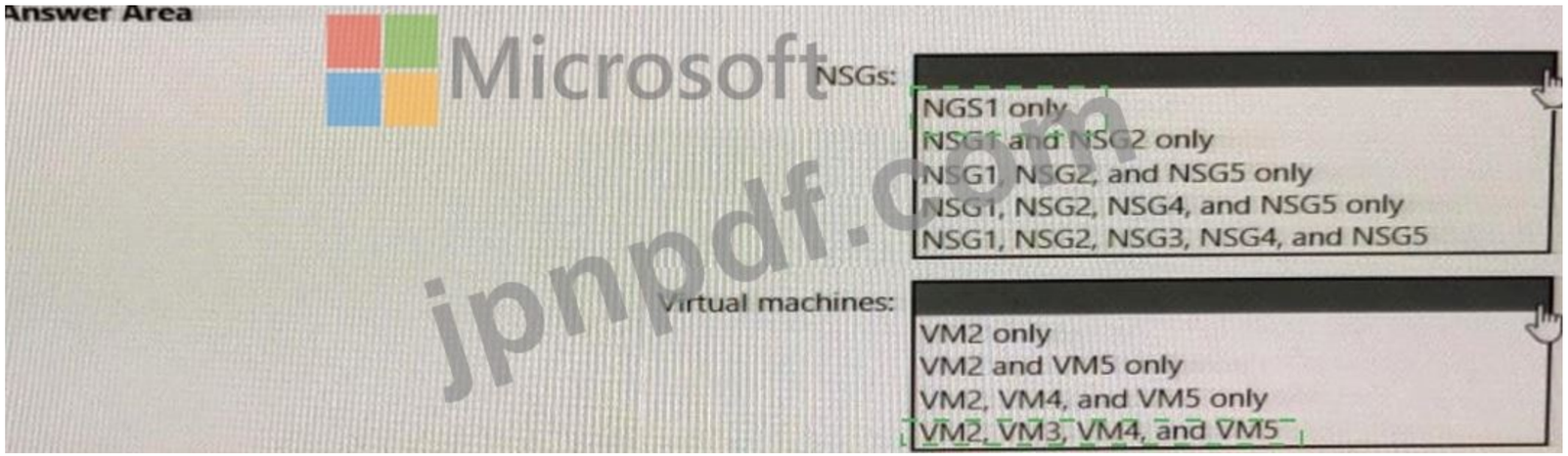
* Vnet1/Subnet2に関連付けられ、次の表に示すカスタム送信セキュリティルールを持つNSG11という名前のNSGを作成します。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
200	3389	TCP	10.1.0.0/16	VirtualNetwork	Deny

最新問題: **131**
ASG1はどのNSGで使用できますか？また、ASG1はどの仮想マシンのネットワークインターフェイスに関連付けることができますか？
回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer:



説明

NGS1のみ

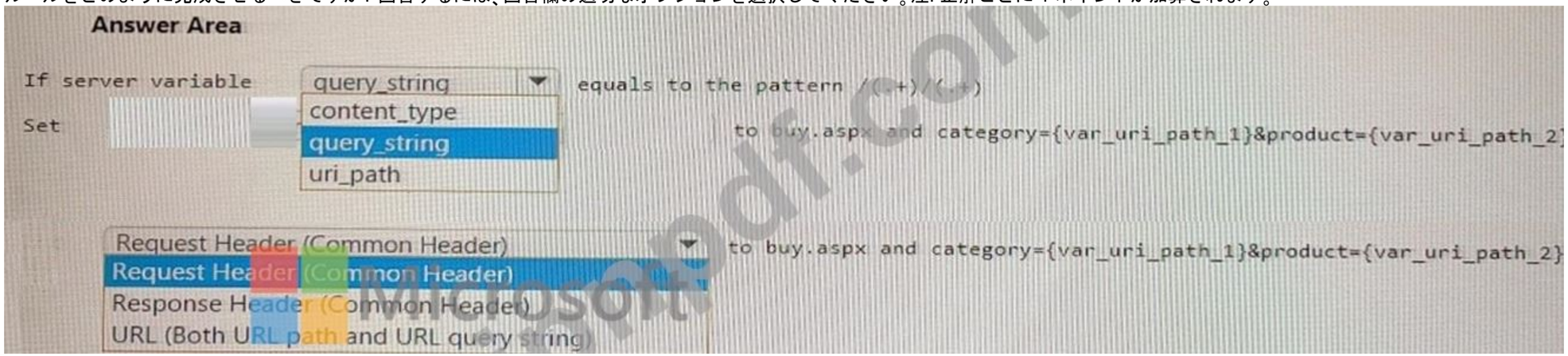
VM2、VM3、VM4、VM5

最新問題: 132

AppGw1という名前のAzureアプリケーションゲートウェイがあります。

AppGw1 用の書き換えルールを作成する必要があります。このソリューションでは、https://www.contoso.com/fashion/shirts からのリクエストの URL を ttps://www.contoso.com/buy.aspx?category-fashion&product=shirts に書き換える必要があります。

ルールをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答欄の適切なオプションを選択してください。注: 正解ごとに 1 ポイントが加算されます。

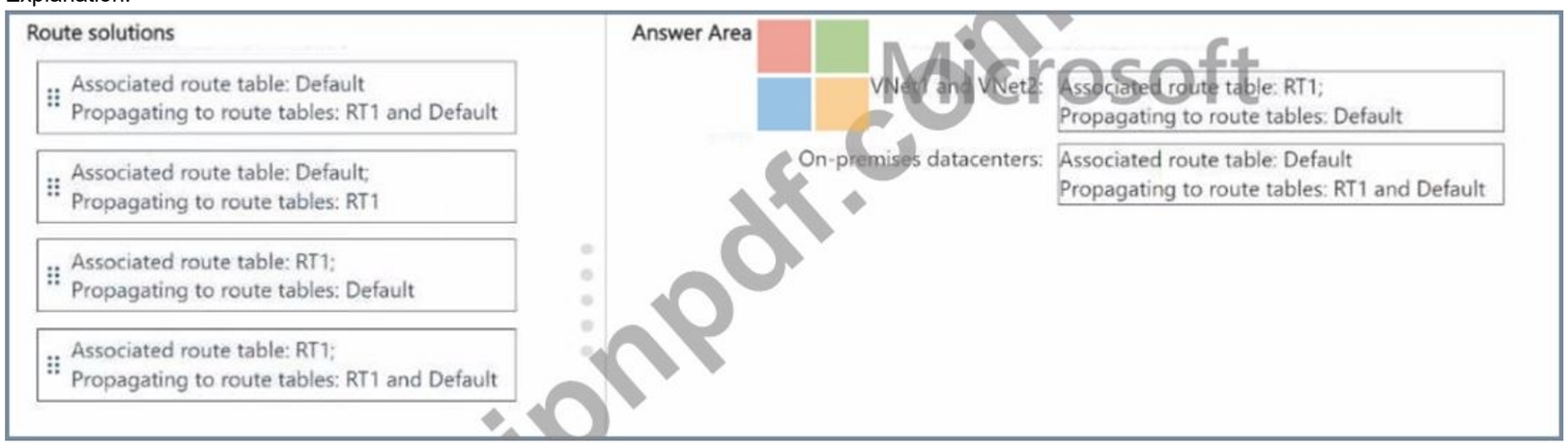


Answer:

最新問題: **133**
貴社はオンプレミスのデータセンターを2つ所有しています。
Azure サブスクリプションには、VNet1、VNet2、VNet3、VNet4 という名前の 4 つの仮想ネットワークが含まれています。VWAN1 という名前の Azure 仮想 WAN を作成します。VWAN1 には、オンプレミスのデータセンターとすべての仮想ネットワークにフルメッシュ トポロジで接続された単一の仮想ハブが含まれています。
RT1という名前のルーティングテーブルを作成します。
VWAN1を以下の要件を満たすように設定する必要があります。
* VNet1とVNet2、および両方のオンプレミスデータセンター間の接続が許可されている必要があります。
* VNet3とVNet4、および両方のオンプレミスデータセンター間の接続が許可されている必要があります。
* VNet1とVNet2は、VNet3とVNet4から分離されている必要があります。
VNet1とVNet2、そして両方のオンプレミスデータセンターのルーティングはどのように構成すればよいでしょうか？ 回答するには、適切なルートテーブルとルートテーブル伝播を正しい要件にドラッグしてください。各ルートテーブルとルートテーブル伝播は、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer:

Explanation:



最新問題: **134**
VNet1 という名前の仮想ネットワークを含む Azure サブスクリプションがあります。VNet1 には Subnet1 という名前のサブネットが含まれています。AppGw1 という名前の Azure Application Gateway v2 インスタンスを Subnet1 にデプロイします。NSG1 という名前のネットワーク セキュリティ グループ (NSG) を作成し、NSG1 を Subnet1 にリンクします。
AppGw1がVNet1から発信されるトラフィックのみをロードバランシングするようにする必要があります。このソリューションは、AppGw1の機能への影響を最小限に抑えるものでなければなりません。
NSG1には何を追加すべきですか？
A. 優先度4096の受信ルールで、すべてのインターネットトラフィックをブロックします。
B. 優先度100の受信ルールで、すべてのインターネットトラフィックをブロックします。
C. 優先度4096の送信ルールで、すべてのインターネットトラフィックをブロックします。
D. 優先度100で全てのインターネットトラフィックをブロックする送信ルール
Answer: A (メーッセージを残す)

最新問題: **135**
お客様のAzureサブスクリプションには、以下の表に示すルートテーブルとルートが含まれています。

Route table name	Route name	Prefix	Destination
RT1	Default Route	0.0.0.0/0	VirtualNetworkGateway
RT2	Default Route	0.0.0.0/0	Internet

このサブスクリプションには、次の表に示すサブネットが含まれています。

Name	Prefix	Route table	Virtual network
Subnet1	10.10.1.0/24	RT1	Vnet1
Subnet2	10.10.2.0/24	RT2	Vnet1
GatewaySubnet	10.10.3.0/24	**None**	Vnet1

このサブスクリプションには、以下の表に示す仮想マシンが含まれています。

Name	IP address
VM1	10.10.1.5
VM2	10.10.2.5

各ローカルネットワークゲートウェイとの間に、サイト間VPN接続が確立されています。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
Traffic from VM2 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○
Traffic from VM1 to VM2 is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○
Traffic from VM1 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	○

Answer:

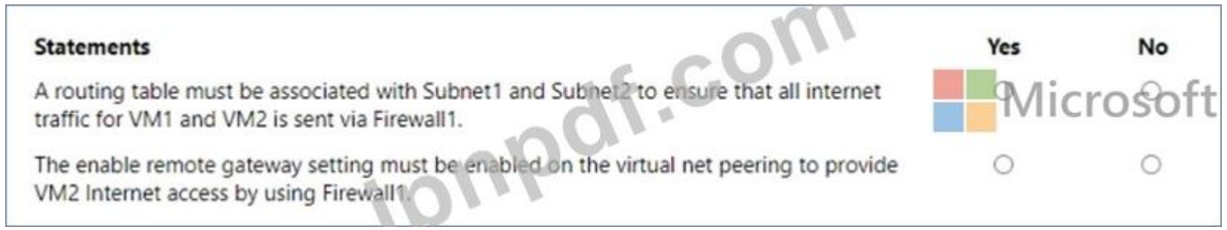
Statements	Yes	No
Traffic from VM2 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	●
Traffic from VM1 to VM2 is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	○	●
Traffic from VM1 to the internet is routed through the New-York Site-to-Site VPN connection	●	○

参照：

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/virtual-networks-udr-overview

最新問題: **136**
ホットスポットに関する質問
お客様は、Vault1 という名前の Azure キーコンテナーと、App1 という名前の Azure AD アプリのアプリ登録を含む Azure サブスクリプションを所有しています。
あなたはcontoso.comという名前のDNSドメインを所有しており、それはサードパーティのDNSプロバイダーによってホストされています。
Azure App Service を使用して App1 をデプロイする予定です。App1 の構成は以下のとおりです。
- App1は5つのApp Serviceアプリにまたがってホストされます。
- ユーザーは、https://app1.contoso.com という URL を使用して App1 にアクセスします。
- App1のユーザートラフィックは、Azure Front Doorを使用して管理されます。
- Front DoorとApp Serviceアプリ間のトラフィックは送信されます
HTTPを使用することによって。
- App1は、第三者機関のSSL証明書を使用して保護されます。
認証局（CA）。
Front Doorの導入をサポートする必要があります。
App1用に作成すべきDNSレコードはどれですか？また、SSL証明書はどこにインポートすればよいですか？回答欄で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。
Answer:

最新問題: **137**
FirewallPolicy1には以下のルールが含まれています。
* Vnet1およびVnet2からインターネットへの送信トラフィックを許可する。
* Vnet1とVnet2間のあらゆるトラフィックを許可する。
カスタムプライベートエンドポイント、サービスエンドポイント、ルーティングテーブル、ネットワークセキュリティグループ（NSG）は作成されていません。以下の各記述について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Answer: